

# 消防年報

令和5年



粕屋南部消防組合消防本部

令和6年10月刊行

# はしがき

この消防年報は、粕屋南部消防組合消防本部の消防現勢及び令和5年中の消防統計などを広く紹介するため収録したものです。

なお、この消防年報の統計資料は、原則として暦年をもってあらわしていますが、予算に関する事項については、会計年度で収録し、一部については、当該表に記載した年月日をもってあらわしています。

令和6年10月



# 目次

はしがき

## 総括編

管内の概要	6
管内面積	6
管轄エリア	7
構成町の横顔	8
管内人口・管内世帯数の推移	10
消防組合の組織	11
消防庁舎の現況	13
粕屋南部消防組合組織図	16
消防本部の事務分掌	17
消防署の事務分掌	19
防災センターの紹介	20
防災センター利用状況	21
消防組合消防本部の沿革	22

## 総務編

令和5年度消防組合（一般会計）決算額	34
消防組合の財政	35
令和6年度消防組合（一般会計）当初予算	35
令和6年度構成町分担金	36
当初予算の推移	36
消防相互応援協定等の状況	37
消防力の基準と現有の比較	39
職員の特殊技能免許・有資格	40
職員の配置状況	41
職員の階級別年齢	42
職員の階級別勤務年数	43
職員の研修	44
職員互助会及びクラブ活動	47

## 予防編

防火対象物現況表	50
防火対象物の予防査察状況	51
建築確認同意事務処理状況	52
中高層建築物（4階以上）の現況	53
防火管理者選任状況	54
消防用設備等着工届出事務処理状況	54
危険物施設状況	55
製造所等別の許可・完成検査及び廃止届の状況	55
液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況	56
危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱状況	56
手数料収入状況	56
町別危険物設置許可施設・事業所数状況	57
製造所等状況グラフ	57
粕屋南部地域防災協会	58
幼年・少年消防クラブ	59

## 警防編

### 警防

車両の保有状況	62
消防車両紹介	63
火災の総括	66
火災の総括表	67
火災件数	70
建物火災における罹災状況	73
出火原因の状況	74
過去5年間の推移	75
月別・各町建物火災総括表	79
消防水利状況	80

### 救急

救急の総括	81
救急の概要	83
出動状況	83
搬送状況	87
所要時間	91
救急隊員の行った応急処置件数	92
不搬送状況	93
応急手当の普及啓発活動状況	93

### 救助

救助の総括	94
救助の概要	95
救助機械器具等の保有状況	98

### 通信

通信指令系統図	99
月別119着信数内訳	100
類別119着信割合	100

## 消防団編

消防団の歴史	102
消防団の組織	104
消防団員の年齢	106
消防団員の勤務年数	107
消防団装備状況	107
火災出場状況	107
消防連絡協議会	108



# 総括編

1	管内の概要	6
2	管内面積	6
3	管轄エリア	7
4	構成町の横顔	8
5	管内人口・管内世帯数の推移	10
6	消防組合の組織	11
7	消防庁舎の現況	13
8	粕屋南部消防組合組織図	16
9	消防本部の事務分掌	17
10	消防署の事務分掌	19
11	防災センターの紹介	20
12	防災センター利用状況	21
13	消防組合消防本部の沿革	22

## 1 管内の概要

本組合は福岡県の中西部で糟屋郡の中南部に位置する。

区域は、南北に約 20km、東西に約 15km で、北東から東にかけては犬鳴峠と八木山峠との稜線を結び、南東は若杉山に連なる三郡の山々が延びており、南側には四王寺山脈がそびえている。これらを境に、北東から南東及び南側は宮若市、飯塚市、筑紫野市、太宰府市、大野城市と接し北側は古賀市、新宮町と西側は一部の丘陵地を除きほぼ平坦な地形のまま福岡市博多区、東区とそれぞれ隣接している。

管内の中央を国道 201 号線が東西に横断し、西寄りには九州自動車道が南北に亘って約 12km 縦断している。又、管内の北側には山陽新幹線が北東から南西にかけて横切っている。当組合は、福岡都心から半径僅か 10km の範囲内であって、しかも福岡空港から約 5km、さらに福岡県庁から約 8km という距離のため、福岡都市圏として今後益々の発展が予想される。

中南部地域は 70 数年に亘り操業してきた国鉄志免鉱業所（旧海軍炭坑）や小炭坑の開坑により、鉱業や商工業の町として隆盛を極めたが、昭和 39 年志免鉱業所の閉山によってその隆盛にも終止符が打たれた。

その後産炭地振興による工業団地の開発、中小企業、大型店舗の進出及び福岡市の東部に隣接する好立地条件から、都市圏のベッドタウンとして大型団地造成がなされ人口が急増して今や福岡都市圏として重要な地域をしめている。

また、南部には史跡と自然に包まれた「四王寺県民の森」や国の天然記念物大楠が社前にそびえ立つ安産の神様、宇美八幡宮があり、須恵町の高鳥居城跡、木造十一面観音立像、須恵焼窯跡などと共に歴史に名高い。

さらに管内のほぼ中心にそびえる若杉山、岳城山の山麓から北方にかけては、城戸の真言宗南蔵院を中心に篠栗新四国八十八カ所があつて「お遍路」の名として親しく、犬鳴連山のふもとに位置した北端の久山町は、伊野皇大神宮や猪野公園を背に、連山の谷間をぬった清流と豊富な森林資源を生かした健康町づくりが、ユニークな町行政として注目をあつめている。

このように管内は美しい緑と自然に囲まれた福岡都市圏の住宅や産業・経済の町として「住みよい町づくり」を目指して大きくはばたいている。

## 2 管内面積

町別	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	計
面積	8.69 km <sup>2</sup>	30.21 km <sup>2</sup>	16.31 km <sup>2</sup>	14.13 km <sup>2</sup>	38.93 km <sup>2</sup>	37.44 km <sup>2</sup>	145.71 km <sup>2</sup>

# 粕屋南部消防本部 管轄エリア

3

Jurisdiction area



## 管内主要連絡先 Contact Information

- 【町役場】
- ☎ 志免町役場 092-935-1001
- ☎ 宇美町役場 092-932-1111
- ☎ 須恵町役場 092-932-1151
- ☎ 粕屋町役場 092-938-2311
- ☎ 篠栗町役場 092-947-1111
- ☎ 久山町役場 092-976-1111
- 【消防署】
- ☎ 消防本部・南部消防署 092-935-5111
- ☎ 中部消防署 092-938-3216
- ☎ 中部消防署 西出張所 (休日診療所) 092-629-6271
- ☎ 粕屋中南部休日診療所 092-652-3119

## 4 構成町の横顔

南部消防署管内

し め まち  
志免町



志免町総合福祉施設「シーメイト」は、総合的情報の発信基地・自立の共存を図る・誰もがフリーアクセスできる。をコンセプトに福祉事業の拠点となっています。

岩崎神社で毎年9月に行われる伝統行事「石投げ相撲」の起源は江戸時代末期とされ、見物客が石を投げ合うほどに熱中したことが名前の由来という。現在は、子供相撲や赤ちゃんの土俵入りが行われ青少年の健全育成に大きな役割を果たしています。

町の花：サクラ

う み まち  
宇美町



宇美人幡宮は、神功皇后が新羅遠征から帰還して、この地で応神天皇をお産みになったことから安産の神様として全国的に知られ、町名も「産み」に由来します。

宇美人幡宮に毎年4月15日と10月15日に奉納される神楽で清楚で神への敬謙さが、よく表現され、現在も神楽座が構成されて、熱心に受け継がれています。

(県指定無形民俗文化財)

町の花：ツクシシャクナゲ

す え まち  
須恵町



上須恵須賀神社「祇園山笠」は、明治時代中ごろから始まり、毎年7月下旬の「かき山」の1週間前から飾り山が飾られ、当日は勇壮に町内を駆け抜けます。

「左谷山建正寺」に安置されている「木造十一面観音立像」(県指定有形文化財)は、十一の面に人々の苦しみを救う力を秘めているといわれ、発見当時は傷みが激しく、修復後は厳重に安置されていますが、年に一度だけ、4月に一般公開され拝観できます。

町の花：つつじ

かす や まち  
粕屋町



ささ ぐり まち  
篠栗町



ひさ やま まち  
久山町



筑前三大大池のひとつ駕与丁（かよいちょう）池が「駕与丁公園」として整備され、住民の憩いの場となっており、公園内の粕屋町総合体育館「かすやドーム」は、円形状の屋根が青い空と池の湖面によくマッチしています。

21世紀の粕屋町の祭りとして「よさこい祭り」が推奨され、毎年かすやドームをメイン会場として、老若男女を問わず、町民多数が参加し楽しいお祭りが開催されています。

町の花：バラ

若杉山の和の大森には計5本の巨大杉が天高く伸び、森の巨人たち百選に選ばれている「トウダの二股杉」や5本の中でも最も大きな「和の大杉」は幹周16.15m、樹高40mあり、大自然の偉大さ、雄大さが体中を包みます。

「篠栗祇園祭」は、毎年7月第2土曜日に山笠が勢い水をかぶりながら須賀神社からJR篠栗駅を往復し、賑わいを見せます。平成19年から「篠栗夏祭り」に名称を変更し、花火大会が復活しました。

五塔の滝：鳴湊川溪流の滝

伊野皇大神宮沿いを緩やかに流れる猪野川と久原川の上流は、螢の生息地として有名で、猪野川の源氏螢、久原川の平家螢の乱舞するひかりは、幻想的な世界を作り出します。

久山櫓太鼓は、ジュニアからシニアまでの4チームで編成し、地元の祭りや各地区のイベント、福祉施設の慰問などで活躍され、青少年の健全育成に大きな役割を担っています。

町の花：えびね

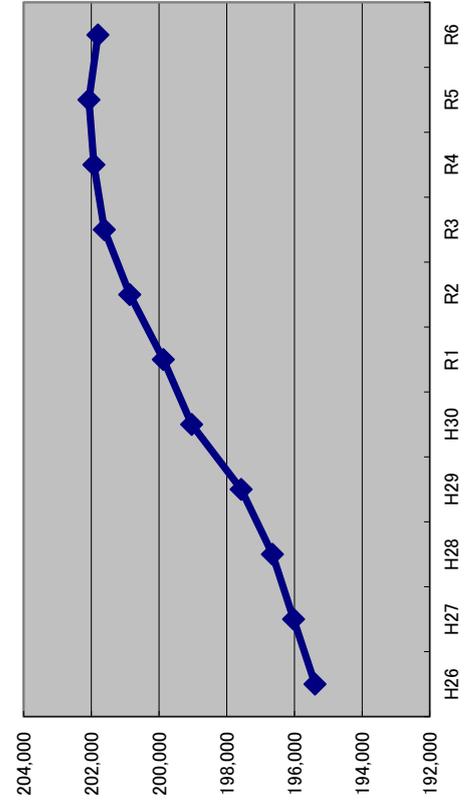
※掲載写真は、本部エントランスに掲げるタペストリーの写真です。下段の説明は写真の上、中、下段を説明しています。

## 5 管内人口・管内世帯数の推移

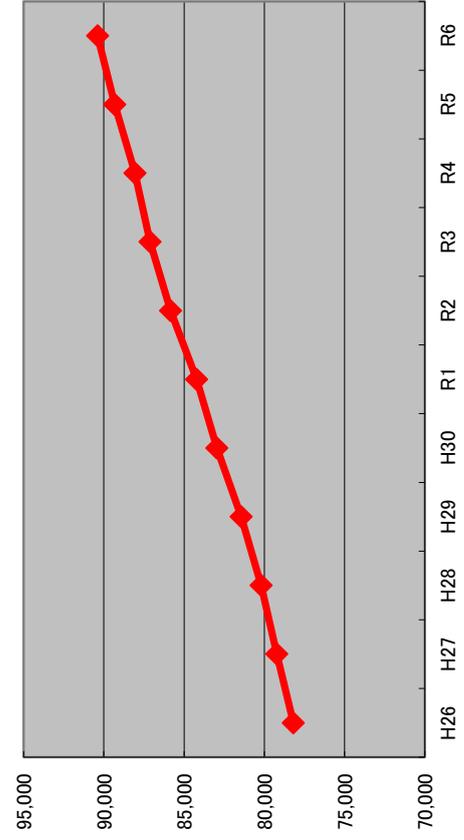
令和6年4月1日現在

区分 年	志免町		宇美町		須恵町		粕屋町		篠栗町		久山町		合計	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数								
H26	45,554	18,649	37,820	14,973	27,205	10,639	44,926	18,386	31,537	12,597	8,346	2,946	195,388	78,190
H27	45,684	18,844	37,657	15,091	27,539	10,842	45,241	18,687	31,545	12,759	8,353	3,007	196,019	79,230
H28	45,641	19,008	37,411	15,174	27,692	11,013	45,785	18,999	31,659	12,881	8,460	3,114	196,648	80,189
H29	45,644	19,213	37,273	15,316	27,812	11,182	46,668	19,521	31,551	12,992	8,622	3,220	197,570	81,444
H30	45,835	19,502	37,359	15,524	28,294	11,528	47,218	19,886	31,506	13,132	8,821	3,387	199,033	82,959
R1	46,080	19,736	37,299	15,684	28,628	11,820	47,530	20,235	31,373	13,240	8,963	3,507	199,873	84,222
R2	46,407	20,096	37,295	15,982	28,666	12,010	47,938	20,677	31,496	13,484	9,065	3,595	200,867	85,844
R3	46,509	20,344	37,345	16,223	28,929	12,271	48,246	21,017	31,380	13,575	9,210	3,699	201,619	87,129
R4	46,638	20,612	37,184	16,315	29,104	12,445	48,592	21,385	31,162	13,648	9,244	3,656	201,924	88,061
R5	46,543	20,810	37,082	16,520	29,340	12,745	48,828	21,738	30,966	13,760	9,312	3,755	202,071	89,328
R6	46,388	21,035	36,907	16,691	29,241	12,853	48,731	21,931	31,191	14,041	9,347	3,845	201,805	90,396

管内人口推移



管内世帯数推移



## 6 消防組合の組織

### (1) 執行機関

(令和6年9月現在)

職名	氏名	所属町役職
組合長	西村 勝	久山町長
副組合長	安川 茂伸	宇美町長

運営協議会	職名	氏名	所属町役職
	委員	世利 良末	志免町長
	〃	安川 茂伸	宇美町長
	〃	平松 秀一	須恵町長
	〃	箱田 彰	粕屋町長
	〃	三浦 正	篠栗町長
	〃	西村 勝	久山町長

### (2) 議会

(令和6年9月現在)

職名	議席番号	氏名	所属町
議長	3	松山 力弥	須恵町
副議長	7	小池 弘基	粕屋町
議員	1	末若 憲治	粕屋町
〃	2	丸山 卓嗣	志免町
〃	4	牟田口 武史	志免町
〃	5	只松 秀喜	久山町
〃	6	黒川 悟	宇美町
〃	8	稲永 辰己	須恵町
〃	9	横山 和輝	篠栗町
〃	10	古賀 ひろ子	宇美町
〃	11	荒牧 泰範	篠栗町
〃	12	阿部 恒久	久山町

### (3) 監査委員

氏名	備考
山田 重徳	識見を有する者
只松 秀喜	組合議会選出

### (4) 会計管理者

氏名	備考
阿部 義之	消防本部次長

## 歴代組合長

令和6年9月現在

歴代	氏名	就任年月	退任年月	在職期間	備考
初代	世利健助	S48. 4	S50. 4	2年1ヶ月	志免町
2代	原田昇	S50. 5	S54. 4	4年	須恵町
3代	安川辰雄	S54. 5	S57. 3	2年10ヶ月	宇美町
4代	南里久雄	S57. 3	H 3. 5	9年2ヶ月	志免町
5代	江崎淳	H 3. 6	H 6. 3	2年9ヶ月	宇美町
6代	長憲一	H 6. 3	H7.11	1年8ヶ月	粕屋町
7代	吉松昭幸	H 7.11	H11. 3	3年4ヶ月	須恵町
8代	佐伯勝重	H11. 4	H12. 6	1年2ヶ月	久山町
9代	神武照	H12. 6	H14. 3	1年9ヶ月	宇美町
10代	小池弘輔	H14. 3	H17. 3	3年1ヶ月	粕屋町
11代	南里辰己	H17. 3	H19. 3	2年1ヶ月	志免町
12代	三浦正	H19. 4	H21. 3	2年	篠栗町
13代	安川博	H21. 4	H23. 3	2年	宇美町
14代	篠崎久義	H23. 4	H23.10	7ヶ月	粕屋町
15代	中嶋裕史	H23.11	H26. 3	2年5ヶ月	須恵町
16代	久芳菊司	H26. 4	H28. 3	2年	久山町
17代	木原忠	H28. 4	H30. 3	2年	宇美町
18代	世利良末	H30. 4	R2. 3	2年	志免町
19代	平松秀一	R2. 4	R4. 3	2年	須恵町
20代	箱田彰	R4. 4	R6. 3	2年	粕屋町
21代	西村勝	R6. 4	現組合長		久山町

## 歴代議長

歴代	氏名	就任年月	退任年月	在職期間	備考
初代	吉村光	S48. 4	S49. 3	1年	宇美町
2代	安河内伝	S49. 4	S50. 3	1年	須恵町
3代	山口偉寿	S50. 4	S54. 5	4年1ヶ月	宇美町
4代	大林今朝澄	S54. 5	S57. 4	2年11ヶ月	志免町
5代	御手洗明	S57. 4	S62. 4	5年	須恵町
6代	諸永宗義	S62. 5	H 6. 2	6年9ヶ月	宇美町
7代	西本僥	H 6. 4	H11. 4	5年	志免町
8代	堤晋一	H11. 5	H14. 3	2年10ヶ月	宇美町
9代	臼井徳義	H14. 4	H15. 5	1年1ヶ月	篠栗町
10代	後藤一磨	H15. 6	H17. 6	2年	宇美町
11代	大林弘明	H17. 6	H19. 4	1年10ヶ月	志免町
12代	佐伯源吾	H19. 5	H21. 9	2年4ヶ月	久山町
13代	木下康一	H21.10	H23. 5	1年6ヶ月	久山町
14代	三角良人	H23. 5	H25. 5	2年	須恵町
15代	進藤啓一	H25. 5	H27. 5	2年	粕屋町
16代	白水英至	H27. 5	H29. 5	2年	宇美町
17代	阿部寛治	H29. 5	R1. 6	2年	篠栗町
18代	丸山真智子	R1. 6	R3. 5	2年	志免町
19代	阿部文俊	R3. 5	R3. 10	5月	久山町
20代	只松秀喜	R3. 10	R5. 5	1年8ヶ月	久山町
21代	松山力弥	R5. 5	現議長		須恵町

## 歴代消防長

歴代	氏名	就任年月	退任年月	在職期間	備考
初代	世利健助	S48. 4	S50. 3	2年	志免町
2代	光安金美	S50. 4	S63. 3	13年	志免町
3代	高尾克磨	S63. 4	H 3. 3	3年	須恵町
4代	世利敏實	H 3. 4	H 8. 3	5年	志免町
5代	武藤義則	H 8. 4	H12. 3	4年	志免町
6代	川口建典	H12. 4	H19. 3	7年	志免町
7代	豊福康廣	H19. 4	H25. 3	6年	志免町
8代	橋本広幸	H25. 4	H27. 3	2年	宇美町
9代	橋本俊嗣	H27. 4	H29. 3	2年	志免町
10代	百田修一	H29. 4	R 3. 3	4年	須恵町
11代	安河内恒	R 3. 4	R 6. 3	3年	久山町
12代	城戸龍男	R 6. 4	現消防長		粕屋町

## 7 消防庁舎の現況

粕屋南部消防組合消防本部・南部消防署

〒811-2204

福岡県糟屋郡志免町大字田富170番地

TEL(代表)092-935-5111



管轄区域	志免町 宇美町 須恵町
敷地面積	7,106.45㎡
庁舎	鉄筋コンクリート造 地上4階建て 建築面積 1,713㎡ 延べ面積 4,562㎡
訓練塔	主塔 RC造7階 延476㎡ 副塔 RC造2階 延158㎡ 補助塔 RC造3階 延182㎡
その他	防災センター併設 329㎡ 駐輪場 52㎡ 平成18年3月竣工



## 消防庁舎の現況

### 中部消防署

〒811-2301

福岡県糟屋郡粕屋町大字上大隈55番地の1

TEL092-938-3216



管轄区域	粕屋町 篠栗町 久山町
敷地面積	6,160.71 m <sup>2</sup> (自治会館分除く)
庁舎	鉄筋コンクリート造 地上4階建て 建築面積 1,015m <sup>2</sup> 延べ面積 3,259m <sup>2</sup>
訓練塔	主塔 RC造5階 延201m <sup>2</sup>
その他	糟屋郡自治会館併設 平成3年10月竣工



## 消防庁舎の現況

中部消防署 西出張所

〒811-2304

福岡県糟屋郡粕屋町大字仲原 1854 番 1

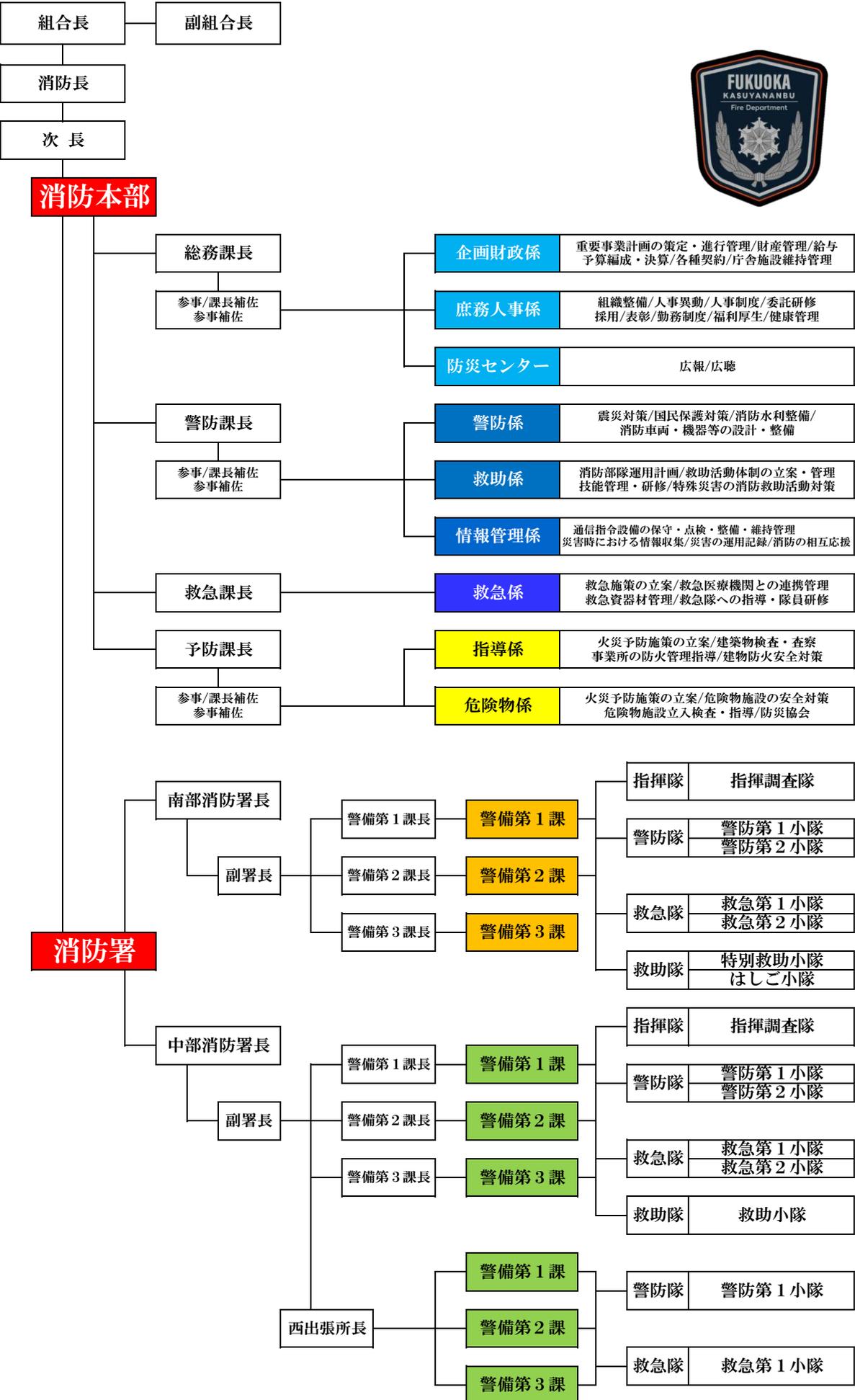
TEL092-629-6271



管轄区域	粕屋町 篠栗町 久山町
敷地面積	1,682.65㎡
庁舎	鉄筋コンクリート造 地上2階建て 建築面積 324.00㎡ 延べ面積 464.64㎡
その他	平成28年1月竣工



# 粕屋南部消防組合組織図



## 9 消防本部の事務分掌



### 総務課

#### 庶務人事係

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 消防本部、課の庶務に関する事</li><li>● 組合議会に関する事</li><li>● 消防本部の組織、制度及び職務権限に関する事</li><li>● 人事に関する事</li><li>● 消防長の秘書に関する事</li><li>● 儀式及び行事に関する事</li><li>● 職員の任免、服務、分限、懲戒その他身分に関する事</li><li>● 職員の勤務時間及び勤務条件に関する事</li><li>● 職員の勤務成績の評定及び人事記録に関する事</li><li>● 職員の教養訓練、研修及び監察に関する事</li><li>● 職員の公務災害補償、賞じゅつ及び消防表彰に関する事</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 職員共済組合、退職年金及び退職手当に関する事</li><li>● 職員の福利厚生及び安全衛生管理に関する事</li><li>● 条例、規則、規程及び告示並びに公告式に関する事</li><li>● 例規集の編集に関する事</li><li>● 文書の收受、発送及び整理に関する事</li><li>● 文書規程その他重要な文書の審査等に関する事</li><li>● 公印に関する事</li><li>● 公平委員会に関する事</li><li>● 消防年報の作成に関する事</li><li>● 庁舎の管理に関する事</li><li>● 他の課、係の所掌に属さない事項</li></ul> |
|--|--|

#### 企画財政係

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 消防事務事業等の総合企画及び調整に関する事</li><li>● 消防力整備及び重要施策の総合調整に関する事</li><li>● 財政計画及び財務諸調査に関する事</li><li>● 予算の編成及び執行管理に関する事</li><li>● 予算の収支及び決算に関する事</li><li>● 職員の給与、旅費及び諸手当の認定並びに支給に関する事</li><li>● 支出負担行為の確認に関する事</li><li>● 現金の出納及び保管に関する事</li><li>● 組合債及び国、県補助金に関する事</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 財産の取得、管理及び保管に関する事</li><li>● 物品の出納、保管及び処分に関する事</li><li>● 基金の管理に関する事</li><li>● 職員の被服の貸与に関する事</li><li>● 契約に関する事</li><li>● 寄付採納に関する事</li><li>● 監査に関する事</li><li>● 財務及び給与システムに関する事</li><li>● その他財政に関する事</li></ul> |
|--|---|

### 予防課

#### 危険物係

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 危険物の規制に関する事</li><li>● 危険物規制違反の処理に関する事</li><li>● 防災協会の育成指導に関する事</li><li>● 課の庶務に関する事</li></ul> |
|--|



#### 指導係

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 予防査察に関する事</li><li>● 防火管理及び防災管理に関する事</li><li>● 幼年・少年消防クラブ等の育成指導に関する事</li><li>● 建築同意に関する事</li><li>● 消防用設備等に関する事</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 火災予防広報に関する事</li><li>● 違反防火対象物及び公表の処理に関する事</li><li>● 火災予防運動に関する事</li><li>● 防火基準適合の表示に関する事</li></ul> |
|---|--|

# 警防課

## 警防係

- 消防力の整備に関する事
- 総合的警防計画の策定に関する事
- 火災その他災害の原因及び損害調査に関する事
- 開発行為に対する協議に関する事
- 消防地理、水利の企画、整備に関する事
- 水防計画に関する事
- 消防団に関する事
- その他警防に関する事

## 救助係

- 消防機械器具の整備及び管理に関する事
- 特殊災害に関する事
- 各種訓練及び演習の企画に関する事
- 火災、その他災害の警戒、防ぎよ等警防諸活動の推進上の企画に関する事
- その他救助に関する事

## 情報管理係

- 課の庶務に関する事
- 法に基づく通信指令設備の設置、変更、移設等の手続きに関する事
- 通信指令設備の保全計画の策定及び障害の未然防止並びに改善、研究に関する事
- 通信指令設備の保守、点検、整備、維持管理に関する事
- 通信指令設備に係る関係書類の管理に関する事
- 災害の運用記録に関する事
- 災害時における情報収集及び関係機関への連絡・記録に関する事
- 通信指令設備の監視並びに障害の対応に関する事
- 火災、災害等即報に関する事
- 気象、水象に係る情報の収集・連絡・記録に関する事
- 消防通信に係る関係書類の管理に関する事
- 消防隊の配置運用に関する事
- 消防相互応援(緊急消防援助隊を含む)に関する事
- 火災・救助の統計及び消防情報に関する事
- 火災の警報に関する事
- その他課内の他の係の所掌に属さない事項



# 救急課

## 救急係

- 課の庶務に関する事
- 救急医療情報に関する事
- 救急装備及び資器材の整備及び管理に関する事
- 救急の統計に関する事
- その他救急に関する事



## 10 消防署の事務分掌

### 予防

- 職員の人事及び教養に関する事
- 公印の取扱いに関する事
- 文書の收受、発送及び整理保存に関する事
- 職員の公務災害に関する事
- 庁舎の管理に関する事
- 署の庶務に関する事
- 予防査察に関する事
- 防火管理に関する事
- 圧縮アセチレンガス等及び毒物、劇物の届出に関する事
- 危険物の仮貯蔵、仮取扱いに関する事
- 粕屋南部消防組合火災予防条例の規制に関する事
- 意見書の交付に関する事
- 行政命令に関する事
- 消防用設備等に関する事
- 違反防火対象物の処理に関する事
- 防火基準適合の表示に関する事
- その他火災予防に関する事

### 警備

- 消防隊の編成及び小隊業務に関する事
- 火災、その他災害の警戒及び防ぎよに関する事
- 消防警備に関する事
- 消防地理水利に関する事
- 通信機器の管理及び取扱いに関する事
- 警防計画の樹立及び実施に関する事
- 火災の原因及び損害の調査に関する事
- 諸災害の被害調査に関する事
- 消防団に関する事
- 火災、その他の災害の検討に関する事
- 各種届出に関する事
- リ災証明に関する事
- その他警備に関する事

### 救急

- 救急装備及び資器材の管理及び取扱いに関する事
- 救急業務に関する事
- その他救急に関する事

### 救助

- 消防演習その他消防隊の訓練に関する事
- 消防用機械器具の管理及び取扱いに関する事
- 救助業務に関する事
- その他救助に関する事



# 11 防災センターの紹介

## 見て聞いて触って体験する！ 防災学習の 体験ゾーン！

### 頭と体で覚えて、 自主防災力を高める！

防災センターは、皆さんの防災学習の場、住民同士、住民と消防職員との交流の場となることを目指しています。

また当施設は、住民一人ひとりの防災に対する意識を高め、災害や事故などに対する自主防災力の向上を図るための、住民防災学習の場です。

災害時・緊急時に不可欠となる自主防災力を「見る」「聞く」「触る」「体験する」ことで、より深い理解とより効果的な学習が可能になります。

是非、いざというときの対処法を学んでください。



ホール（エントランス）  
ホールには、案内6町をイメージしたタペストリーと、防災センターのシンボルである消防のイラストが壁飾を飾っています。



防災シミュレーター  
「センターの役割や、実際にどのような体験ができるのか」を映像などを使って紹介するシアタールームです。また、クイズ学習や緊急手当の講習もここでを行います。



### 地震体験コーナー Earthquake simulator



このコーナーは、スーパーマーケットの売り場で地震が発生した場面を想定し、震度3〜6強まで揺れを体験できます。

●ディスプレイの映像は、スーパーマーケットの食品売り場で地震が発生したときの様子が増設されており、リアルに地震体験することが出来ます。



### 水害体験コーナー Flood disaster simulator



浸水時の対処法や、水害時の泥水歩行を擬似的に体験するコーナーです。また、身近な環境に起こりうる水害の危険性も学習することができます。

●泥水歩行を体験できるボールのプール、歩みにくさを体験しましょう。



### 風体験コーナー Wind simulator



風体験コーナーでは、強風体験ができます。風速25mまでの強烈な風を体感し、風の危険性を再確認しましょう。

●窓外は、身近な場所を体感できるように商店街を背景にしています。



### 消火体験コーナー Fire extinguishing simulator



実際に消火器を使って消火体験ができるコーナーです。消火器の使用方法を体で覚えましょう。

●画面上の炎を消火器で消火体験ができます。



### 煙体験コーナー Simulator to escape from smoke



実際に火事が起こったときに、恐ろしい煙、睡やみの室内には、階段やスライドドア、扉などがあり、臨場感ある避難通路を体験することができます。

●視界が悪い中を手探りで避難します。慎重に出口を探しましょう。



### 通報体験コーナー Emergency report simulator



いざというとき、意外と慌ててしまつてうまく通報できないものです。この体験コーナーはパソコン画面の通信員とのやり取りが体験できます。

●火事・救急、携帯電話からの通報などいろいろな通報体験ができます。

## 12 防災センターの利用状況

### 令和5年度防災センター施設利用集計表

総利用者数(開館～)	73185名
------------	--------

令和4年度来館者数	3700名	
内訳	幼児	1315名
	小学生	1397名
	中学生	47名
	高校生	12名
	大人	929名

3700名

月別来館者数		
月別	令和4年4月	119名
	5月	203名
	6月	181名
	7月	356名
	8月	252名
	9月	288名
	10月	228名
	11月	847名
	12月	649名
	令和5年1月	120名
	2月	243名
3月	212名	

3698名

曜日別来館者数		
曜日	月	13名
	火	659名
	水	900名
	木	767名
	金	811名
	土	326名
	日	224名

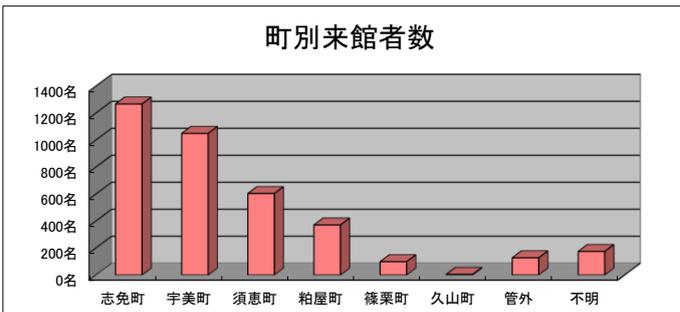
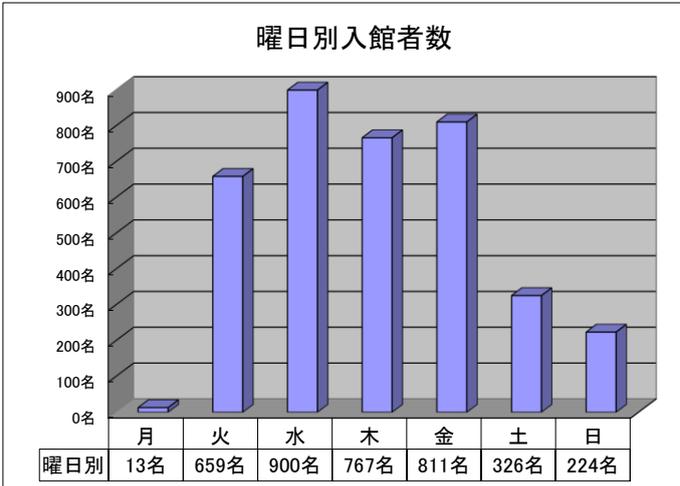
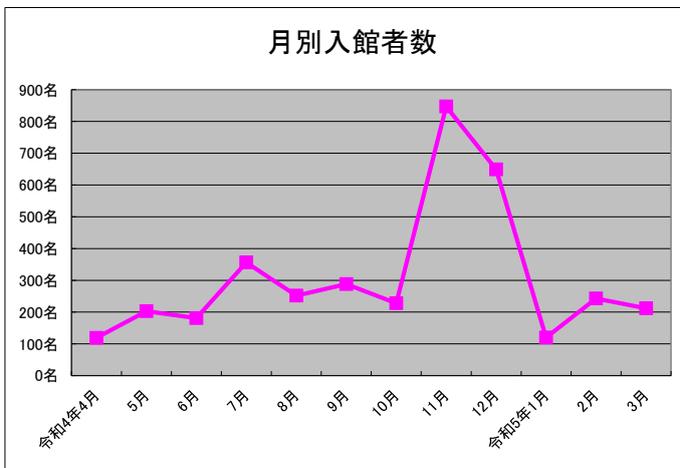
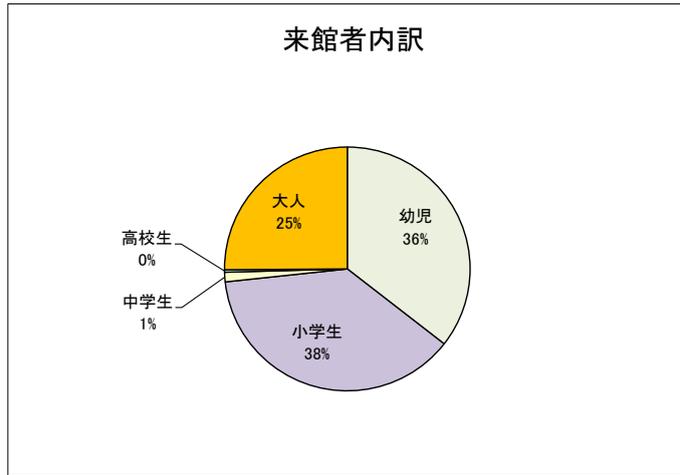
3700名

時間別来館者数		
時間	9時	1007名
	10時	1760名
	11時	91名
	12時	3名
	13時	208名
	14時	290名
	15時	75名
	16時	215名
17時	0名	

3649名

町別来館者数		
町別	志免町	1268名
	宇美町	1050名
	須恵町	604名
	粕屋町	371名
	篠栗町	99名
	久山町	5名
	管外	128名
	不明	175名

3700名



## 13 消防組合消防本部の沿革

### ○設立の経過

昭和47年志免町・宇美町・須恵町の3ヶ町は、社会、経済、住宅事情等の変化に伴い、常備消防設置の必要性から、その準備に着手し、消防費の効率的運用と、広域行政の一環として、3ヶ町で共同処理するための消防組合を組織すべく関係者並びに議会関係者が数度の会合を重ね、それぞれの議会で消防組合設立を議決、3ヶ町協議の上、福岡県知事の組合設置許可申請、昭和48年1月27日付、47地行第857号を以って許可、さらに昭和48年4月5日付、自治省告示第74号により、当時の消防組織法第10条に規定する政令指定を受け消防本部、署の設置をみる。その後、昭和61年4月2日付、政令第68号で常備消防を設置すべき自治体として指定を受けた粕屋町・篠栗町・久山町の3町が当組合に加入し、構成自治体は6町となり、従来よりも広域の行政責任を負うこととなった。

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
昭和47年 (1972年)	12	・志免町、宇美町、須恵町で構成する消防組合設置について各町議会議決				
昭和48年 (1973年)	1	・県知事へ粕屋南部消防組合設置申請～許可	36	5		5
	4	・消防本部・消防署設置政令指定 ・粕屋南部消防組合消防本部設置 (組合仮事務所：志免町大字志免1178番地志免町役場内に置く) (本部仮事務所：志免町大字志免1500番地旧志免中学校内に置く)				
	5	・福岡県消防学校第64回初任教育入校(8名)				
	6	・司令車(日産ブルーバード)購入				
	7	・救急車(トヨタハイエース)購入				
	8	・福岡県消防学校第65回初任教育入校(12名)				
9	・ポンプ車及びタンク車購入 ・消防庁舎用地取得(3,563㎡) (志免町大字田富170番地)					
10	・粕屋南部消防署開設・実働開始 ・庁舎新築工事着工		2		28	
昭和49年 (1974年)	4	・福岡県消防学校第67回初任教育入校(5名)		7	1	34
	5	・消防本部・消防署庁舎竣工(692.98㎡) ・査察広報車(三菱ジープ)寄贈(株)ゲラン化学)を受ける				
	9	・訓練場拡張のため用地取得(1940.77㎡)				

年	月	消防組合の動き	人事状況					
			条例定数	採用	退職	実員		
昭和50年 (1975年)	3	・油庫完成(9㎡) ・救急車(トヨタハイエース)寄贈(日本損害保険協会)を受ける			1	32		
	10	・福岡県消防学校第70回初任教育入校(3名)		3	1	35		
昭和51年 (1976年)	6	・訓練塔2基寄贈(㈱辻組)を受ける	49		1	34		
	10	・指令装置B型設置						
	12	・ポンプ車(BD-1)寄贈(日本損害保険協会)を受ける						
昭和52年 (1977年)	1	・消防公用車(日産グロリア)購入			1	33		
	4	・福岡県消防学校第73回初任教育入校(7名)					7	40
	10	・福岡県消防学校第74回初任教育入校(6名)					6	46
	12	・無線サイレン制御装置設置(ゼネラル)						1
昭和53年 (1978年)	8	・救助工作車(日野KL505)購入 ・消防本部庁舎増築(仮眠室37.75㎡)	55			46		
	11	・マイクロバス(日産シビリアン)寄贈(福岡若杉ライオンズクラブ)を受ける						
昭和54年 (1979年)	4	・福岡県消防学校第77回初任教育入校(5名)				51		
	10	・福岡県消防学校第78回初任教育入校(4名)					5	55
昭和55年 (1980年)	3	・消防本部・署庁舎増築(688.91㎡)	61			54		
	4	・福岡県救急医療情報FAX設置 ・訓練塔(補助塔)完成						
	6	・司令車(トヨタクラウンバン)購入						
	11	・救急車(日産キャラバン)寄贈(福岡県共済連)を受ける						
昭和56年 (1981年)	4	・福岡県消防学校第81回初任教育入校(4名)			2	57		
	10	・福岡県消防学校第82回初任教育入校(4名)					5	61
	11	・16m級屈折梯子自動車購入(日野)					4	
昭和57年 (1982年)	3	・消防庁長官表彰「竿頭授」受章 ・訓練場拡張のため用地取得(1,655㎡)			1	60		
昭和58年 (1983年)	3	・査察車(三菱ミニカ)寄贈(粕屋南部農協)を受ける						
	10	・化学車Ⅱ型(三菱)購入 ・総合気象観測装置設置(日本エレクトロニクス)						
	12	・救急車(日産キャラバン)寄贈(山之内製薬)を受ける						

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例 定数	採用	退職	実員
昭和59年 (1984年)	11	・ 第1回「防災のつどい」開催 (後に平成2年まで6回実施)				
	12	・ 粕屋町、篠栗町、久山町より当消防組合加入申し 入れ				
昭和60年 (1985年)	6	・ 指揮車(三菱デリカ)購入				
	8	・ 消防体制常備化に係る政令希望町村調査 (消防庁)				
	9	・ タンク車Ⅱ型(三菱)購入				
昭和61年 (1986年)	2	・ 消防本部・署設置市町村を定める政令告示 (粕屋町、篠栗町、久山町)				
	5	・ 中部3町消防常備化に関する関係町長会議				
	6	・ 志免町、宇美町、須恵町各町議会で中部3町加入に 伴う組合規約の変更について議決			1	59
	7	・ 久山町議会で当消防組合加入について議決				
	8	・ 粕屋町、篠栗町各町議会で当消防組合加入につい て議決				
		・ 県知事へ組合規約変更について申請				
	9	・ 県知事より組合規約変更について許可	81			
		・ 消防署の名称変更 (南部消防署、中部消防署)				
		・ 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(三菱)購入				
	10	・ 中部消防署設置・実働開始 (仮事務所：粕屋町大字仲原5番地)				
	・ 消防本部及び消防署の設置に関する条例一部改正 (1本部2署体制)		11		70	
昭和62年 (1987年)	2	・ 指令装置PD2100設置				
		・ 消防・救急無線中継基地局設置				
	3	・ 消防緊急情報システム新設				
	4	・ 福岡県消防学校第93回初任教育入校(11名)		11		81
	7	・ 査察車(スバルドミンゴ)購入 (本部配置)	90			

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
昭和63年 (1988年)	2	・消防本部庁舎増築(178.26㎡)			1	80
	4	・消防本部、南部消防署機材倉庫完成(99.81㎡)		10		90
	7	・化学車Ⅱ型(三菱)寄贈(日本損害保険協会)を受ける。中部消防署配置				
	11	・林野工作車(トヨタランドクルーザー)購入				
	12	・救急車2B型(トヨタ)寄贈(日本損害保険協会)を受ける。南部消防署配置				
平成元年 (1989年)	1	・消防公用車(トヨタクラウン)購入			1	89
	8	・中部消防署訓練場用地取得(6,701㎡)	94		1	88
平成2年 (1990年)	4	・福岡県消防学校第96回初任教育入校(6名)		6		94
		・糟屋郡自治会館組合より中部消防署・自治会館庁舎併設について申し入れ				
	7	・組合議会定例会において中部消防署・自治会館庁舎併設について承認				
	8	・消防本部・南部消防署機材倉庫増築(28.43㎡)				
	9	・中部消防署・自治会館合同庁舎用地拡張のため用地取得(1,769㎡)				
	12	・中部消防署・自治会館合同庁舎建設工事着工				
平成3年 (1991年)	4	・福岡県消防学校第97回初任教育入校(1名)		1	2	93
	7	・連絡車(トヨタマークⅡ)本部配置				
	9	・中部消防署新庁舎へ移転・開署	100			
	10	・中部消防署・自治会館合同庁舎竣工 ・救急車2B型(日産キャラバン)寄贈(福岡県共済連)を受ける 中部消防署配置				
	11	・第1回屋内消火栓・消火器操法大会実施(後に毎年実施)			1	92
平成4年 (1992年)	4	・福岡県消防学校第98回初任教育入校(5名)	104	5		97
		・司令車(トヨタマークⅡ)購入 本部配置				
	10	・救助工作車Ⅱ型(三菱)購入 中部消防署配置				
	12	・マイクロバス(三菱ローザ)購入 本部配置				

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
平成5年 (1993年)	3	・消防本部・南部消防署庁舎増築(275.66㎡)	108	7		104
	4	・福岡県消防学校第99回初任教育入校(4名)				
	6	・査察車(トヨタマークII)購入 中部消防署配置				
	9	・幼年消防クラブ結成				
	10	・福岡県消防学校第100回初任教育入校(3名)				
平成6年 (1994年)	4	・救急車2B型(日産キャラバン)購入 南部消防署配置 ・福岡県消防学校第101回初任教育入校(4名)		4		107
平成7年 (1995年)	2	・救急車2B型(日産キャラバン)購入 中部消防署配置 ・阪神・淡路大震災に出動	116	4		111
	4	・査察車(トヨタカローラ)購入 中部消防署配置 ・福岡県消防学校第102回初任教育入校(4名)				
	5	・防災指導車(トヨタマークII)寄贈(粕屋南部地域防 災協会)を受ける 本部配置				
	10	・緊急消防援助隊(救助小隊)消防庁登録				
	12	・中部消防署・自治会館用地拡張のため用地取得 (3,019㎡)				
平成8年 (1996年)	3	・中部消防署用地拡張工事完了(3,019㎡)		5	1	110
	4	・査察車(トヨタスプリンター)購入 本部配置 ・福岡県消防学校第103回初任教育入校(5名)				115
	5	・救急救命士国家試験合格(第1号)				
	6	・ガルーダ・インドネシア航空機炎上事故に応援 出動し、運輸大臣、消防庁長官より感謝状授与				
	10	・消防職員委員会施行				
平成9年 (1997年)	1	・高規格救急車(日産パラメディック)購入 南部消防署配置	120			116
	4	・3部制交替勤務体制施行 ・福岡県消防学校第104回初任教育入校(1名)				

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
平成10年 (1998年)	1 3 4 5 9	・救助工作車Ⅲ型(日野)購入 南部消防署配置 ・第19回消防職員意見発表会 (アザレアホール須恵) ・福岡県消防学校第105回初任教育入校(4名) ・粕屋南部消防組合消防本部創立25周年、自治体 消防発足50周年記念式典 ・化学車(三菱)寄贈(日本損害保険協会)を受ける 南部消防署配置		4	1	115  119
平成11年 (1999年)	2 3 4 7	・高規格救急車(トヨタ)寄贈(篠栗町南蔵院)を受ける ・第20回消防職員意見発表会(クリエイト篠栗) ・福岡県消防学校第106回初任教育入校(1名) ・組合規約一部変更 (H12年度、休日診療所開設に伴う変更)	124	1		120
平成12年 (2000年)	2 3 4 12	・指揮調査車(トヨタ)購入 南部消防署配置 ・第21回消防職員意見発表会(志免町民センター) ・救急車2B型(日産)寄贈(日本消防協会)を受ける ・福岡県消防学校第107回初任教育入校(4名) ・指揮調査車(三菱)購入 中部消防署配置		4	2	118  122
平成13年 (2001年)	1 3 4	・タンク車(三菱)購入 南部消防署配置 ・第22回消防職員意見発表会(粕屋町中央公民館) ・福岡県消防学校第108回初任教育入校(2名)	128	2		124
平成14年 (2002年)	2 3 4 8 10 11	・消防本部、南部消防署庁舎増築(93㎡) ・第23回消防職員意見発表会(宇美町中央公民館) ・40m伸縮水路付梯子車購入 南部消防署配置 ・福岡県消防学校第109回初任教育入校(4名) ・ミニバイク5台(ホンダ)の寄贈(かすや南ライオン ズクラブ)を受ける ・消防公用車(トヨタクラウン)購入 本部配置 ・タンク車Ⅱ型(三菱)購入 中部消防署配置		4	1	123  127

年	月	消防組合の動き	人事状況						
			条例定数	採用	退職	実員			
平成15年 (2003年)	1	・高規格救急車(トヨタハイメディック4WD)購入 南部消防署配置	138						
	3	・第24回消防職員意見発表会(レスポアール久山)							
	9	・心肺蘇生法訓練人形の寄贈(若杉ライオンズクラブ)を受ける ・支援車(トヨタコースター)購入 本部配置							
平成16年 (2004年)	1	・化学車(三菱)購入 中部消防署配置							
	3	・第25回消防職員意見発表会(志免町民センター)							
	4	・福岡県消防学校第111回初任教育入校(6名)					6	1	125
	7	・本部・南部消防署新庁舎建設起工式							
平成17年 (2005年)	3	・第26回消防職員意見発表会(クリエイト篠栗) ・福岡県西方沖地震(M7)3月20日10時53分発生							
	4	・福岡県消防学校第112回初任教育入校(4名)					4	2	135
	6	・本部・南部消防署新庁舎、訓練塔(主塔)完成							
	10	・指令装置(II型)運用開始 ・本部・南部消防署新庁舎実働開始							
	平成18年 (2006年)	3					・第27回消防職員意見発表会 (アザレアホール須恵) ・本部・南部消防署新庁舎竣工式 ・組合規約一部変更(収入役制度廃止)	147	
4		・福岡県消防学校第113回初任教育入校(5名) ・緊急消防援助隊(救急小隊)消防庁登録	5		138				
平成19年 (2007年)	1	・高規格救急車(トヨタハイメディック)購入 中部消防署配置							
	3	・第28回消防職員意見発表会(サンレイクかすや)					5	2	136
	4	・福岡県消防学校第114回初任教育入校(5名)							
平成20年 (2008年)	1	・高規格救急車(トヨタハイメディック)購入 南部消防署配置							
	3	・第29回消防職員意見発表会(宇美中央公民館)					4	1	140
	4	・福岡県消防学校第116回初任教育入校(4名)							
	6	・消防公用車(トヨタクラウン)競売売却							
	12	・高規格救急車(トヨタハイメディック)購入 中部消防署配置 空港環境整備協会助成							

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例 定数	採用	退職	実員
平成21年 (2009年)	3	・第30回消防職員意見発表会（レスポアール久山）			3	141
	4	・福岡県消防学校第118回初任教育入校(3名)		6		147
	10	・福岡県消防学校第119回初任教育入校(3名)				
平成22年 (2010年)	1	・高規格救急車（日産パラメディック）購入 南部消防署配置 空港環境整備協会助成				
	3	・第31回消防職員意見発表会（志免町民センター） ・本部連絡車更新（日産セレナ）			3	144
	4	・福岡県消防学校第120回初任教育入校(3名)		3		147
平成23年 (2011年)	2	・救助工作車Ⅱ型（日野自動車）更新 中部消防署配置				
	3	・第32回消防職員意見発表会（クリエイト篠栗） ・東日本大震災発生 緊急消防援助隊派遣			2	145
	4	・福岡県消防学校第122回初任教育入校(2名)		2		147
	8	・中部査察車(トヨタノア)更新				
	10	・マスコットキャラクター「かすにゃん」誕生				
平成24年 (2012年)	1	・南部査察車(トヨタノア)更新	150			
	3	・第33回消防職員意見発表会（宇美町中央公民館） ・防災指導車（トヨタアイシス）寄贈（粕屋南部 地域防災協会）を受ける			2	145
	4	・福岡県消防学校第124回初任教育入校（5名） ・緊急消防援助隊(後方支援小隊)消防庁登録		8		153
	10	・福岡県消防学校第125回初任教育入校（3名）				
平成25年 (2013年)	2	・予防査察車（ホンダNボックス）更新	159			
	3	・第34回消防職員意見発表会（サンレイクかすや）			5	148
	4	・福岡県消防学校第126回初任教育入校（10名）		15		163
	10	・福岡県消防学校第127回初任教育入校（5名） ・化学車（日野自動車）購入 南部消防署配置				
平成26年 (2014年)	2	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署配置	162			
	3	・第35回消防職員意見発表会（クリエイト篠栗）			5	158
	4	・福岡県消防学校第128回初任教育入校（7名）		10		168
	5	・中部消防署 西出張所用地購入				
	10	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 南部消防署配置 空港振興・環境整備支援機構助成 ・福岡県消防学校第129回初任教育入校（3名）				

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
平成27年 (2015年)	3	・第36回消防職員意見発表会（レスポアール久山）			8	160
	4	・福岡県消防学校第130回初任教育入校（5名）		5		165
	11	・中部消防署 西出張所完成				
平成28年 (2016年)	1	・中部消防署 西出張所実働開始 救急隊配備				
	2	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署 西出張所配置				
	3	・第37回消防職員意見発表会（志免町民センター） ・救助工作車Ⅲ型（日野自動車）更新 南部消防署配置			6	159
	4	・消防救急デジタル無線運用開始 ・福岡県消防学校第132回初任教育入校（5名） ・平成28年熊本地震発生 緊急消防援助隊派遣		5		164
平成29年 (2017年)	1	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署配置 ・タンク車（日野自動車）購入 南部消防署配置 ・指揮調査車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署配置	169			
	3	・第38回消防職員意見発表会 （須恵アザレアホール）			3	161
	4	・福岡県消防学校第133回初任教育入校（8名）		8		169
	7	・九州北部豪雨県応援協定に基づき応援出動				
	11	・福岡都市圏消防共同指令センター運用を開始				
平成30年 (2018年)	1	・高規格救急車タイラーⅡ号（トヨタハイメディック）寄贈（志免町在住者）を受ける 南部消防署配置	175			
	2	・タンク車（日野自動車）購入 中部消防署 西出張所配置				
	3	・第39回消防職員意見発表会（宇美町中央公民館）			1	168
	4	・福岡県消防学校第134回初任教育入校（7名）		7		175
	7	・平成30年7月豪雨（広島県）に緊急消防援助隊派遣				

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
平成31年 (2019年)	3	・第40回消防職員意見発表会（サンレイクかすや）	176	4	3	172
	4	・福岡県消防学校第135回初任教育入校（4名）				
令和2年 (2020年)	3	・第41回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部）	181	8	4	172
	4	・福岡県消防学校第136回初任教育入校（8名）				
	7	・令和2年7月豪雨災害（熊本県）に緊急消防援助隊派遣				
令和3年 (2021年)	3	・第42回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部）	187	5	6	174
	4	・福岡県消防学校第137回初任教育入校（5名）				
	11	・支援車（日野自動車）購入 南部消防署配置				
令和4年 (2022年)	1	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 南部消防署配置		8		
	3	・第43回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部）				
	4	・福岡県消防学校第138回初任教育入校（8名）				
	11	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署 西出張所配置				
令和5年 (2023年)	3	・第44回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部）	202	7	5	181
	4	・福岡県消防学校第139回初任教育入校（7名）				
	5	・緊急連絡車（トヨタハイラックス）購入				
	6	・化学車（日野自動車）購入 中部消防署配置				
	10	・粕屋南部消防組合創立50周年				
令和6年 (2024年)	3	・第45回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部）		11	2	186
	4	・福岡県消防学校第140回初任教育入校（11名）				



# 総務編

1	令和5年度消防組合（一般会計）決算額	34
2	消防組合の財政	35
3	令和6年度消防組合（一般会計）当初予算	35
4	令和6年度構成町分担金	36
5	当初予算の推移	36
6	消防相互応援協定等の状況	37
7	消防力の基準と現有の比較	39
8	職員の特殊技能免許・有資格	40
9	職員の配置状況	41
10	職員の階級別年齢	42
11	職員の階級別勤務年数	43
12	職員の研修	44
13	職員互助会及びクラブ活動	47

# 1 令和5年度 消防組合(一般会計)決算額

## 歳 入

(単位:円)

款	項	予算現額	決算額	決算額割合(%)
1 分担金及び負担金		2,039,352,000	2,039,352,000	84.9
	1 分担金	2,039,352,000	2,039,352,000	
2 使用料及び手数料		1,700,000	2,099,100	0.1
	1 手数料	1,700,000	2,099,100	
3 国庫支出金		1,000	0	0.0
	1 国庫補助金	1,000	0	
4 県支出金		1,127,000	1,127,000	0.1
	1 県補助金	1,127,000	1,127,000	
5 繰越金		62,725,040	62,725,634	2.6
	1 繰越金	62,725,040	62,725,634	
6 諸収入		38,601,000	36,493,224	1.5
	1 組合預金利子	25,000	25,202	
	2 雑 入	38,576,000	36,468,022	
7 組合債		260,600,000	260,600,000	10.8
	1 組合債	260,600,000	260,600,000	
歳 入 合 計		2,404,106,040	2,402,396,958	100

## 歳 出

(単位:円)

款	項	予算現額	決算額	決算額割合(%)
1 議会費		2,431,000	2,196,116	0.1
	1 議会費	2,431,000	2,196,116	
2 総務費		82,993,000	79,584,506	3.4
	1 総務管理費	82,860,000	79,455,006	
	2 監査委員費	133,000	129,500	
3 消防費		2,172,589,040	2,140,315,811	90.5
	1 消防費	2,172,589,040	2,140,315,811	
4 公債費		143,174,000	143,164,395	6.0
	1 公債費	143,174,000	143,164,395	
5 予備費		2,919,000	0	0.0
	1 予備費	2,919,000	0	
歳 出 合 計		2,404,106,040	2,365,260,828	100

## 2 消防組合の財政

消防組合の令和6年度一般会計の総額は2,548,336千円で前年度との比較200,918千円の増となっています。

一般会計の歳入の構成を見ると、構成6町(志免町・宇美町・須恵町・粕屋町・篠栗町・久山町)からの分担金が2,241,586千円で全体の88.0%を占めています。

また、歳出では、消防費2,229,353千円(87.5%)、公債費202,102千円(7.9%)、総務費110,142千円(4.3%)、予備費4,000千円(0.2%)、議会費2,739千円(0.1%)となっています。

消防組合は、構成6町で消防事務を共同処理することにより、一般家庭や事業所における火災、その他災害を未然に防止、あるいは発生した火災を最小限度にくいとめるための消防施設や人員を効率的に配置し、健全な財政運営を行っています。

### ○粕屋南部消防組合同約抜粋

#### (経費負担の方法)

第15条 組合の経費は、各町に分賦金及びその他の収入をもってあてる。

2 前項の分賦金の総額の25パーセントを均等割とし、75パーセントを人口割とする。

3 前項に定める人口割の人口は、最近の国勢調査による各町の人口とする。

## 3 令和6年度 粕屋南部消防組合(一般会計)当初予算

### 歳入

(単位:千円)

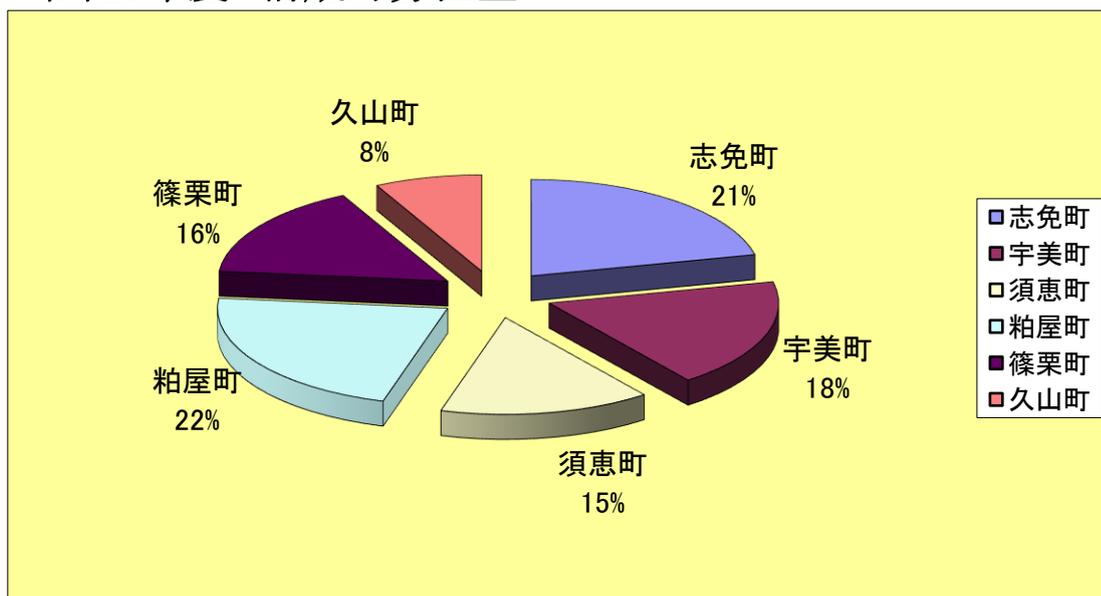
款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1. 分担金及び負担金	2,241,586	2,071,815	169,771
2. 使用料及び手数料	1,700	2,000	△ 300
3. 国庫支出金	1	1	0
4. 県支出金	1	1	0
5. 繰越金	5,000	5,000	0
6. 諸収入	49,248	38,501	10,747
7. 組合債	250,800	230,100	20,700
歳入合計	2,548,336	2,347,418	200,918

### 歳出

(単位:千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較
1. 議会費	2,739	2,691	48
2. 総務費	110,142	86,013	24,129
3. 消防費	2,229,353	2,099,411	129,942
4. 公債費	202,102	155,303	46,799
5. 予備費	4,000	4,000	0
歳出合計	2,548,336	2,347,418	200,918

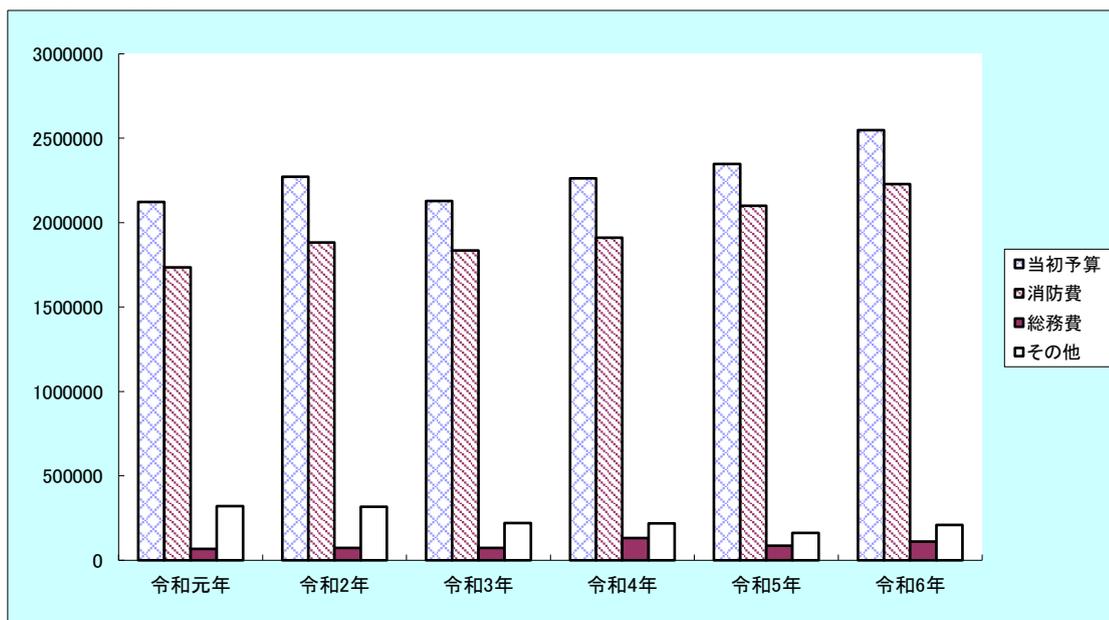
## 4 令和6年度 構成町分担金



志免町	481,026,754	(21%)
宇美町	408,260,434	(18%)
須恵町	332,677,408	(15%)
粕屋町	496,180,135	(22%)
篠栗町	354,249,872	(16%)
久山町	169,191,397	(8%)
分担金合計	2,241,586,000	(100%)

## 5 当初予算の推移

(単位：千円)



## 6 消防相互応援協定等の状況

### (1) 福岡県消防相互応援協定

福岡県内において大規模な災害が発生した場合の広域応援体制を確立する為、福岡県内の全市町村60団体と全消防本部25本部が相互に応援を行う為の、福岡県消防相互応援協定が締結され、平成元年4月1日から施行された。

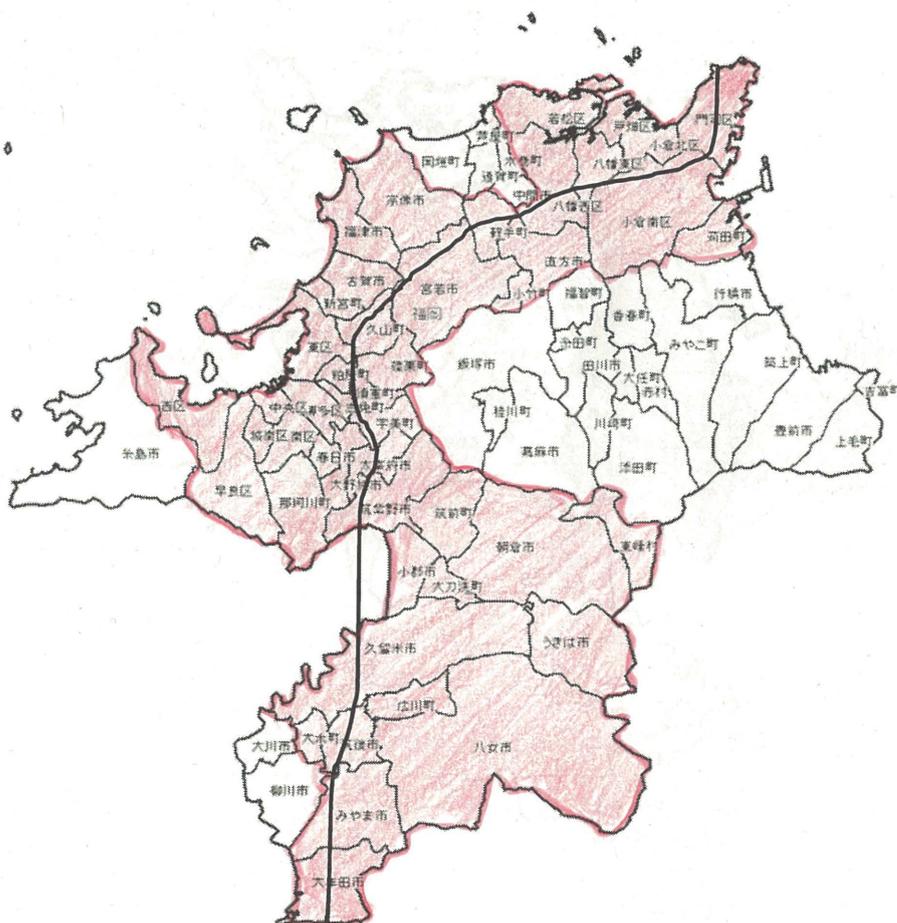
尚、この協定は、航空機による応援体制も福岡県広域航空消防応援実施要綱として盛り込まれている。

### (2) 高速自動車道における消防相互応援協定

九州縦貫高速自動車道において火災、事故等消防業務を必要とする災害が発生した場合に協定市、及び組合相互間の消防力を活用して、災害による被害の軽減を図ることを目的とし、福岡県内の6市と10消防本部との間に高速自動車道における消防相互応援協定が締結され昭和61年10月15日から施行された。

・福岡県消防相互応援協定      福岡県全域

・高速自動車道      



福岡県

(3) 福岡都市圏市町消防相互応援協定

火災、救急救助事案その他の災害が発生したとき、協定市町（現在9市10町・6消防組合）相互間の消防力を活用して、災害等による被害を最小限に防止し、安寧秩序を保持することを目的とし、福岡都市圏市町村消防相互応援協定が締結され、昭和55年3月1日から施行された。

(4) 常備消防間消防相互応援協定

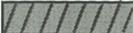
火災又は地震等の災害発生の際、関係組合の消防力を活用して災害による被害を最小限度に防止することを目的とする。

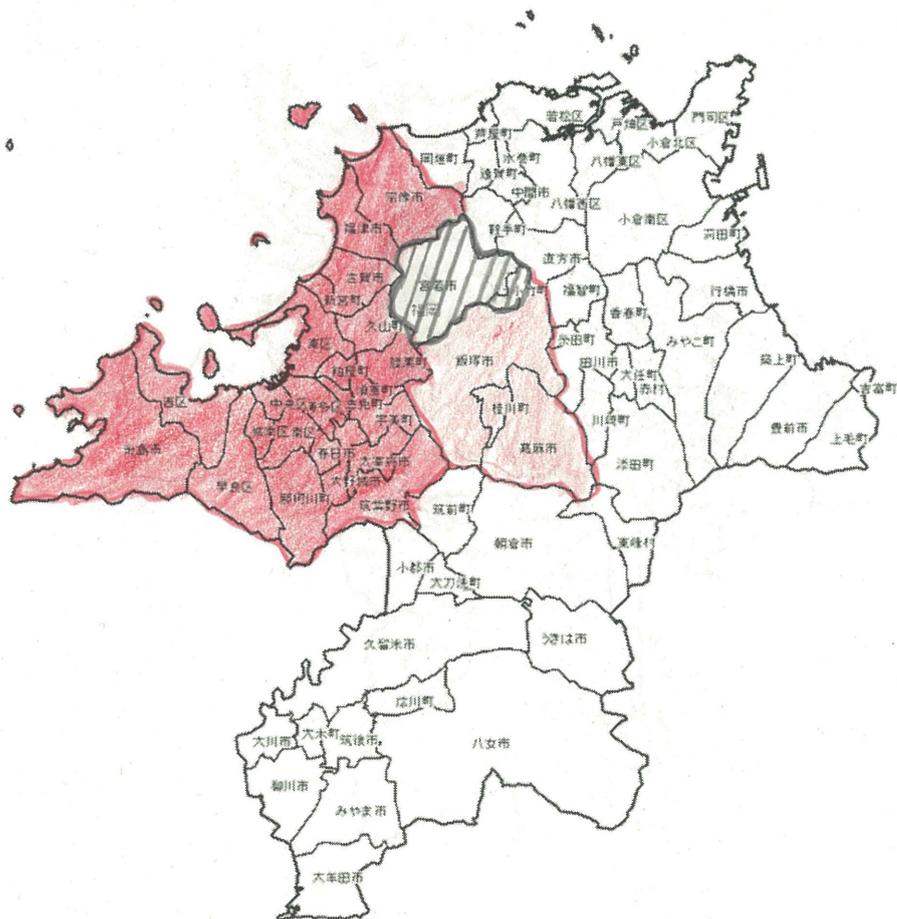
(ア) 飯塚地区消防組合、粕屋南部消防組合

消防相互応援協定（昭和63年10月17日）

(イ) 直方・鞍手広域市町村圏事務組合、粕屋南部消防組合

消防相互応援協定（平成元年5月1日）

- ・福岡都市圏市町消防相互応援協定 
- ・直方・鞍手広域市町村圏事務組合、粕屋南部消防組合消防相互応援協定 
- ・飯塚地区消防組合、粕屋南部消防組合消防相互応援協定 



福岡県

## 7 消防力の整備指針と現有の比較

(1) 署所数 (基準日: 令和6年4月1日)

署所数	基準	現有
	3	3



(2) 車両・人員

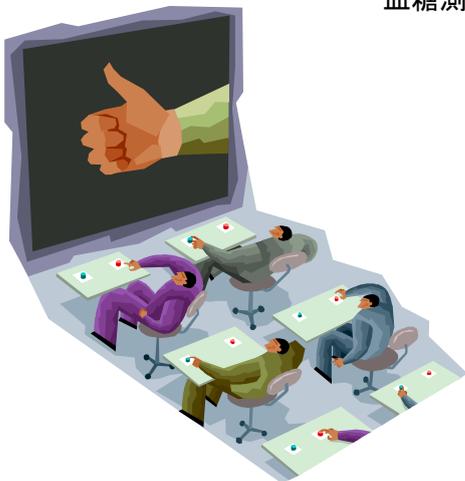
区分		基準台数 (台)	基準台数に 対する人員 の基準 (人)	現有台数 (非常用を 除く) (台)	現有台数に 対する人員 の基準 (人)	現有人員 (人)	備考			
指揮隊員	指揮調査車	2	242	2	180	147	南部消防署1台 中部消防署1台			
消防隊員	消防ポンプ自動車	5		3			南部消防署1台 中部消防署1台 西出張所1台			
	はしご自動車	2		1			消防本部配備 乗換運用			
	化学消防車	2		2			普通火災の場合は、 ポンプ車として運用			
	特殊車両 支援車	2		2			各種災害乗換運用			
救急隊員	救急自動車	7		5			全車両高規格救急車			
救助隊員	救助工作車 (省令第4条)	1		1			南部消防署配備			
	救助工作車 (省令第2条)	1		1			中部消防署配備			
通信員				3				3	3	現有人員を基準人員とする
人員の小計				245				168	150	交替勤務者数 (通信員含む)
庶務の処置等の人員			27		27	39	管理職及び総務課(総務課付 新任者含)、警防課・救急課・ 出張所日勤者・研修等			
予防要員			23		23	8	実態に相応した人員			
合計		22	295	17	218	197				

## 8 職員の特殊技能免許・有資格

令和6年9月1日現在

区分	自動車免許				二輪		無人航空機操縦技能（ドローン）	小型船舶	小型移動式クレーン運転	玉掛	特殊無線技士	酸素欠乏作業主任者	ガス溶接士	ボイラー技師	電気工事士	救助課程	潜水士	鉱山保安センター修了者
	牽引	大型特殊一種	大型一種	普通一種	大型	中型												
人	1	4	115	198	39	85	6	26	83	80	146	2	2	3	8	44	163	40
区分	救急関連資格									危険物取扱者			予防技術資格（防火査察）	予防技術資格（消防用設備）	予防技術資格（危険物）	消防設備士	衛生管理者	
	救急Ⅰ課程	救急Ⅱ課程	救急標準課程・救急科	救命士	指導救命士（県認定）	気管挿管認定者	薬剤投与認定者	※処置拡大2項目認定	応急手当指導員	甲種	乙種	丙種						
人	15	10	154	40	7	30	36	36	163	2	97	3	91	14	12	21	3	

※心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液  
血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与



## 9 職員の配置状況

令和6年4月1日現在

階級別 配置別		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計	
		合計	1	3	7	24	30	68	7	58	198
消防本部	消防長	1								1	
	次長		1							1	
	総務課	課長		1							1
		課長補佐				1					1
		企画財政係				1	1	3			6
		庶務人事係				1					
		派遣・入校・研修等				1		2		11	14
		予防課	課長			1					1
	課長補佐・参事補佐					2				2	
	指導係						1	1		2	
	危険物係				1	1	1			3	
	警防課	課長			1						1
		参事兼課長補佐			1						1
		警防係				1	1	(5)	(1)		3(6)
		救助係									
		情報管理係				1					
救急課	課長			1						1	
	救急係				2	1		2		5	
小計	1	2	4	11	5	7(5)	2(1)	11	43(6)		

※( )は、交替勤務者(署兼務)を表す

消防署	署長		1							1
	参事兼副署長			1						1
	警備第1課				2	4	7	1	9	23
	警備第2課				2	3	13		5	23
	警備第3課				2	4	6	1	10	23
小計	0	1	1	6	11	26	2	24	71	
消防署	署長			1						1
	参事兼副署長			1						1
	警備第1課				2	3	8		7	20
	警備第2課				2	5	6		7	20
	警備第3課				2	3	7	1	7	20
西出張所	所長				1					1
	警備第1課					1	6			7
	警備第2課					1	4	1	1	7
	警備第3課					1	4	1	1	7
小計	0	0	2	7	14	35	3	23	84	

# 10 職員の階級別年齢

令和6年4月1日現在

階級別 配置別	合 計	うち 女性 消防吏員	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	198	5	1	3	7	24	30	68	7	58
平 均 年 齢	37.2	31.6	59	57.7	55.9	49.1	43.4	36.5	55.1	24.1
18	2									2
19	1									1
20	1									1
21	7									7
22	7									7
23	8	1								8
24	5									5
25	8									8
26	6									6
27	6	1						1		5
28	8							3		5
29	6							5		1
30	7	1						5		2
31	7							7		
32	4							4		
33	8						1	7		
34	6						1	5		
35	4							4		
36	3	1					2	1		
37	4							4		
38	3							3		
39	3						2	1		
40	5						2	3		
41	4						3	1		
42	6	1					4	2		
43										
44	3					1	2			
45	5					1	2	2		
46	4					2	2			
47	5					2	2	1		
48	2					1		1		
49	7					1	3	3		
50	7					4	2		1	
51	4					3	1			
52	4					2		1	1	
53	2						1	1		
54	3							1	2	
55	4				3	1				
56	4			1	3					
57										
58	5			1	1	2			1	
59	6		1	1		2			2	
60	3					1		2		
61以上	1					1				

### 11 職員の階級別勤務年数

令和6年4月1日現在

階級 配置別	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	198	1	3	7	24	30	68	7	58
平均勤続年数		37	36.7	36.1	31	21.4	15.4	35	3.5
1年未満	11								11
1	7								7
2	8								8
3	4								4
4	8								8
5	4								4
6	7						1		6
7	8						2		6
8	6						4		2
9	5						5		
10	9						7		2
11	14						14		
12	7					1	6		
13	2						2		
14	3					1	2		
15	6					5	1		
16	3						3		
17	5					1	4		
18	4					2	2		
19	3					3			
20	6				1	4	1		
21									
22	4					1	3		
23	2					2			
24	4					3	1		
25	1				1				
26	4				2	1	1		
27	1				1				
28	4				3	1			
29	4				2	1	1		
30	3				2		1		
31	7				3	2	2		
32	4				1	1		2	
33	1						1		
34	5			1	1	1	1	1	
35									
36	6		1	3			1	1	
37	18	1	2	3	7		2	3	
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44以上									

## 12 職員の研修

高度・多様化する行政需要の中で、消防行政を迅速に、的確に執行していくため、職員には効果的な勤務効率の発揮と消防職員としての使命感が強く求められています。

この認識にたつて消防職員としての基本的意識を徹底させるとともに職務遂行に必要な知識・技術を習得させ、意欲的に考え、行動する能力を向上させるために研修を実施しており、昭和63年以降新たな研修機関として、福岡県市町村職員研修所更に、平成7年から救急救命士養成のため救急救命研修所を加え、時代に即応した研修の充実強化に努めています。

令和5年度

機関	種別	目的	委託人員	日数
福岡県消防学校	第139回 初任教育	新たに採用された消防職員のすべてに対して行う基礎的教育訓練を行い、卒業後、直ちに警防隊員として活動できる職員を養成する。	7名	115日
	第31回 中級幹部科	原則として消防司令に対し、中級幹部として、消防行政の動向を理解するとともに、迅速かつ的確な意思決定により、上司の補佐及び部下の指揮監督を行い、組織を管理運営できる職員を養成する。	1名	7日
	第1回 水難救助 実務研修	水難救助に必要な安全知識、潜水技術等を取得し、安全、確実、迅速に活動できる隊員を養成する。	2名	5日
	第38回 救助科	救助活動に係る最新の専門的知識及び専門的で高度な技能、技術を修得し、救助隊員として活動できる隊員を養成する。	4名	20日
	第52回 初級幹部科(B)	消防司令補に対し、初級幹部として、旺盛な職務遂行の意欲にあふれ、消防行政の現状や課題を理解し、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。	1名	10日
	第7回 予防査察科	予防・査察業務に関する専門的知識及び技能を修得し、厳正で公正な査察及び重大な違反対象物に対する是正指導、法令に基づく権限行使が行える職員を養成する。	2名	10日
	第16回 初級幹部科(A)	消防士長に対し、分隊長(小隊長)として必要な業務管理や現場指揮要領を修得し、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。	1名	5日
	第17回 警防実務研修	消防士・消防副士長に対し、火災防ぎよを中心とした実科訓練を実施することにより、隊員としての防ぎよ活動及び機関運用能力を備えた職員を養成する。	2名	5日
	第11回 特殊災害科	各級指揮者として、多数の傷病者を発生させるおそれが高く、消防活動に困難を伴う災害現場において、特に隊員の安全管理に配慮しつつ、適切、効果的な消防戦術を指揮できる職員を養成する。	2名	7日
	第40回 救急科	救急医学に関する基礎知識に基づき、応急処置時における的確な観察・判断能力、応急処置に必要な専門的スキルを修得し、救急隊員として活動できる職員を養成する。	4名	34日

福岡市消防学校	九州地区 予防実務研修	予防査察業務や違反是正業務の知識を向上し、適切に予防業務を行う職員の育成を図ることを目的とする。	1名	11日
消防大学校	第76期 幹部科	消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、消防の上級幹部たるに相応しい人材を養成する。	1名	47日
九州研修所	第42期 救急救命士 養成	全国の救急隊員を対象として、救急救命士資格を習得する為、高度かつ専門的知識及び技術を習得させることを目的とする。	1名	125日
	第2期 指導救命士 研修	救急救命士の資格を有する消防職員に対して、指導救命士に必要とされる知識及び技術を習得させることを目的とする。	1名	30日
東京研修所	第64期 救急救命士 養成	全国の救急隊員を対象として、救急救命士資格を習得する為、高度かつ専門的知識及び技術を習得させることを目的とする。	1名	126日

福岡県市町村職員研修所	給与事務 新任者研修	・実務で必要になる基本的な法律を学び、給与事務に関する基礎知識を身に付ける。	1名	1日
	採用試験面接力 アップ研修	・受験者を適切に見極める方法と、より良い受験者を増やす方法をワークショップ形式で学ぶ。	1名	1日
	契約事務研修	・契約事務の遂行に必要な基本的知識・制度を学び、これからの実務で生かせる力を養う。 ・契約事務に関する疑問点や問題点を解消し、理解を深めて、自治体職員としての役割を認識する。	1名	2日
	新任係長研修	・チームを率いていくリーダーとしての役割を理解し、心理的に安全な職場づくりに必要なコミュニケーション能力の向上に繋げる。 ・チームの仕事を管理・改善する能力を身につける。	1名	2日

福岡県市町村職員研修所	法制執務 基礎研修	・法制執務に関する知識を学び、条例・規則等の作成に活かす。	1名	2日
	情報公開・個人 情報保護研修	・情報公開・個人情報保護制度について、その法的仕組みと運用に関する基礎力の養成を図る。	2名	2日
	クレーム対応 基礎研修	・クレームに対する基本的な心構えや対応方法を習得する。 ・クレームを業務に活かすスキルを習得し、住民サービス向上を図る。	1名	1日
	ハードクレーム 対応研修	・不当要求等のクレームを組織的に対応するための基礎知識や技能を習得する。 ・各職場における対応マニュアル・体系図の作成に活用する。	1名	1日
	ハラスメント 防止研修	・今日、企業や地方自治体など組織内部でハラスメントが発生しており、このことによって組織風土に悪影響を及ぼしている。そこでハラスメントについての実態や課題、また防止策を理解することで心理的安全性の高い職場づくりを目指す。	1名	1日
	地方公務員法 研修	・地方公務員法についての基本的な知識だけでなく実務的な解釈を学ぶ。	1名	2日
	問題解決能力 向上研修	・常識や固定観念にとらわれない思考能力と、物事を体系的に捉え、筋道の通った思考能力とをあわせて強化することで、日常業務の課題発見能力や政策立案能力の向上を図る。	1名	2日

## 13 職員互助会及びクラブ活動

職員の相互共済及び福利増進を目的として、福利厚生等に関するさまざまな事業を実施しています。

また体育クラブを主として、クラブ活動も積極的に行い、地域住民とのコミュニケーションを図り、より一層の消防に対する信頼性・人間形成の充実を図っています。

### 職員互助会の主な事業

- ボウリング大会・研修旅行・教養図書購入等の福利厚生事業を行っています。

### クラブ活動

- ・ 職員のクラブ活動を応援しています。



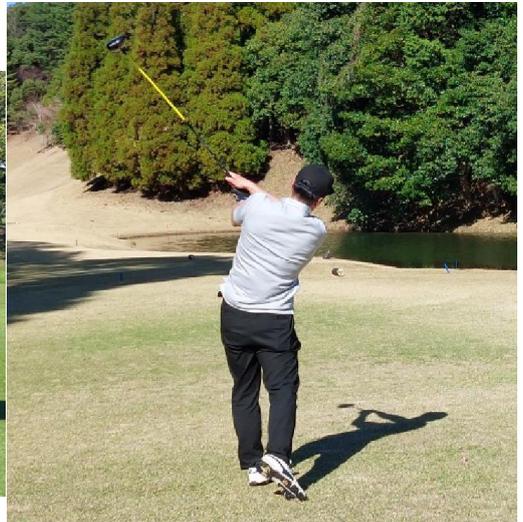
# 野球部



# 釣り倶楽部



# ゴルフ部



# 予防編

1	防火対象物現況表	50
2	防火対象物の予防査察状況	51
3	建築確認同意事務処理状況	52
4	中高層建築物（4階以上）の現況	53
5	防火管理者選任状況	54
6	消防用設備等着工届出事務処理状況	54
7	危険物施設状況	55
8	製造所等別の許可・完成検査及び廃止届の状況	55
9	液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況	56
10	危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱状況	56
11	手数料収入状況	56
12	町別危険物設置許可施設・事業所数状況	57
13	製造所等状況グラフ	57
14	粕屋南部地域防災協会	58
15	幼年・少年消防クラブ	59

# 1 防火対象物現況表

令和6年3月31日現在

防火対象物 項別		町 別						合計	
		志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町		
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	0	2	0	1	1	2	6
	ロ	公会堂、集会場	39	28	20	28	23	12	150
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場、ダンスホール	3	2	1	2	0	3	11
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス、個室型店舗	2	0	0	1	0	1	4
3	イ	待合、料理店の類	0	0	0	2	1	0	3
	ロ	飲食店	36	7	3	18	9	14	87
4		百貨店、マーケット、店舗、展示場	63	35	24	48	28	19	217
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	2	0	1	1	14	1	19
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	605	259	255	784	329	57	2289
6	イ	病院、診療所、助産所	36	20	20	21	20	4	121
	ロ	社会福祉施設等(主自力避難困難者入所)	9	9	7	9	9	7	50
	ハ	6項口以外の社会福祉施設等	27	41	21	29	21	10	149
	ニ	幼稚園、特別支援学校	5	4	1	3	2	1	16
7		小学校、中学校、高等学校、大学の類	15	25	17	19	14	7	97
8		図書館、博物館、美術館の類	0	1	2	1	0	0	4
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	イ以外の公衆浴場	0	0	1	0	0	0	1
10		車両の停車場、船舶または航空機の発着場	0	0	0	1	2	0	3
11		神社、寺院、教会の類	20	7	10	14	35	11	97
12	イ	工場、作業場	149	211	222	175	70	65	892
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫、駐車場	17	19	22	19	14	9	100
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	193	227	190	329	75	82	1096
15		全各号に該当しない事業所	166	115	89	192	83	61	706
16	イ	特定複合用途防火対象物	85	30	28	65	37	16	261
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	57	37	22	73	29	9	227
16の2		地下街	0	0	0	0	0	0	0
16の3		準地下街	0	0	0	0	0	0	0
17		文化財	1	0	0	0	0	0	1
18		アーケード	0	0	0	0	0	0	0
19		市町村長の指定する山林	0	0	0	0	0	0	0
20		総務省令で定める舟車	0	0	0	0	0	0	0
合 計			1530	1079	956	1835	816	391	6607

## 2 防火対象物の予防査察状況

令和6年3月31日現在

防火対象物 項別		町 別	対象物数	査 察 数						合計
				志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	6		2		1	1	1	5
	ロ	公会堂、集会場	150	6	5	3	9	8	2	33
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類	0							0
	ロ	遊技場、ダンスホール	11	2	1	1	1		3	8
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類	0							0
	ニ	カラオケボックス、個室型店舗	4				1		1	2
3	イ	待合、料理店の類	3				1			1
	ロ	飲食店	87	11	1		4		4	20
4		百貨店、マーケット、店舗、展示場	217	27	15	8	19	10	13	92
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	19	1		1	1	2	1	6
	ロ	寄宿舍、下宿、共同住宅	2289	1	2		3	7	1	14
6	イ	病院、診療所、助産所	121	10	5	2	8	4		29
	ロ	社会福祉施設等(主自力避難困難者入所)	50	8	5	4	4	6	5	32
	ハ	6項ロ以外の社会福祉施設等	149	8	24	7	11	13	5	68
	ニ	幼稚園、特別支援学校	16	3	2	1	2	1	1	10
7		小学校、中学校、高等学校、大学の類	97	8	15	6	1	12	2	44
8		図書館、博物館、美術館の類	4			1				1
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類	0							0
	ロ	イ以外の公衆浴場	1							0
10		車両の停車場、船舶または航空機の発着場	3							0
11		神社、寺院、教会の類	97					2		2
12	イ	工場、作業場	892	38	47	50	33	13	19	200
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0							0
13	イ	自動車車庫、駐車場	100	3	5	1	3	1	4	17
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	0							0
14		倉庫	1096	38	56	32	44	11	29	210
15		全各号に該当しない事業所	706	30	40	14	40	12	13	149
16	イ	特定複合用途防火対象物	261	31	15	12	33	12	16	119
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	227	8	7	2	5	7	1	30
16の2		地下街	0							0
16の3		準地下街	0							0
17		文化財	1							0
18		アーケード	0							0
19		市町村長の指定する山林	0							0
20		総務省令で定める舟車	0							0
合 計			6607	233	247	145	224	122	121	1092

### 3 建築確認同意事務処理状況

令和6年3月31日現在

防火対象物 項別		町 別						合計	
		志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町		
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場						0	
	ロ	公会堂、集会場						0	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類						0	
	ロ	遊技場、ダンスホール						0	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類						0	
	ニ	カラオケボックス、個室型店舗						0	
3	イ	待合、料理店の類						0	
	ロ	飲食店	2					2	
4		百貨店、マーケット、店舗、展示場	1			2	2	5	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所					1	1	
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	6	3	1	4	2	16	
6	イ	病院、診療所、助産所	2		1	1		4	
	ロ	社会福祉施設等(主自力避難困難者入所)				1		1	
	ハ	6項口以外の社会福祉施設等	1	3	1	3		8	
	ニ	幼稚園、特別支援学校						0	
7		小学校、中学校、高等学校、大学の類				2		2	
8		図書館、博物館、美術館の類						0	
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類						0	
	ロ	イ以外の公衆浴場						0	
10		車両の停車場、船舶または航空機の発着場						0	
11		神社、寺院、教会の類	1		1	1		3	
12	イ	工場、作業場	1	4		4	1	11	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ						0	
13	イ	自動車車庫、駐車場	2		1	2		5	
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫						0	
14		倉庫	3	5	7	12	2	6	35
15		全各号に該当しない事業所	7	6	5	6	2	1	27
16	イ	特定複合用途防火対象物			2	2	2		6
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物			2	1	2		5
17		文化財							0
専 用 住 宅			7	6	4	2	5		24
併 用 住 宅									0
長 屋 式 住 宅			3	8	2	12	5		30
その他(農業用倉庫)						3			3
合 計			36	35	27	58	21	11	188

#### 4 中高層建築物(4階以上)の現況

令和6年3月31日現在

15 F	5
14 F	8
13 F	3
12 F	6
11 F	16
10 F	22
9 F	23
8 F	40
7 F	59
6 F	114
5 F	197
4 F	317
<b>合計</b>	<b>810</b>

志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町
	1		1	3	
2			4	2	
			1	2	
3		1	1	1	
4			7	5	
3	1		13	5	
2	1	1	14	5	
6	1	3	19	11	
31	1	1	16	9	1
37	6		44	27	
69	27	17	59	23	2
93	34	22	103	58	7
<b>250</b>	<b>72</b>	<b>45</b>	<b>282</b>	<b>151</b>	<b>10</b>



・R5.6.8  
 ・R5.9.21  
 ・R5.1.17  
 ・R6.2.21  
 ・R5.7.28

第1回甲種防火管理新規講習 修了者48名  
 第2回甲種防火管理新規講習 修了者40名  
 第3回甲種防火管理新規講習 修了者28名  
 甲種防火管理再講習 修了者20名  
 乙種防火管理新規講習 修了者8名

## 5 防火管理者選任状況

令和6年3月31日現在

町名	種別	選任義務 対象物数	選任済 対象物	選任率
志免町	甲種	344	234	68 %
	乙種	68	40	59 %
宇美町	甲種	148	124	84 %
	乙種	36	14	39 %
須恵町	甲種	119	97	82 %
	乙種	20	6	30 %
粕屋町	甲種	355	296	83 %
	乙種	40	35	88 %
篠栗町	甲種	199	156	78 %
	乙種	24	15	63 %
久山町	甲種	91	80	88 %
	乙種	15	10	67 %
合計	甲種	1256	987	79 %
	乙種	203	120	59 %

## 6 消防用設備等着工届事務処理状況

令和5年度中

区分	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	計
屋内消火栓設備	1	2	2	7		2	14
スプリンクラー設備				2	1		3
特定施設水道連結型 スプリンクラー設備							0
泡消火設備	1			1			2
ハロゲン化物消火設備							0
屋外消火栓設備		1		2		1	4
自動火災報知設備	17	13	9	35	12	6	92
消防機関へ通報する 火災報知設備	4	2	3	3	4		16
非常警報設備	2			6	1	1	10
避難器具	5	1	2	7		1	16
誘導灯	4	2		3	1	1	11
連結送水管	2			2			4
共同住宅用自動火災報知設備	2			4			6
パッケージ型消火設備	1		1	2			4
合計	39	21	17	74	19	12	182

## 7 危険物施設状況

令和6年3月31日現在

製造所等の別 区分		計	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
施設数	前年度末	466	12	281	94	29	11	57		67	23	173	137	1	35	
	今年度末	469	12	282	94	29	11	57		68	23	175	139	1	35	
施設別	5倍以下	122	3	105	35	9	9	25		23	4	14	4		10	
	5倍を超え10倍以下	93	2	58	25	6	2	10		13	2	33	16		17	
	10 " 50 "	154	6	77	27	9		19		5	17	71	63	1	7	
	50 " 100 "	40	1	25	2	3		3		17		14	13		1	
	100 " 150 "	15		12	1	1				10		3	3			
	150 " 200 "	4		1		1						3	3			
	200 " 1000 "	41		4	4							37	37			
	1000 " 5000 "	0		0								0				
類別	単独	第1類	0		0							0				
		第2類	0		0							0				
		第3類	0		0							0				
		第4類	463	11	277	89	29	11	57		68	23	175	139	1	35
		第5類	0		0								0			
		第6類	0		0								0			
	混在	6	1	5	5							0				

## 8 製造所等別の許可・完成検査及び廃止届の状況

製造所等の別 区分		計	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
許可	設置	7		4				3		1		3	2		1	
	変更	25		0								25	15		10	
	常置場所 変更	他許可行政庁に転出	3		3						3		0			
		他許可行政庁から転入	0								3		0			
完成検査	設置	3		1				1				2	2			
	変更	23		0								23	15		8	
	他許可行政庁から転入	3		3						3		0				
廃止		4		4				2		2		0				
検査前設置許可の取り消し		0		0								0				

## 9 液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況

令和5年度

合 計	水 張 検 査				
	小 計	10kl以下	10klを超え 1,000kl.以下	1,000klを超え 2,000kl.以下	2,000kl.を 超えるもの
125	125	122	3		

水 圧 検 査				
小 計	600ℓ以下	600ℓを超え 10kl.以下	10klを超え 20kl.以下	20kl.を 超えるもの
0				

## 10 危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱状況

仮 使 用														仮 貯 蔵	仮 取 扱
計	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所					
		小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所		
20		0								18	11		7	1	1

## 11 手数料収入状況

(単位:千円)

合 計	許 可 手 数 料			完 成 検 査 手 数 料		
	小 計	設 置	変 更	小 計	設 置	変 更
2099	858	247	611	384	104	280

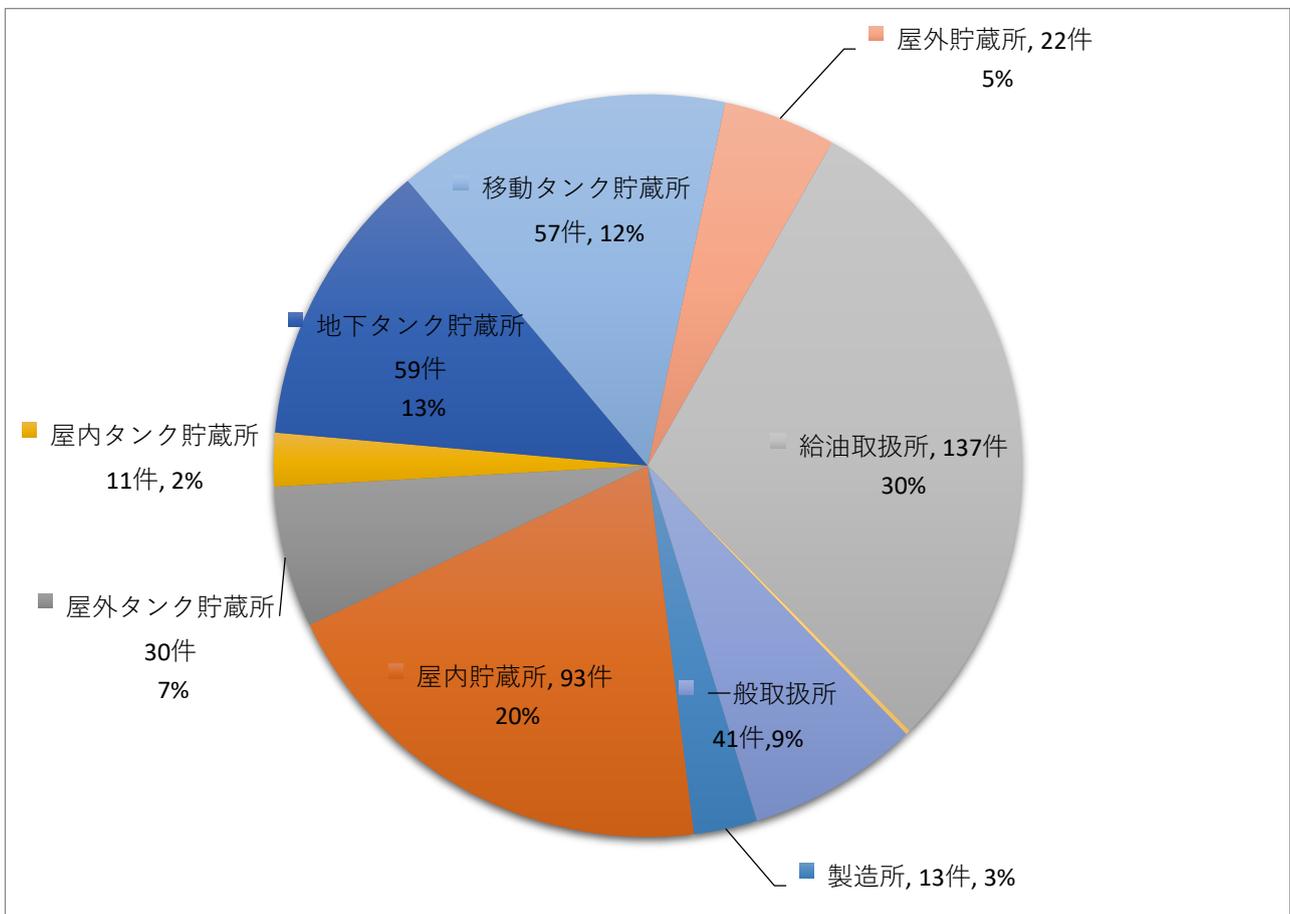
完成検査前検査手数料			仮貯蔵、仮取扱及び仮使用手数料			
小 計	水張検査	水圧検査	小 計	仮貯蔵 手数料	仮取扱 手数料	仮使用 手数料
755	755	0	102	5	5	92

## 12 町別危険物設置許可施設・事業所数状況

令和6年3月31日現在

町名	計	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所			事業所数	
			小計	屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所		一般取扱所
志免町	82	3	51	27	3	2	13		5	1	28	20	1	7	45
宇美町	87		50	18	11	2	12		6	1	37	27		10	56
須恵町	75	1	51	11	4		7		29		23	18		5	37
粕屋町	120	7	73	19	7	1	9		17	20	40	36		4	61
篠栗町	45	1	28	6	3	3	7		9		16	10		6	31
久山町	60		29	13	1	3	9		2	1	31	28		3	42
合計	469	12	282	94	29	11	57		68	23	175	139	1	35	271

## 13 製造所等状況グラフ



## 14 粕屋南部地域防災協会

昭和51年6月、粕屋南部(志免、宇美、須恵)の石油販売を業とする事業所を主体として、危険物災害の発生防止と安全推進の為、設立されました。

昭和62年4月には、中部地区(粕屋、篠栗、久山)の加入に伴い組織・機構の強化が図られ、危険物はもとより防火管理業務に起因する災害の防止に努め、自主防災確立を目的として、安全・安心な職場作りと明るい町づくりを推進しています。

### 令和5年度の主な事業

令和5年4月20日

●定例総会

令和5年6月4日～10日(危険物安全週間)

●危険物施設安全週間啓発ポスター配布

令和5年6月6日

●危険物施設消防演習(株式会社フクネツ)

令和5年6月7日～8日(2日間)

●第1回 甲種防火管理者新規講習(消防本部研修室)

令和5年6月10日

●第1回 危険物取扱者試験準備講習会(消防本部研修室)

令和5年6月26日

●福岡県危険物安全協会安全大会・通常総会

令和5年7月6日、7月13日

●防災協会主催 普通救命講習(南部消防署・中部消防署)

令和5年9月1日

●第37回 親善ボウリング大会(粕屋町 仲原Jボウル)

令和5年9月15日

●福岡県危険物安全協会福岡地区会議(クリエイト篠栗)

令和5年9月20日～21日(2日間)

●第2回 甲種防火管理者新規講習(消防本部研修室)

令和5年10月14日

●第2回 危険物取扱者試験準備講習会(消防本部研修室)

令和5年10月27日

●第33回 屋内消火栓・消火器操法大会(中部消防署)

令和5年11月16日

●乳児・小児に対する救命講習(消防本部防災シアター)

令和5年12月2日

●防災防犯フェア

令和6年1月15日

●会報誌「防災かすやなんぶ76号」発行

令和6年1月16日～17日(2日間)

●防災協会会員事業所対象  
甲種防火管理者新規講習(消防本部研修室)

令和6年2月10日

●第3回 危険物取扱者試験準備講習会(消防本部研修室)

令和6年2月16日～17日(2日間)

●役員視察研修(鹿児島、熊本)

令和6年2月21日

●甲種防火管理者再講習(消防本部研修室)

### <会員事業所内訳(208事業所)>

令和6年4月1日現在

石油部会 35	LPガス部会 18	少量危険物部会 1	工場部会 47
医療福祉部会 38	大店舗部会 8	運輸倉庫部会 43	旅館料飲部会 1
一般部会 16			

### 令和6年度役員

会 長	副 会 長	理 事	監 事
百濟 敏美	中西 達也 三宅 史員 佐道 和記 牛房 良幸	樋口 寿次・飯田 泰弘・古藤 英紀・藤 康則 今任 輝彦・稲永 政貴・久芳 貴浩・梶 陽嘉 下稲葉 主一・西川 琢也・牛島 博文・帆足 学 松尾 憲興・久芳 浩二	井上 裕紀 青木 義典

## 15 幼年・少年消防クラブ

幼年組織現況

30クラブ

1,067 人

令和6年4月1日時点

町 名	クラブ名称(クラブ員数)	合 計
志 免	志免中央幼稚園 ( 89 ) かめやま保育園 ( 39 ) 志免東保育園 ( 21 )	354 人
	志免あおぞら保育園 ( 25 ) 志免南保育園 ( 23 ) 別府つくし保育園 ( 33 )	
	志免幼稚園 ( 44 ) タンポポ保育園 ( 18 ) 洞清寺あかつき幼稚園 ( 62 )	
宇 美	宇美八幡宮保育園 ( 20 ) 宇美幼稚園 ( 36 ) 貴船保育園 ( 14 )	225 人
	博多第二幼稚園 ( 85 ) 早見保育園 ( 24 ) 原田保育園 ( 24 )	
	柳原ふらす保育園 ( 22 )	
須 恵	れいんぼー幼児園 ( 68 ) アザレア幼児園 ( 56 ) わかすぎの杜保育園 ( 22 )	170 人
	須恵南幼稚園 ( 24 )	
粕 屋	大川保育園 ( 41 ) 中央保育園 ( 19 ) 西保育所 ( 22 )	82 人
篠 栗	栗の子保育園 ( 39 ) 篠栗保育園 ( 26 ) 篠栗どろんこ保育園 ( 28 )	203 人
	勢門幼児園 ( 26 ) 勢門幼稚園 ( 39 ) 和田幼稚園 ( 45 )	
久 山	ひさやま保育園 ( 33 ) 杜の郷	33 人

## 少年消防クラブ

少年組織現況

1クラブ

10 人

篠 栗	篠栗小学校萩尾分校 ( 10 )	10 人
-----	------------------	------





# 警防編

## 警防

1	車両保有状況	62
2	消防車両紹介	63
3	火災の総括	66
4	火災の総括表	67
	① 前年比較総括表	
	② 月別総括表	
	③ 町別総括表・南部管内3ヶ町	
	④ 町別総括表・中部管内3ヶ町	
5	火災件数	70
	① 月別火災件数	
	② 曜日別火災件数	
	③ 時間別火災件数	
	④ 覚知別火災件数	
	⑤ 気象別火災件数	
6	建物火災における罹災状況	73
7	出火原因の状況	74
8	過去5年間の推移	75
	① 火災発生件数及び損害額状況	
	② 出火率及び管内総人口状況	
	③ 火災種別	
	④ 主な出火原因	
	⑤ 地域別火災件数	
9	月別・各町建物火災総括表	79
10	消防水利状況	80

## 救急

1	救急の総括	81
2	救急の概要	83

## 救急

3	出動状況	83
	① 事故種別出動件数前年比	
	② 出動件数の推移	
	③ 救急1件あたりの人口推移・世帯推移	
	④ 町別出動件数	
	⑤ 月別・事故種別出動件数	
	⑥ 事故種別・時刻別出動件数	
4	搬送状況	87
	① 事故種別程度別搬送状況	
	② 程度別搬送人員の推移	
	③ 年齢別・事故種別搬送状況	
	④ 高齢者搬送状況（過去5年間）	
	⑤ 管内・管外搬送状況	
	⑥ 事故種別・医療機関別搬送状況	
5	所要時間	91
6	救急隊員の行った応急処置件数	92
7	不搬送状況	93
8	応急手当の普及啓発活動状況	93

## 救助

1	救助の総括	94
2	救助の概要	95
3	救助機械器具等の保有状況	98

## 通信

1	通信指令系統図	99
2	月別119着信数内訳	100
3	類別119着信割合	100

# 1 車両保有状況

令和6年1月4日現在

所属	無線呼出	車種別 登録番号	車名 型式	購入先 機装・保守	登録年月日	車検満了日	更新予定年度	運転資格	備考	
								総重量		
本部 車両	緊急連絡車	福岡830 す 23-05	トヨタハイラックス 3DF-GUN125	福岡トーハツ 福岡トヨベツ	令和5年5月12日	令和7年5月11日	令和20年度	普通 2,985	警防課管理	
		福岡502 ほ 17-18	ニッサン セレナ DBA-C25	吉村自動車	平成22年2月23日	令和7年2月22日	令和6年度 (更新延期)	普通 2,060	総務課管理	
	予防査察車	福岡581 い 55-59	ホンダ Nボックス DBA-JF1	篠栗モーター	平成25年2月7日	令和6年2月6日	令和9年度	普通 1,150	予防課管理	
	防災指導車	福岡502 ら 57-52	トヨタ アイシス DBA-ZGM11G	篠栗モーター	平成24年3月21日	令和7年3月20日	令和8年度	普通 1,845	予防課管理 防災協会寄贈	
南部署 車両	支援1	福岡830 さ 21-11	日野レンジャー 2KG-GX2ABA	モリタ 坪井特殊車体	令和3年11月25日	令和6年11月24日 (毎年車検)	令和21年度	大型 10,350	支援車Ⅲ型 緊急消防援助隊 後方支援小隊登録 福岡国際空港機地域共生事業費助成	
	指揮1	福岡830 せ 18-01	トヨタハイエース CBF-TRH226S	消防防災	平成30年3月13日	令和6年3月12日	令和17年度	普通 3,210	4WD	
	粕南1	福岡830 す 17-01	日野レンジャー SDG-GX7JGAA改	消防防災 日本機械	平成29年1月25日	令和7年1月24日	令和10年度	中型 10,700	Ⅱ型 4WD 水2.0t積載 空港環境整備協会助成	
	化学1	福岡831 す 119	日野レンジャー SDG-GX7JGAA改	消防防災 日本機械	平成26年1月22日	令和6年1月21日	令和7年度	大型 11,130	Ⅱ型 4WD 水1.3t 薬0.25t×2積載 (水1.55t 薬0.25t×1積載中)	
	救助1	福岡830 さ 16-01	日野レンジャー SDG-GX7JGAA改	キンバイ テイセンテクノ	平成28年3月16日	令和6年3月15日	令和15年度	大型 11,790	緊急消防援助隊 救助小隊登録 救助工作車Ⅲ型 4WD	
	はしご1	福岡830 ち 119	日野 スーパートルファンロイア KL-FW4FTHA	モリタ モリタテクノス	平成14年2月22日	令和6年2月26日	令和6年度	大型 21,950	水路管付40m級はしご車	
	粕南5	福岡830 の 119	三菱FUSO ファイター KK-FK61HGY	福岡トーハツ 吉谷ポンプ	平成16年1月26日	令和6年1月28日	令和10年度廃車予定	大型 11,620	Ⅱ型 水1.5t 薬0.25t×2積載 (水1.75t 水0.25t×2積載中)	
	救急1	福岡801 の 11-11	トヨタハイエース CBF-TRH226S	福岡トヨタ自動車 トヨタテクノクラフト	平成30年1月9日	令和6年1月8日	令和6年度	普通 3,155	高規格救急車 4WD 奇贈(タイラーⅡ)	
	救急2	福岡830 せ 22-01	トヨタハイエース 3BF-TRH226S	福岡トヨタ自動車 トヨタカスタマイジング	令和4年1月6日	令和6年1月5日	令和10年度	普通 3,215	緊急消防援助隊 救急小隊登録 災害対応特殊救急自動車 4WD 高規格救急車 4WD	
	救急7	福岡830 さ 16-05	トヨタハイエース CBF-TRH226S	福岡トヨタ自動車 トヨタテクノクラフト	平成28年2月9日	令和6年2月8日		普通 3,215	高規格救急車 4WD 空港環境整備協会助成	
		査察車	福岡502 ゆ 91-93	トヨタ ノア DBA-ZRR70G	篠栗モーター	平成24年1月24日	令和7年1月23日	令和8年度	普通 2,020	
		ミニバイク1	志免町 公・418	ホンダ カブ BA-AA01	モトショップ フジキ	平成14年9月1日			原付	かずや南ライオンズクラブ寄贈
		ミニバイク2	志免町 公・420	ホンダ カブ BA-AA01	モトショップ フジキ	平成14年9月1日			原付	かずや南ライオンズクラブ寄贈
	中部署 車両	支援2	福岡800 す 15-24	トヨタ コースター KK-HZB46V	福岡トーハツ 福岡トヨタ自動車	平成15年9月24日	令和6年9月24日 (毎年車検)	令和6年度 (更新延期)	中型 3,955	
指揮2		福岡830 さ 17-02	トヨタハイエース CBF-TRH226S	消防防災	平成29年1月26日	令和7年1月25日	令和14年度	普通 3,210	4WD	
粕南2		福岡830 さ 21-02	日野レンジャー 2KG-GX2ABA	福岡トーハツ 吉谷ポンプ	令和3年2月3日	令和7年2月2日	令和18年度	大型 11,720	緊急消防援助隊 消火小隊登録 Ⅱ型 水2.0t積載 4WD 福岡国際空港機地域共生事業費助成	
化学2		福岡830 す 23-06	日野レンジャー 2KG-GX2ABA	福岡トーハツ 吉谷ポンプ	令和5年6月29日	令和7年6月28日	令和19年度	大型 11,850	Ⅱ型 水1.3t 薬0.25t×2積載	
救助2		福岡830 り 119	日野レンジャー BDC-GX7JGWA改	キンバイ テイセンテクノ	平成23年2月24日	令和7年2月24日	令和10年度	大型 11,050	救助工作車Ⅱ型 4WD	
粕南4		福岡830 て 119	三菱FUSO ファイター KK-FK61HGX	福岡トーハツ 吉谷ポンプ	平成14年11月8日	令和6年11月18日	令和7年度廃車予定	中型 9,180	Ⅱ型 水2.0t積載	
救急3		福岡830 さ 23-12	トヨタハイエース 3BF-TRH226S	福岡トヨタ自動車 トヨタテクノクラフト	令和5年12月15日	令和7年12月14日	令和12年度	普通 3,225	高規格救急車 4WD 福岡国際空港機地域共生事業費助成	
救急4		福岡830 せ 20-11	トヨタハイエース 3BF-TRH226S	福岡トヨタ自動車 トヨタテクノクラフト	令和2年11月17日	令和6年11月16日	令和9年度	普通 3,230	緊急消防援助隊 救急小隊登録 災害対応特殊救急自動車 4WD 福岡国際空港機地域共生事業費助成	
救急6		福岡830 さ 17-06	トヨタハイエース CBF-TRH226S	福岡トヨタ自動車 トヨタテクノクラフト	平成29年1月10日	令和7年1月9日	令和9年度	普通 3,175	高規格救急車 4WD	
		中部連絡車	福岡301 め 21-22	トヨタ プリウス DAA-ZVW30	篠栗モーター	平成23年3月2日	令和6年3月1日	令和7年度 令和5年度警防課より 中部署へ移管	普通 1,585	
		査察車	福岡502 も 49-39	トヨタ ノア DBA-ZRR70G	伊藤自動車	平成23年8月19日	令和6年8月18日	令和8年度	普通 2,020	
		ミニバイク4	志免町 公・422	ホンダ カブ BA-AA01	モトショップ フジキ	平成14年9月1日			原付	かずや南ライオンズクラブ寄贈
		ミニバイク5	志免町 公・423	ホンダ カブ BA-AA01	モトショップ フジキ	平成14年9月1日			原付	かずや南ライオンズクラブ寄贈
西出張所		粕南3	福岡830 さ 18-03	日野レンジャー 2KG-GX2ABA	福岡トーハツ 吉谷ポンプ	平成30年2月21日	令和6年2月20日	令和14年度	中型 10,960	Ⅱ型 水2.0t積載 4WD 空港環境整備協会助成
	救急5	福岡830 さ 22-11	トヨタハイエース 3BF-TRH226S	福岡トヨタ自動車 トヨタテクノクラフト	令和4年11月18日	令和6年11月17日	令和11年度	普通 3,165	高規格救急車 4WD	
		査察車2	福岡480 ち 62-09	スズキエブリイ HBD-DA17V	今任自動車	平成28年5月20日	令和6年5月19日	令和12年度	普通 1,320	
		ミニバイク3	志免町 公・421	ホンダ カブ BA-AA01	モトショップ フジキ	平成14年9月1日			原付	かずや南ライオンズクラブ寄贈

## 2 消防車両紹介

### 消防本部警防課

#### 緊急連絡車



- ・災害現場支援
- ・機動力を活かし各種訓練に活躍



1981年 16m 屈折はしご車

### 南部消防署

#### 指揮調査車



- ・災害現場で現場消防本部を設置、指揮活動
- ・各種調査機材を積載し、原因調査活動を行う

#### タンク車



- ・水槽付消防ポンプ自動車 ・4WD
- ・水槽 2.0t

#### 化学車



- ・化学消防ポンプ自動車Ⅱ型 ・4WD
- ・水槽 1.3t 泡原液槽 0.5t

#### 救助工作車



- ・救助工作車Ⅲ型 ・4WD ・高度救助資機材積載
- ・緊急消防援助隊 救助小隊登録車両

#### はしご車



- ・水路管付 40m 級はしご自動車

#### 支援車



- ・資機材搬送や人員搬送に活躍
- ・緊急消防援助隊 後方支援小隊登録車両

非常用消防車



- ・化学消防ポンプ自動車Ⅱ型
- ・高圧ポンプ積載、水槽 1.5t 泡原液槽 0.5t

救急車(救急1)



- ・高規格救急車 ・4WD
- ・タイヤⅡ号

救急車(救急2)



- ・高規格救急車 ・4WD
- ・災害対応特殊救急自動車
- ・緊急消防援助隊 救急小隊登録車両

非常用救急車(救急7)



- ・高規格救急車 ・4WD

## 中部消防署

指揮調査車



- ・災害現場で現場消防本部を設置、指揮活動
- ・各種調査機材を積載し、原因調査活動を行う

タンク車



- ・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車
- ・水槽 2.0t ・4WD
- ・緊急消防援助隊 消火小隊登録車両

化学車



- ・化学消防ポンプ自動車Ⅱ型
- ・水槽 1.3t 泡原液槽 0.5t

救助工作車



- ・救助工作車Ⅱ型 ・4WD

非常用消防車



- ・水槽付消防ポンプ自動車 ・水槽 2.0t
- ・高圧ポンプ積載

支援車



- ・資機材搬送や人員搬送に活躍

救急車(救急3)



- ・高規格救急車 ・4WD

救急車(救急4)



- ・高規格救急車 ・4WD
- ・災害対応特殊救急自動車
- ・緊急消防援助隊 救急小隊登録車両

非常用救急車(救急車6)



- ・高規格救急車 ・4WD



## 西出張所

タンク車



- ・水槽付き消防ポンプ自動車 ・4WD
- ・水槽 2.0t

救急車(救急5)



- ・高規格救急車 ・4WD

### 3 火災の総括

#### ① 発生状況及び出火率

令和5年中(令和5年1月1日～令和5年12月31日)における火災件数は37件で、前年から9件増加している。前年比の内訳は、建物火災が3件増加し林野及びその他火災が1件ずつ増加し、車両火災が4件増加した。

出火件数を火災種別で見ると、建物火災が19件(51.3%)と最も多く、次いで車両火災が9件(24.3%)、林野火災が1件(2.7%)その他火災(建物、車両、林野火災に該当しないもの)が8件(21.6%)、となっている。

出火件数を月別に見ると、10月が最も多く8件、次いで1月が5件、2月・9月が4件、5月11月が3件、3月・7月・8月・12月が2件、4月・6月が1件となっている。

建物火災の用途別では、専用住宅が4件(21%)、共同住宅が1件(5.3%)、併用住宅が1件(5.3%)、店舗が3件(15.8%)、工場・作業場が5件(26.3%)、倉庫が2件(10.5%)、その他が3件(15.8%)となっている。

出火率(人口1万人当たりの出火件数)は1.8件で、前年から0.4件増加している。この数値は、前年(令和4年中)の全国平均出火率2.9件より1.1件少ない数値である。

#### ② 死傷者

火災による死者はなし(前年2人)で、負傷者は1人(前年1人)である。

#### ③ 焼損状況及び損害額

焼損棟数は19棟で、前年の21棟より2棟減少し、火元建物の焼損床面積は84.0㎡で、前年の464.0㎡より380.0㎡減少している。

火災による損害額は41,102千円で、前年の44,205千円より、3,103千円減少している。

#### ④ 出火原因

出火原因で最も多かったのが、こんろ4件(前年2件)。次いで、排気管3件(前年1件)、火入れ、放火の疑いがそれぞれ2件の順となっている。

#### ◆令和5年火災総括表

総火災件数		37 件
火災種別	建物	19 件
	林野	1 件
	車両	9 件
	その他	8 件
焼損棟数		18 棟
り災世帯		7 世帯
り災人員		24 人
建物焼損床面積(火元)		84.0 ㎡
" (類焼)		0.0 ㎡
建物焼損表面積(火元)		12.0 ㎡
" (類焼)		0.0 ㎡
林野焼損面積		62.0 アール
死者		0 人
負傷者		1 人
総損害額		41,102 千円
内訳	建物	37,177 千円
	林野	2 千円
	車両	3,801 千円
	その他	122 千円

#### ◆各種別平均

件数	
1か月当り	3.1 件
1日当り	0.10 件
損害額	
1件当り	1,110.9 千円
1か月当り	3,425.2 千円
1日当り	112.6 千円
1時間当り	4.7 千円
1分当り	0.1 千円
焼損床面積(建物火災・火元)	
1件当り	4.4 ㎡
1か月当り	7.0 ㎡
1日当り	0.2 ㎡

出火率 (人口1万人当り)

1.8 件
-------

※建物火災19件のうち1件は爆発現象によるものであるため焼損棟数及び焼損程度には含まれない。

#### ◆出火原因順位

順位	出火原因	件数
1位	こんろ	4件
2位	排気管	3件
4位	火入れ	2件
	放火の疑い	

※出火原因順位にその他及び不明は含まれない。

#### 4 火災の総括表

##### ① 前年比較総括表

区分		単位	令和5年	令和4年	前年比	
火災件数	計	件	37	28	9	
	建物	〃	19	16	3	
	林野	〃	1	0	1	
	車両	〃	9	5	4	
	その他	〃	8	7	1	
焼損面積	建物	床面積(火元)	m <sup>2</sup>	84	464	△ 380
		〃 (類焼)	〃	0	0	0
		表面積(火元)	〃	12	4	8
		〃 (類焼)	〃	0	39	△ 39
	林野	a	62	0	62	
焼損棟数	計	棟	18	21	△ 3	
	全焼	〃	0	3	△ 3	
	半焼	〃	1	0	1	
	部分焼	〃	5	5	0	
	ぼや	〃	12	13	△ 1	
損害額	計	千円	41,102	44,205	△ 3,103	
	建物	〃	37,177	43,157	△ 5,980	
	林野	〃	2	0	2	
	車両	〃	3,801	882	2,919	
	その他	〃	122	166	△ 44	
死者	人	0	2	△ 2		
負傷者	〃	1	1	0		
り災世帯	計	世帯	7	13	△ 6	
	全損	〃	0	4	△ 4	
	半損	〃	0	0	0	
	小損	〃	7	9	△ 2	
り災人員	人	24	32	△ 8		
管内人口	〃	202,143	202,227	△ 84		
管内世帯数	世帯	90,007	88,886	1,121		
1人当りの損害額	円	203	219	△ 16		
1世帯当りの損害額	千円	1	1	0		
出火率	件	2	1	0		

② 月別総括表

月別	区分		火災種別					焼損面積			内訳				
	火災件数	建物	内訳		林野	車両	その他	床面積 m <sup>2</sup>	表面積 m <sup>2</sup>	林野 a	焼損棟数	全焼	半焼	部分焼	ぼや
			住家	非住家											
1	5	4	1	3		1	15	9		3			3		
2	4	1	1		1	2			58	1				1	
3	2	1		1						1				1	
4	1								3						
5	3	1		1		1	66			1		1			
6	1	1		1						1				1	
7	2	1		1		1				1				1	
8	2	1		1						1				1	
9	4	1		1		2				1				1	
10	8	4	2	2		1			1	4				4	
11	3	2	1	1		1	3			2			1	1	
12	2	2	1	1					3	2			1	1	
計	37	19	6	13	1	9	84	12	62	18		1	5	12	

月別	区分		内訳			り災人員数	死者	負傷者	損害額 (千円)	内訳			
	り災世帯数	全損	半損	小損	建物					林野	車両	その他	
1	1			1	5			1,618	1,401		185	32	
2							1	966	64	2	900		
3													
4													
5								2,251	580		1,671		
6								174	174				
7								50			50		
8								4,470	4,390			80	
9	1			1	4			915	70		845		
10	3			3	10			30,188	30,038		150		
11	1			1	1			404	404				
12	1			1	4			66	56			10	
計	7			7	24		1	41,102	37,177	2	3,801	122	

③ 町別総括表・南部消防署管内3か町

区分			志免町			宇美町			須恵町			南部消防署合計		
			令和5年	令和4年	前年比	令和5年	令和4年	前年比	令和5年	令和4年	前年比	令和5年	令和4年	前年比
火災件数	計	件	5	6	△ 1	4	4		5	4	1	14	14	
	建物	"	4	4		4	3	1	2	2		10	9	1
	林野	"												
	車両	"	1	1					1	1		2	2	
	その他	"		1	△ 1		1	△ 1	2	1	1	2	3	△ 1
焼損面積	建物	床面積 ㎡	5.0	247.0	△ 242.0	3.0	85.0	△ 82.0	10.0	130.0	△ 120.0	18.0	462.0	△ 444.0
		表面積 ㎡	3.0		3.0							3.0		3.0
	林野	a							1.0		1.0	1.0		1.0
	計	棟	4	4		3	3		2	2		9	9	
焼損棟数	全焼	"		1	△ 1		1	△ 1		1	△ 1		3	△ 3
	半焼	"												
	部分焼	"	2	1	1	1	1		1		1	4	2	2
	ぼや	"	2	2		2	1	1	1	1		5	4	1
損害額	計	千円	427	18,887	△ 18,460	30,592	10,168	20,424	1,313	14,349	△ 13,036	32,332	43,404	△ 11,072
	建物	"	299	18,884	△ 18,585	30,592	10,168	20,424	1,096	13,976	△ 12,880	31,987	43,028	△ 11,041
	林野	"												
	車両	"	118	2	116				185	270	△ 85	303	272	31
	その他	"	10	1	9				32	103	△ 71	42	104	△ 62
死者	人		1	△ 1		1	△ 1						2	△ 2
負傷者	"													
り災世帯	計	世帯	2	4	△ 2	1	3	△ 2	1	2	△ 1	4	9	△ 5
	全損	"		1	△ 1		1	△ 1		2	△ 2		4	△ 4
	半損	"												
	小損	"	2	3	△ 1	1	2	△ 1	1		1	4	5	△ 1
り災人員	人	9	10	△ 1	1	7	△ 6	2	4	△ 2	12	21	△ 9	
人口	"	46,575	46,561	14	36,999	37,119	△ 120	29,300	29,270	30	112,874	112,950	△ 76	
世帯数	世帯	20,941	20,649	292	16,650	16,464	186	12,828	12,651	177	50,419	49,764	655	
出火率		1.1	1.3	△ 0.2	1.1	1.1		1.7	1.4	0.3	1.2	1.2		

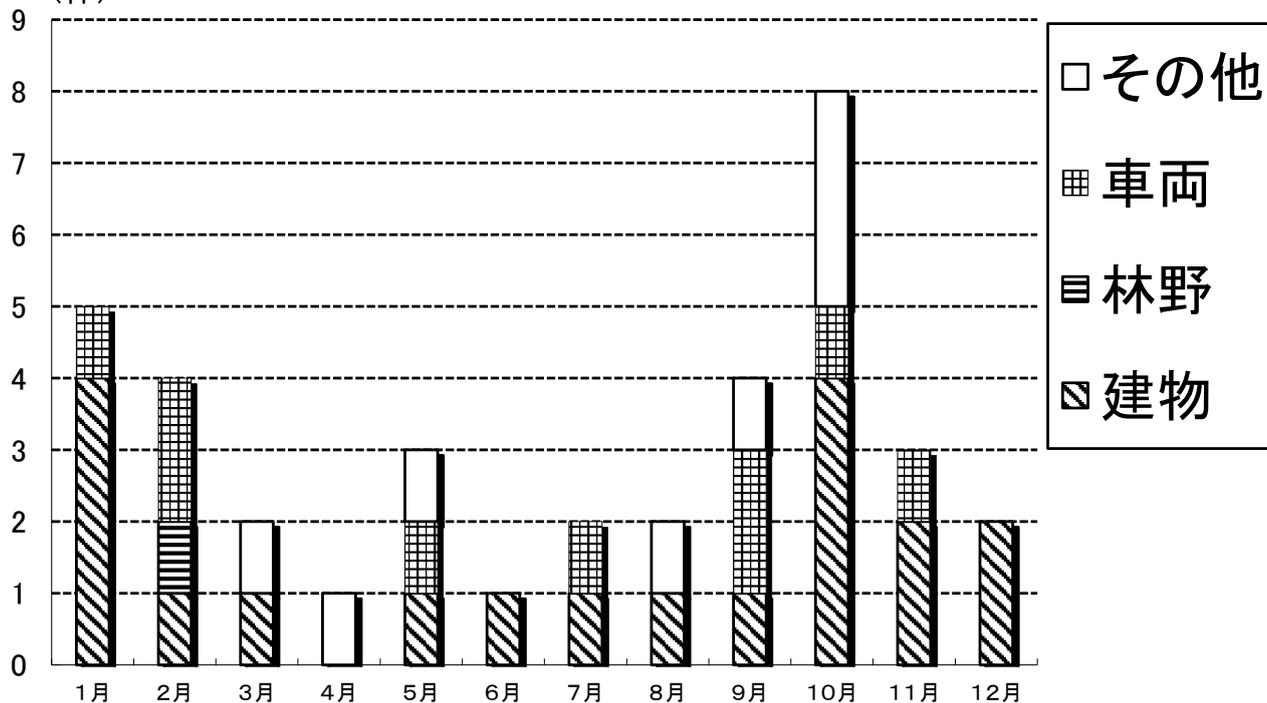
④ 町別総括表・中部消防署管内3か町

区分			粕屋町			篠栗町			久山町			中部消防署合計		
			令和5年	令和4年	前年比	令和5年	令和4年	前年比	令和5年	令和4年	前年比	令和5年	令和4年	前年比
火災件数	計	件	7	6	1	11	7	4	5	1	4	23	14	9
	建物	"	5	5		4	2	2				9	7	2
	林野	"				1		1				1		1
	車両	"				4	3	1	3		3	7	3	4
	その他	"	2	1	1	2	2		2	1	1	6	4	2
焼損面積	建物	床面積 ㎡		2.0	△ 2.0	66.0		66.0				66.0	2.0	64.0
		表面積 ㎡	9.0	4.0	5.0							9.0	4.0	5.0
	林野	a				58.0		58.0	3.0		3.0	61.0		61.0
	計	棟	5	5		4	2	2				9	7	2
焼損棟数	全焼	"												
	半焼	"				1		1			1		1	
	部分焼	"	1	1							1	1		
	ぼや	"	4	4		3	2	1			7	6	1	
損害額	計	千円	4,591	123	4,468	3,172	670	2,502	1,007	8	999	8,770	801	7,969
	建物	"	4,591	120	4,471	599	9	590				5,190	129	5,061
	林野	"				2		2				2		2
	車両	"				2,571	610	1,961	927		927	3,498	610	2,888
	その他	"		3	△ 3		51	△ 51	80	8	72	80	62	18
死者	人													
負傷者	"				1	1					1	1		
り災世帯	計	世帯	1	2	△ 1	2	2					3	4	△ 1
	全損	"												
	半損	"												
	小損	"	1	2	△ 1	2	2					3	4	△ 1
り災人員	人	4	7	△ 3	8	4	4				12	11	1	
人口	"	48,777	48,933	△ 156	31,162	31,020	142	9,330	9,324	6	89,269	89,277	△ 8	
世帯数	世帯	21,808	21,634	174	13,959	13,735	224	3,821	3,753	68	39,588	39,122	466	
出火率		1.4	1.2	0.2	3.5	2.3	1.2	5.4	1.1	4.3	2.6	1.6	1.0	

## 5 火災件数

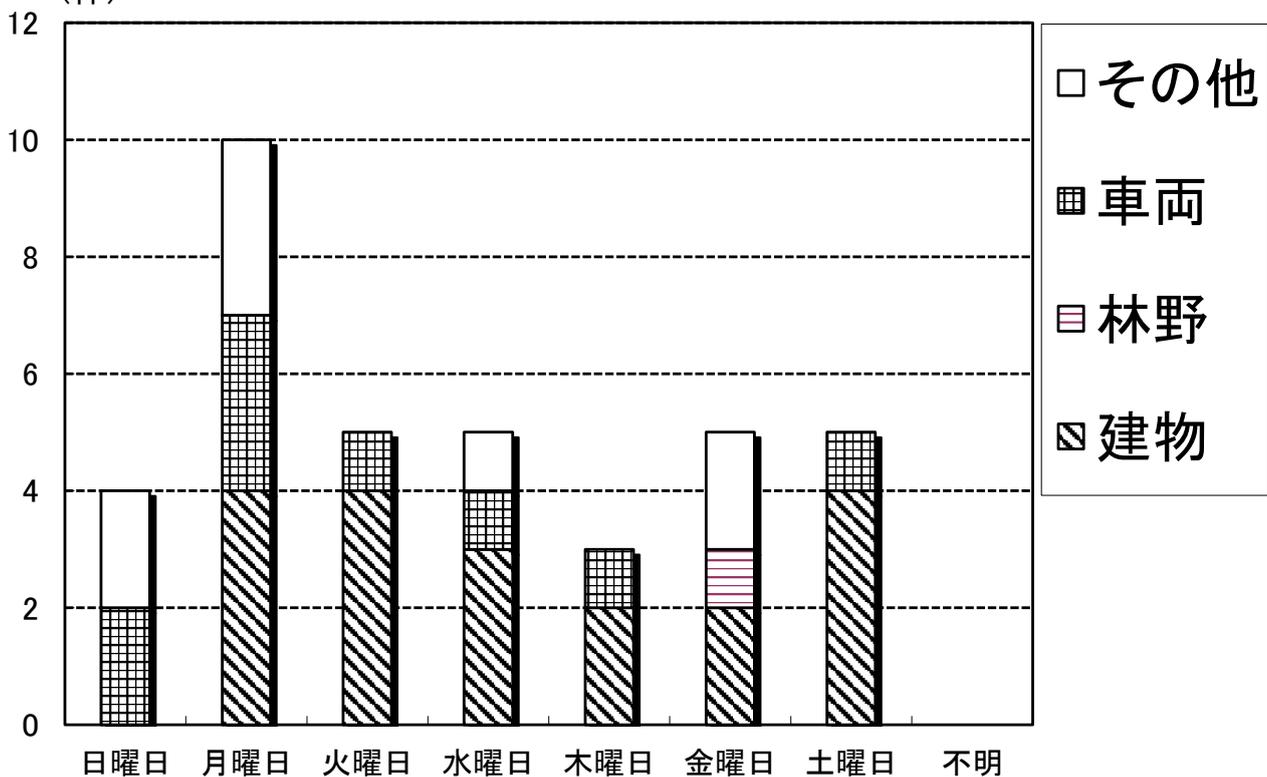
① 月別火災件数

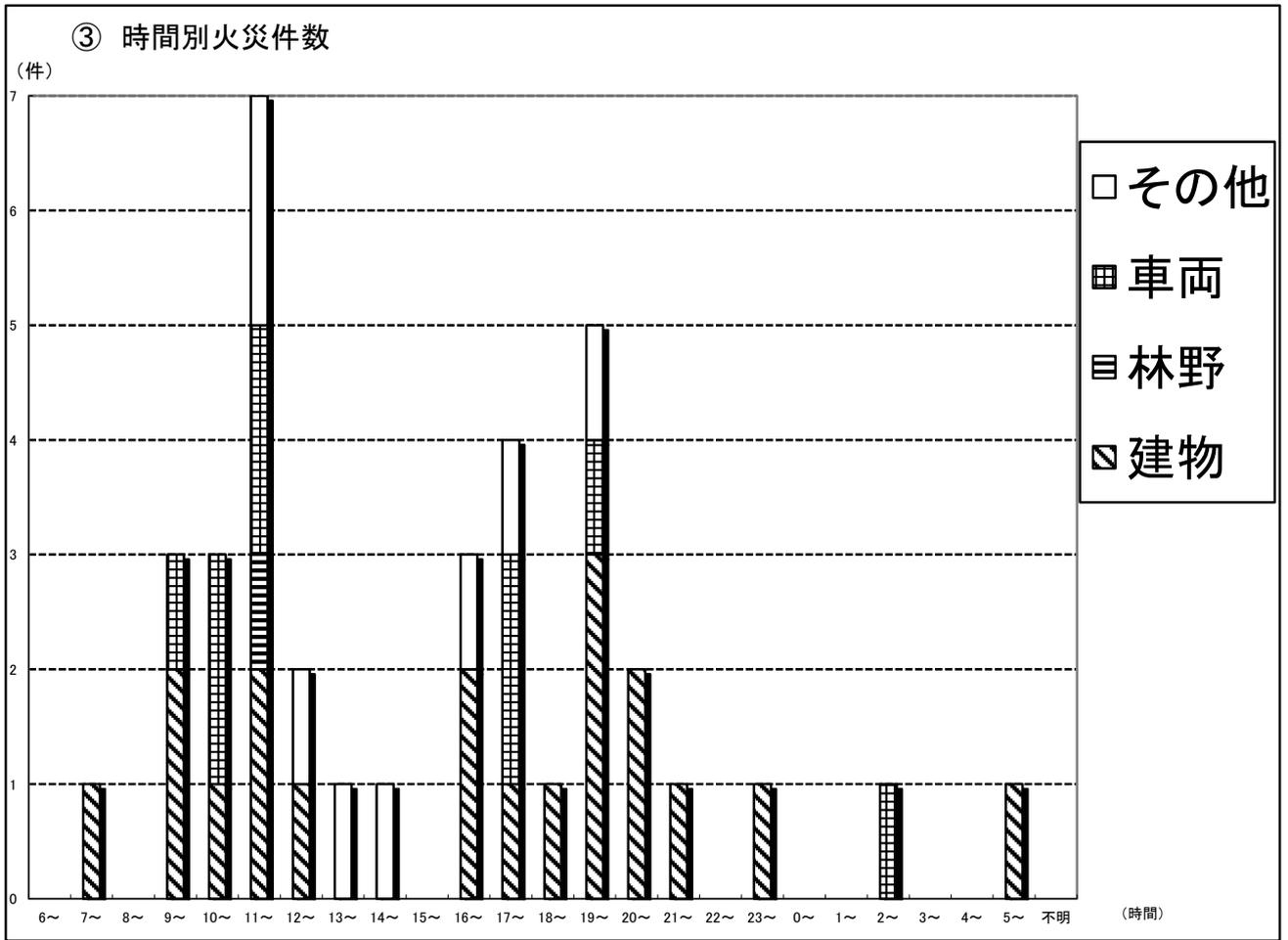
(件)



② 曜日別火災件数

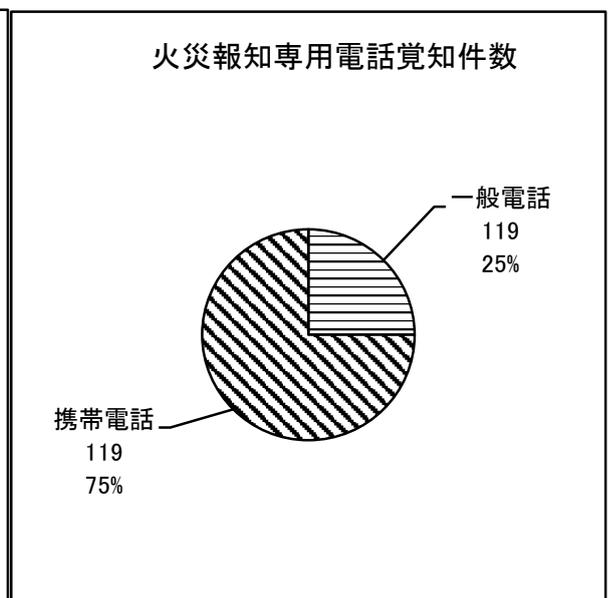
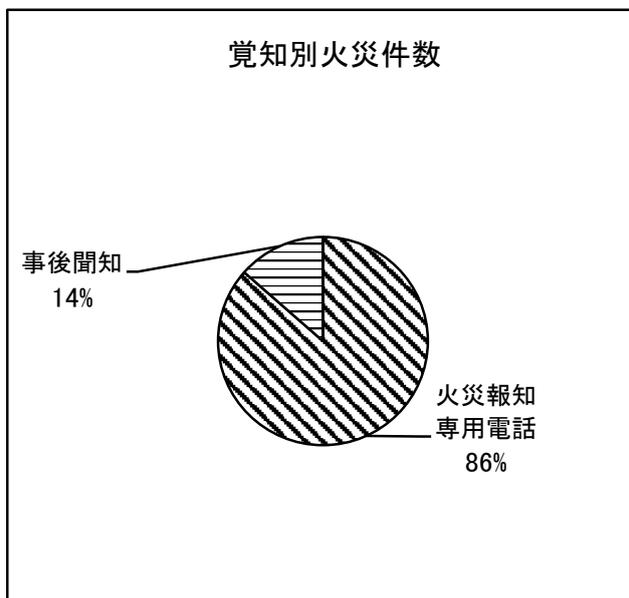
(件)



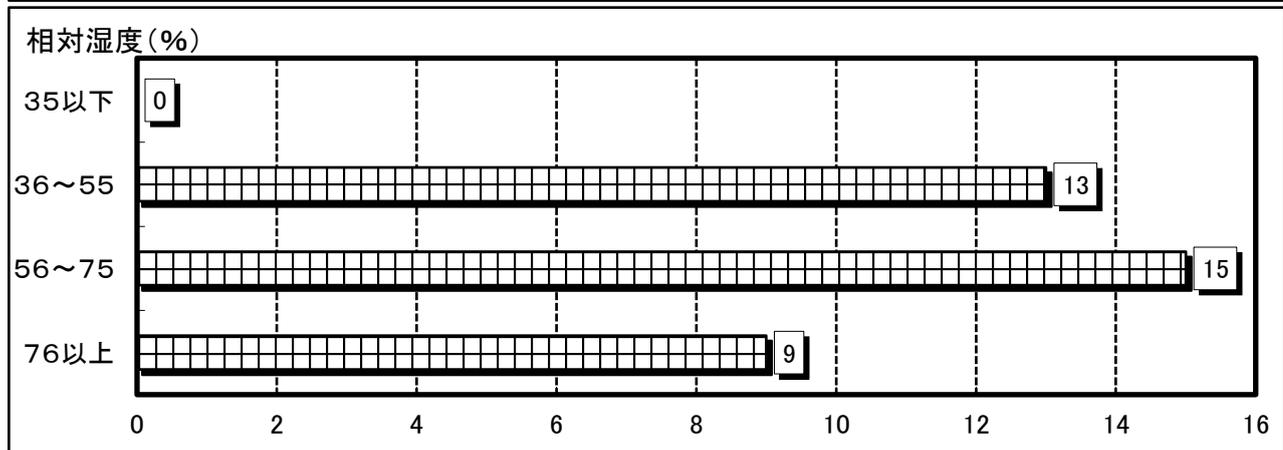
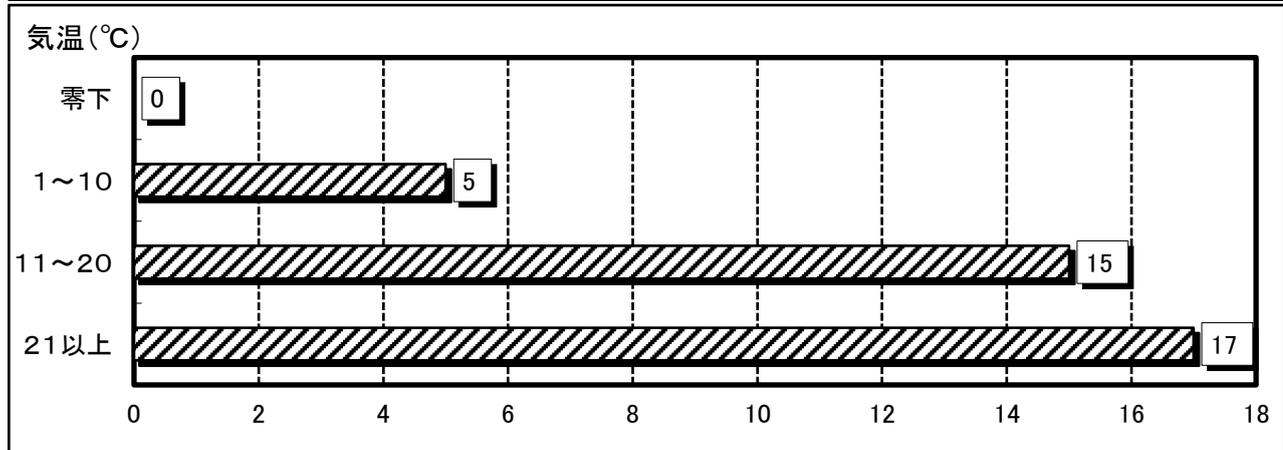
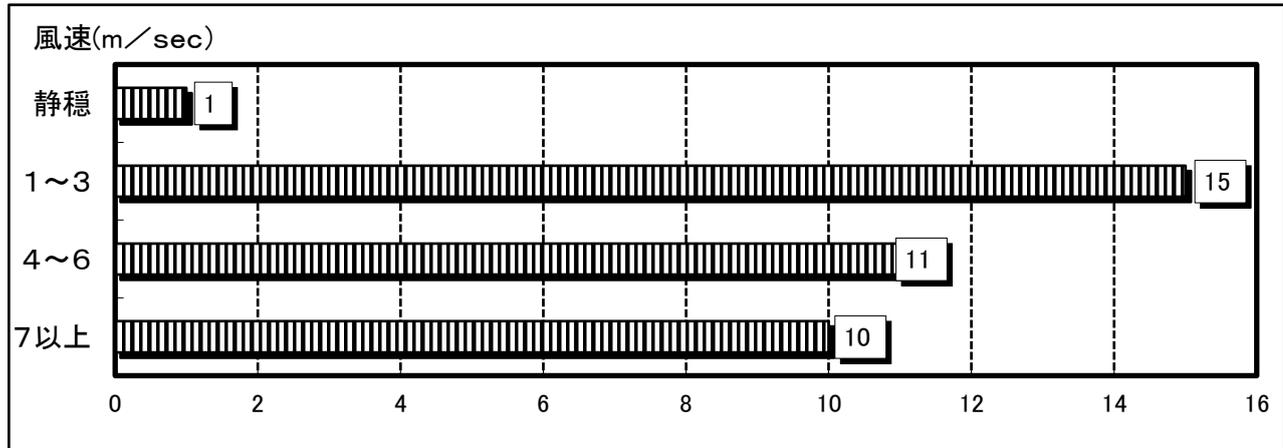
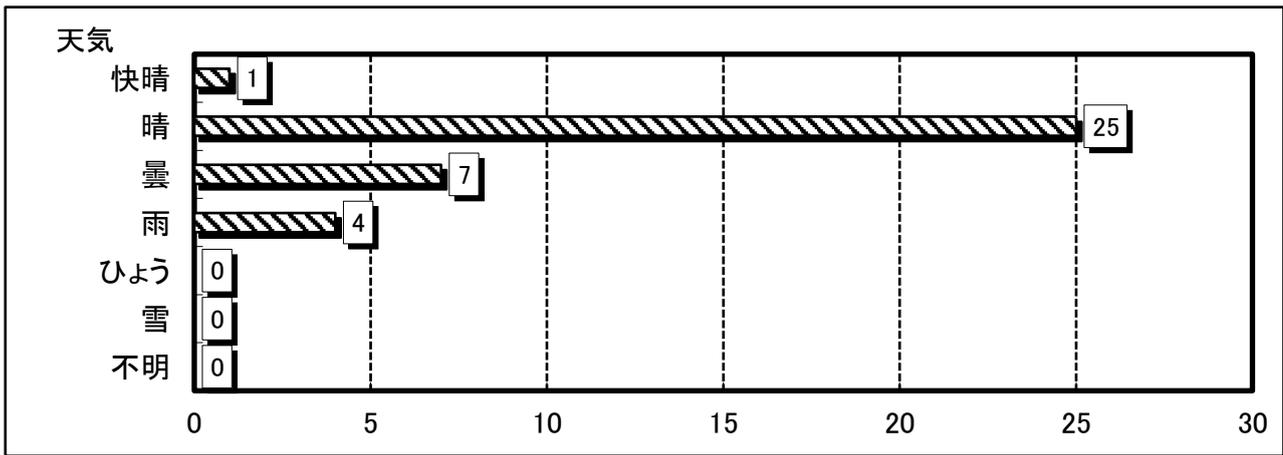


④ 覚知別火災件数 (\*点線より右側の数値は、携帯電話からの通報数再掲)

区分	建物	林野	車両	その他	計
合計	19	1	9	8	37
火災報知専用電話	14	1	9	8	32
事後聞知	5	2			7
一般加入電話					
駆け付け					
その他					



⑤ 気象別火災件数



## 6 建物火災におけるり災状況

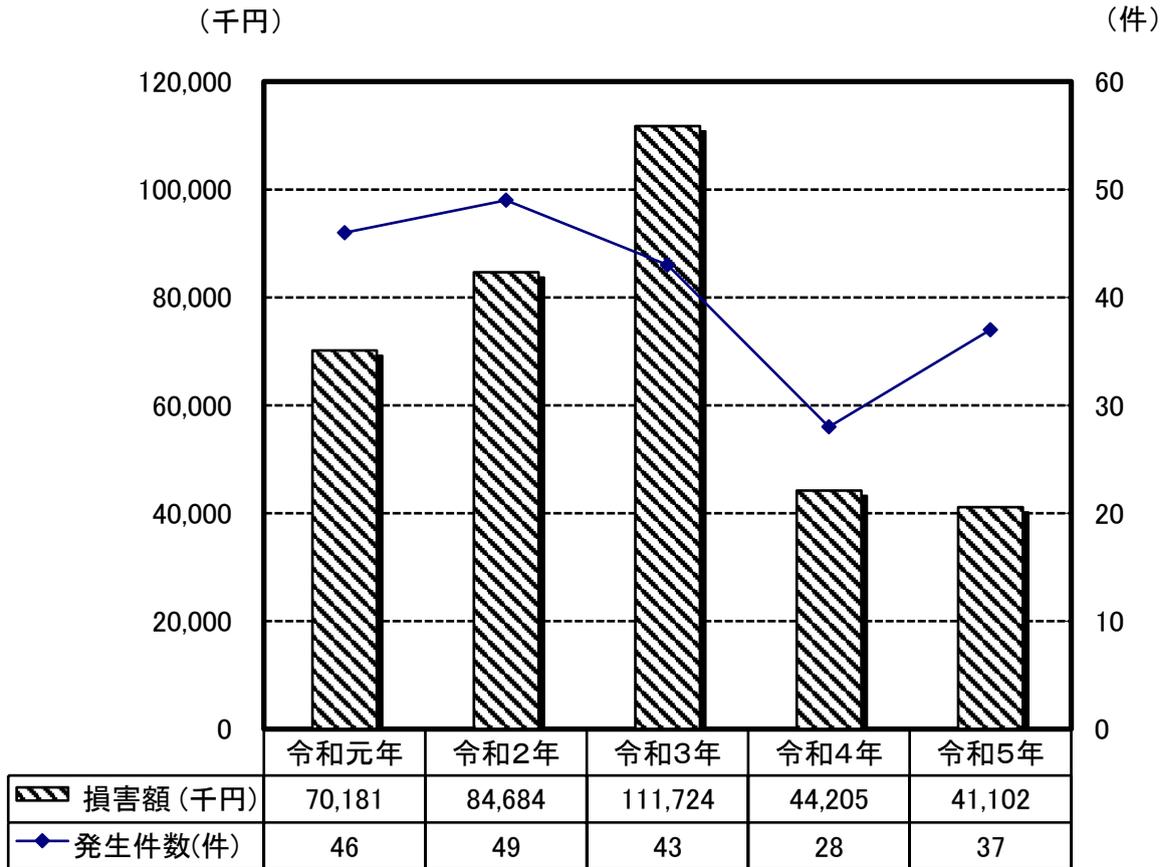
区分		火元建物			類焼建物		
		棟数	焼損床面積	焼損表面積	棟数	焼損床面積	焼損表面積
構造	木造	9	18.0	3.0			
	防火造						
	準耐(木)						
	準耐(非木)	3		9.0			
	耐火造	4					
	その他	3	66.0				
階層	平家建	7	66.0	9.0			
	2階建	9	18.0	3.0			
	3階以上	3					
用途	専用住宅	4	3.0	3.0			
	共同住宅	1					
	併用住宅	1	5.0				
	店舗	3					
	工場・作業場	5	10.0				
	倉庫	2	66.0	9.0			
	事務所						
	病院						
	その他	3					
焼損程度	全焼						
	半焼	1	66.0				
	部分焼	5	18.0	12.0			
	ぼや	12					
合計		18	84.0	12.0			

7 出火原因の状況

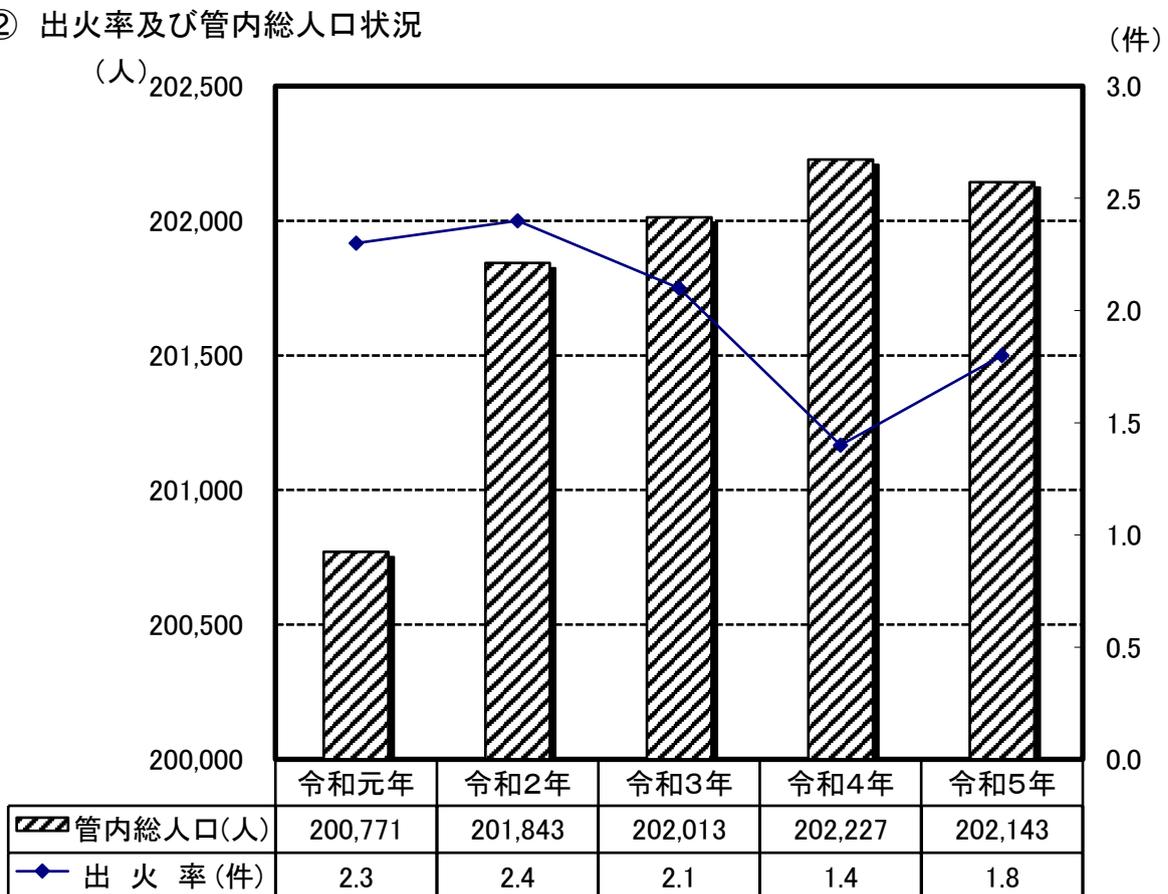
区分	令和5年					令和4年					前年比				
	建物	林野	車両	その他	計	建物	林野	車両	その他	計	建物	林野	車両	その他	計
たばこ				1	1			1	1	2			△ 1		△ 1
こんろ	4				4	2				2	2				2
かまど															
風呂かまど															
炉															
焼却炉			1		1								1		1
ストーブ	1				1	1				1					
こたつ															
ボイラー															
煙突・煙道															
排気管			3		3			1		1			2		2
電気機器															
電気装置	1				1						1				1
電灯・電話等の配線	1				1	1			1	2				△ 1	△ 1
内燃機関			1		1								1		1
配線器具	1				1	1				1					
火あそび	1				1						1				1
マッチ・ライター															
たき火	1				1						1				1
溶接機・切断機						2				2	△ 2				△ 2
灯火	1				1						1				1
衝突の火花															
取灰						1				1	△ 1				△ 1
火入れ		1		1	2	1			2	3	△ 1	1		△ 1	△ 1
放火	1				1	1			1	2				△ 1	△ 1
放火の疑い			1	1	2	1				1	△ 1		1	1	1
その他	5			3	8			2	2	4	5		△ 2	1	4
不明	2		3	2	7	5		1		6	△ 3		2	2	1
種別合計	19	1	9	8	37	16		5	7	28	3	1	4	1	9

## 8 過去5年間の推移

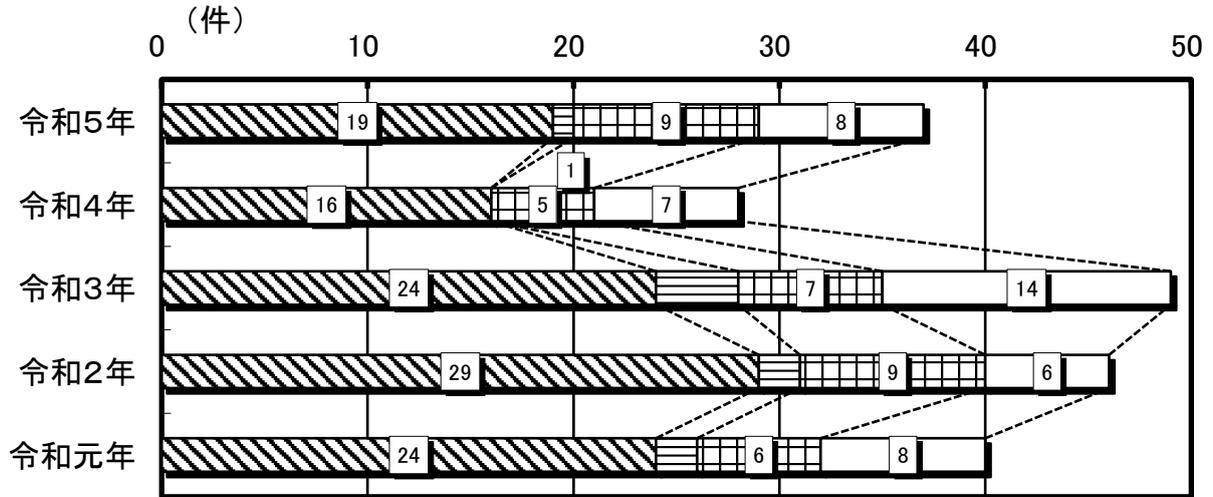
① 火災発生件数及び損害額状況  
(千円)



② 出火率及び管内総人口状況



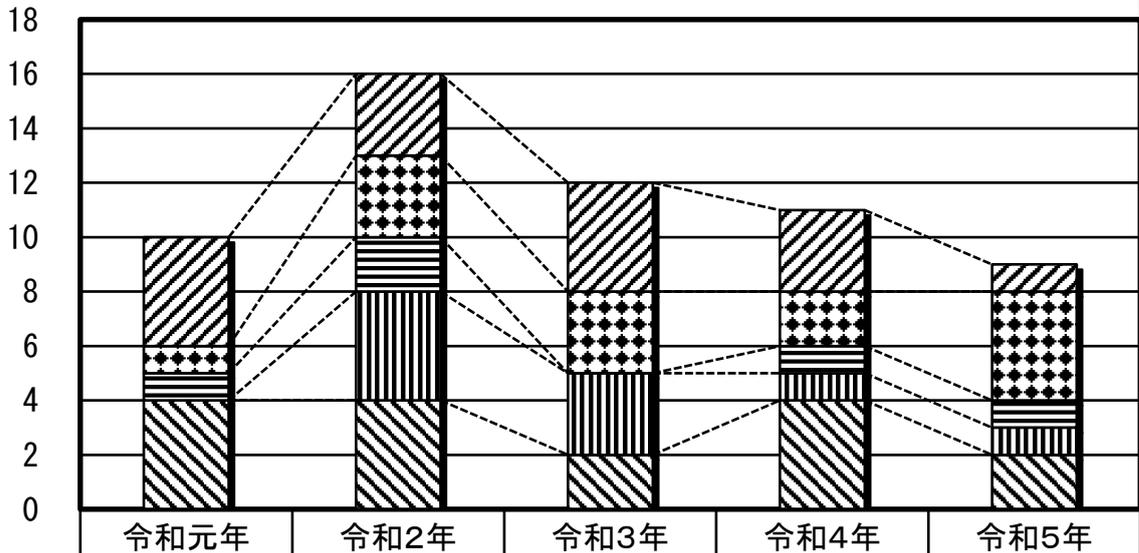
③ 火災種別



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
■建物	24	29	24	16	19
▨林野	2	2	4	0	1
□車両	6	9	7	5	9
□その他	8	6	14	7	8

④ 主な出火原因

(件)



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
■たばこ	4	3	4	3	1
■こんろ	1	3	3	2	4
▨ストーブ	1	2	0	1	1
▨放火	0	4	3	1	1
▨放火の疑い	4	4	2	4	2

⑤ 地域別火災件数

区 分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	計	
志 免 町	石 橋 台			1			1
	王 子	1				1	2
	片 峰					1	1
	片 峰 中 央	1		1	1		3
	坂 瀬		1				1
	桜 丘						
	志 免		1	3			4
	志 免 中 央	1	2	2	1	1	7
	志 免 東		1				1
	田 富			1	1		2
	東 公 園 台						
	別 府	1	3		1		5
	別 府 北	1		1		1	3
	別 府 西	1					1
	別 府 東			1			1
	松 ケ 丘	1					1
	御 手 洗						
	南 里	3	2	2	1	1	9
向 ケ 丘							
吉 原				1		1	
計	10	10	12	6	5	43	
宇 美 町	井 野	1					1
	宇 美	3		3	1	1	8
	宇 美 中 央	2			1		3
	宇 美 東				1	1	2
	貴 船			1		1	2
	光 正 寺	1		1			2
	桜 原			1			1
	四 王 寺						
	四 王 寺 坂			1			1
	障 子 岳			1			1
	障 子 岳 南	1	3		1		5
	神 武 原						
	炭 焼						
	と び た け			1			1
	原 田		1				1
	ひ ば り が 丘					1	1
	平 和						
	明 神 坂						
ゆ り が 丘	1					1	
若 草							
計	9	4	9	4	4	30	
須 恵 町	植 木	1	2	4	2	1	10
	上 須 恵	1	1	2	1		5
	佐 谷		1	2		2	5
	新 原			1			1
	須 恵	1	2	1	1	2	7
	旅 石	1	1				2
計	4	7	10	4	5	30	
南 部 消 防 署 計	23	21	31	14	14	103	

区 分		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	計
粕 屋 町	阿 恵						
	内 橋		1				1
	内 橋 東						
	内 橋 西						
	江 辻	1					1
	大 隈	1	1		2	1	5
	上 大 隈	1			2		3
	駕 与 丁		2		1		3
	甲 仲 原						
	酒 殿					3	3
	長 者 原	1					1
	長 者 原 西					1	1
	長 者 原 東					1	1
	戸 原						
	戸 原 東		1				1
	戸 原 西						
	仲 原	1	5	3			9
	花 ケ 浦						
	原 町		1	1	1		3
柚 須	1	2			1	4	
若 宮			2			2	
計	6	13	6	6	7	38	
篠 栗 町	乙 犬		1		1	1	3
	尾 仲	1	1	5			7
	金 出				1	1	2
	篠 栗	2	4		1	3	10
	高 田	1					1
	田 中	1	1	1			3
	中 央			1	2	2	5
	津 波 黒				1		1
	内 住			1		1	2
	萩 尾					1	1
	若 杉	1	1			2	4
	和 田	1					1
	彩 り 台				1		1
	計	7	8	8	7	11	41
久 山 町	猪 野		2				2
	久 原	1		1		3	5
	山 田	3	2	3	1	2	11
	計	4	4	4	1	5	18
中 部 消 防 署 計		17	25	18	14	23	97
両 署 合 計		40	46	49	28	37	200

9 月別・各町建物火災総括表

志免町		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
	件数	1	1				1						1	4
	焼損面積	5.0												5.0
	焼損表面積												3.0	3.0
	焼損棟数	1	1				1						1	4
	り災世帯	1											1	2
	り災人員	5											4	9
	死者													
	負傷者													
損害額	6	64				174						55	299	
宇美町		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
	件数	1									2	1		4
	焼損面積											3.0		3.0
	焼損表面積													
	焼損棟数										2	1		3
	り災世帯											1		1
	り災人員											1		1
	死者													
	負傷者													
損害額	194									30,000	398		30,592	
須恵町		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
	件数	1									1			2
	焼損面積	10.0												10.0
	焼損表面積													
	焼損棟数	1									1			2
	り災世帯										1			1
	り災人員										2			2
	死者													
	負傷者													
損害額	1,071									25			1,096	
粕屋町		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
	件数	1						1	1	1			1	5
	焼損面積													
	焼損表面積	9.0												9.0
	焼損棟数	1						1	1	1			1	5
	り災世帯									1				1
	り災人員									4				4
	死者													
	負傷者													
損害額	130							4,390	70			1	4,591	
篠栗町		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
	件数			1		1					1	1		4
	焼損面積					66.0								66.0
	焼損表面積													
	焼損棟数			1		1					1	1		4
	り災世帯										2			2
	り災人員										8			8
	死者													
	負傷者													
損害額					580					13	6		599	
久山町		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
	件数													
	焼損面積													
	焼損表面積													
	焼損棟数													
	り災世帯													
	り災人員													
	死者													
	負傷者													
損害額														

## 10 消防水利状況

令和6年4月末現在

種別 町別	消火栓		防火水槽			
			40m <sup>3</sup> 以上		40m <sup>3</sup> 未満	
	公設	私設	公設	私設	公設	私設
志免町	452	0	32	29	4	8
宇美町	434	0	111	28	14	12
須恵町	425	0	95	17	10	7
粕屋町	435	0	85	62	2	18
篠栗町	357	1	15	19	5	6
久山町	221	5	3	25	1	11
計	2324	6	341	180	36	62

## 1 救急の総括

### ① 活動概要

令和5年中における救急の活動概要は、出動件数が10,429件、搬送件数が9,415件、搬送人員が9,451人である。

前年と比較すると、出動件数が594件(6.0%)の増、搬送件数が599件(6.8%)の増、搬送人員が597人(6.7%)の増となっている。

過去5年間を比較すると、令和元年まで毎年増加していたが、令和2年に大きく減少した(要因は新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えられる)。令和3年から再び増加し、令和5年は過去最高の出動件数となった。

### ② 出動状況

出動件数を事故種別ごとに前年と比較すると、件数が増加したのは急病の422件、転院搬送の108件、交通事故の65件、一般負傷の40件などで、減少したのは火災、水難事故、運動競技、加害などである。

出動件数を時刻別・事故種別でみると、それぞれのピークは、急病で18時～20時、交通事故は16時～18時、一般負傷は16時～18時、転院搬送は12時～14時となっている。

### ③ 搬送状況

搬送状況を程度別でみると前年比で、軽症が4,082人(4人減)、中等症が4,960人(624人増)、重症が409人(23人減)となっている。

年齢区分別でみると、新生児を除く全年齢で急病が最も多くなっている(新生児は転院搬送が最も多くなっている)。

収容医療機関は、管内が5,400人、管外が4,051人で全体の42.9%が、管外の医療機関へ搬送されている。

### ④ 所要時間

所要時間の平均は、入電から現場到着までが9.6分(前年比較で0.5分短縮)、病院収容までが39.9分(前年比較で2.1分短縮)、総所要時間が79.5分(前年比較で5.3分短縮)となっている。

### ⑤ 隊員の行った応急処置

搬送人員9,451人に対し応急処置を実施している(実施率100%)。

実施回数が最も多いのは、観察活動の血中酸素飽和度の測定、次いで血圧測定、心電図の順となっている。

### ⑥ 不搬送件数

不搬送件数は全体で1,014件となっている。不搬送理由は「辞退(到着後)」が最も多く600件、次いで「拒否」の142件、続いて「明らかな死亡」の123件となっている。

### ⑦ 応急手当の普及啓発活動

令和5年中は、応急手当普及員講習を1回、上級救命講習を1回、普通救命講習を29回及び救命入門コースを92回実施し、合わせて3,064人に対し講習を実施している。

(事故種別の凡例)

1. 火 災 火災現場において直接火災に起因して生じた事故。
2. 自然災害 暴風・豪雨・高潮・地震等の自然現象に起因する事故。
3. 水難事故 水泳中の溺者又は水中転落等による事故。
4. 交通事故 全ての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故。
5. 労働災害 各種工場・事業所・作業場等で就業中発生した事故。
6. 運動競技 運動競技の実施中に発生した事故。
7. 一般負傷 他に分類されない不慮の事故。
8. 加 害 故意に他人によって傷害等を加えられた事故。
9. 自損行為 故意に自分自身に傷害を加えた事故。
10. 急 病 疾病によるもの。
11. 転院搬送 医療機関から医療機関への搬送。
12. その他 医師・医療資器材等の搬送及び、その他上記に分類不能のもの。

## 2 救急の概要

### ① 救急出動件数等前年比較

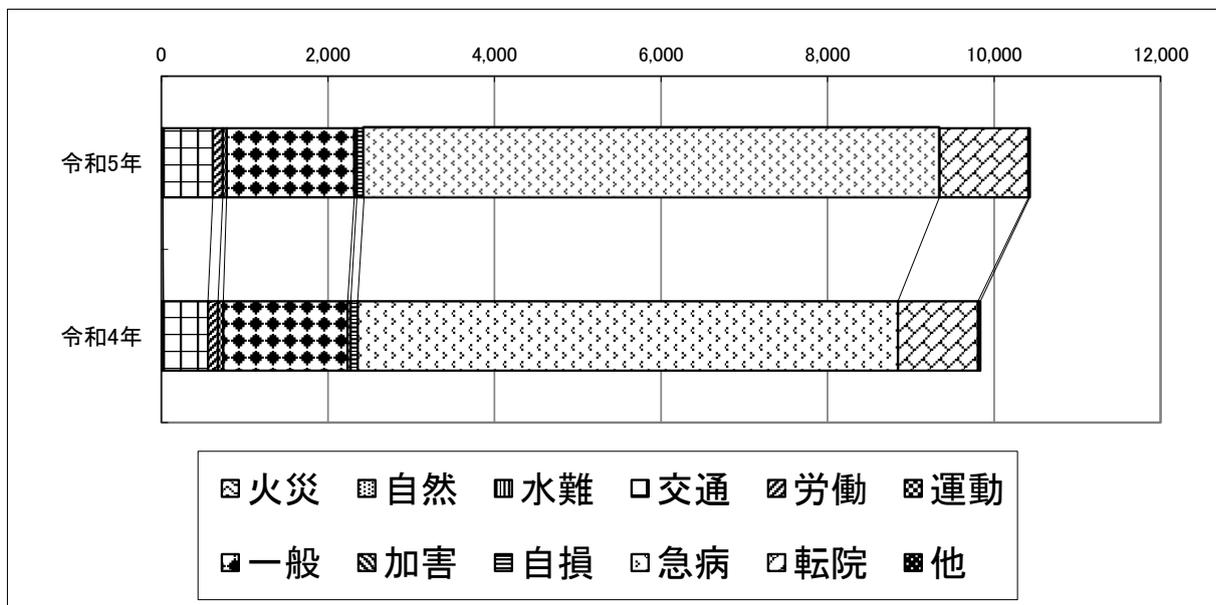
		年間				月平均				1日平均			
		本部	南部署	中部署	管外	本部	南部署	中部署	管外	本部	南部署	中部署	管外
出動件数	令和5年	10,429	6,167	4,258	4	869.1	513.9	354.8	0.3	28.6	16.9	11.7	0
	令和4年	9,835	5,829	4,003	3	819.6	485.8	333.6	0.3	26.9	16.0	11.0	0
	前年比	594	338	255	1	49.5	28.1	21.2	0.0	1.7	0.9	0.7	0
搬送件数	令和5年	9,415	5,635	3,777	3	784.6	469.6	314.8	0.3	25.8	15.4	10.3	0
	令和4年	8,816	5,253	3,562	1	734.7	437.8	296.8	0.1	24.2	14.4	9.8	0
	前年比	599	382	215	2	49.9	31.8	18.0	0.2	1.6	1.0	0.5	0
搬送人員	令和5年	9,451	5,657	3,791	3	787.6	471.4	315.9	0.3	25.9	15.5	10.4	0
	令和4年	8,854	5,269	3,584	1	737.8	439.1	298.7	0.1	24.3	14.4	9.8	0
	前年比	597	388	207	2	49.8	32.3	17.2	0.2	1.6	1.1	0.6	0

\* 本部は全ての総計、南部署及び中部署は署管轄内の合計、管外は組合管外の合計である。

## 3 出動状況

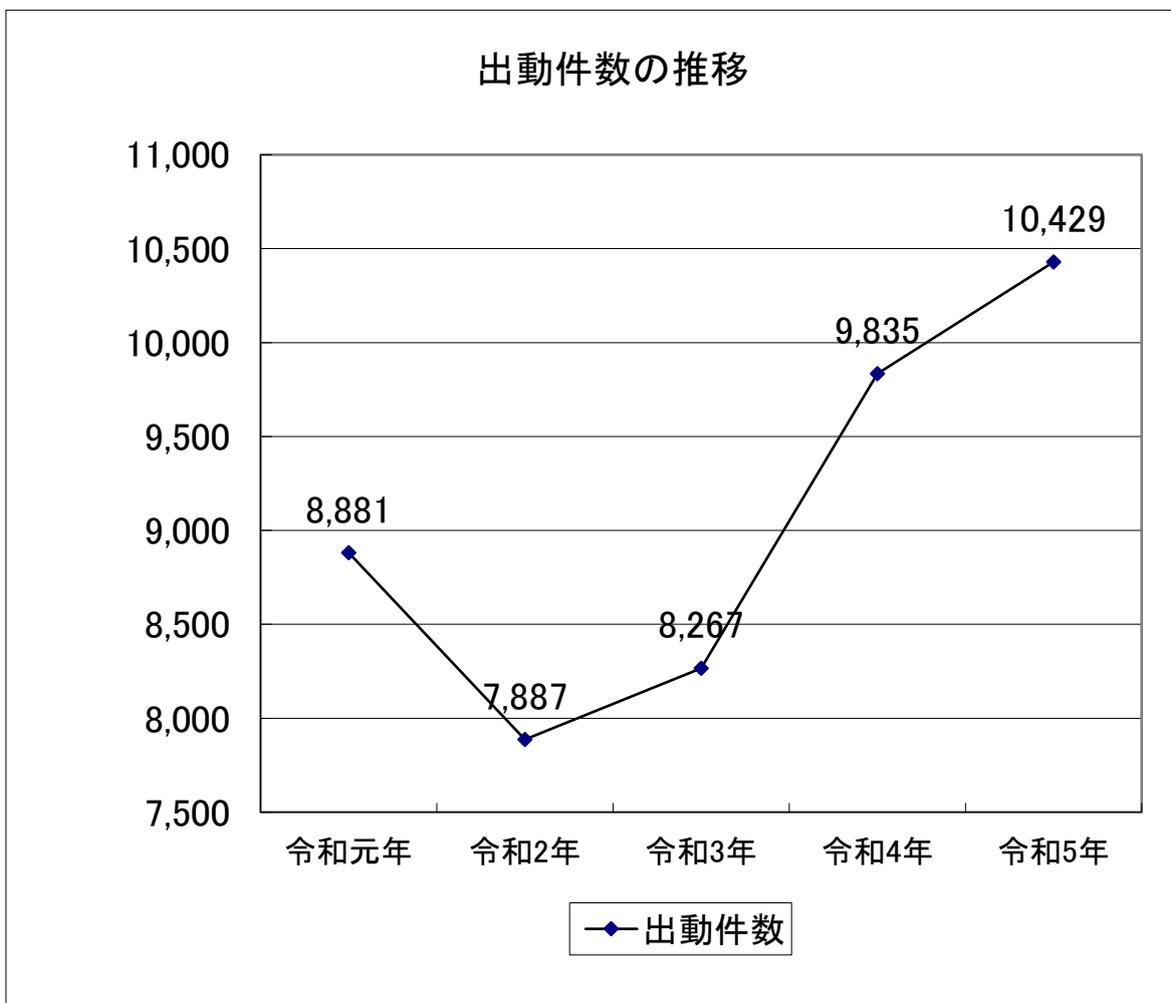
### ① 事故種別出動件数前年比

	火災	自然	水難	交通	労働	運動	一般	加害	自損	急病	転院	他	合計
令和5年	18	0	2	597	120	46	1,534	31	86	6,910	1,070	15	10,429
令和4年	21	0	6	532	121	63	1,494	37	83	6,488	962	28	9,835
前年比	△ 3	0	△ 4	65	△ 1	△ 17	40	△ 6	3	422	108	△ 13	594



② 過去5年間の出動件数の推移

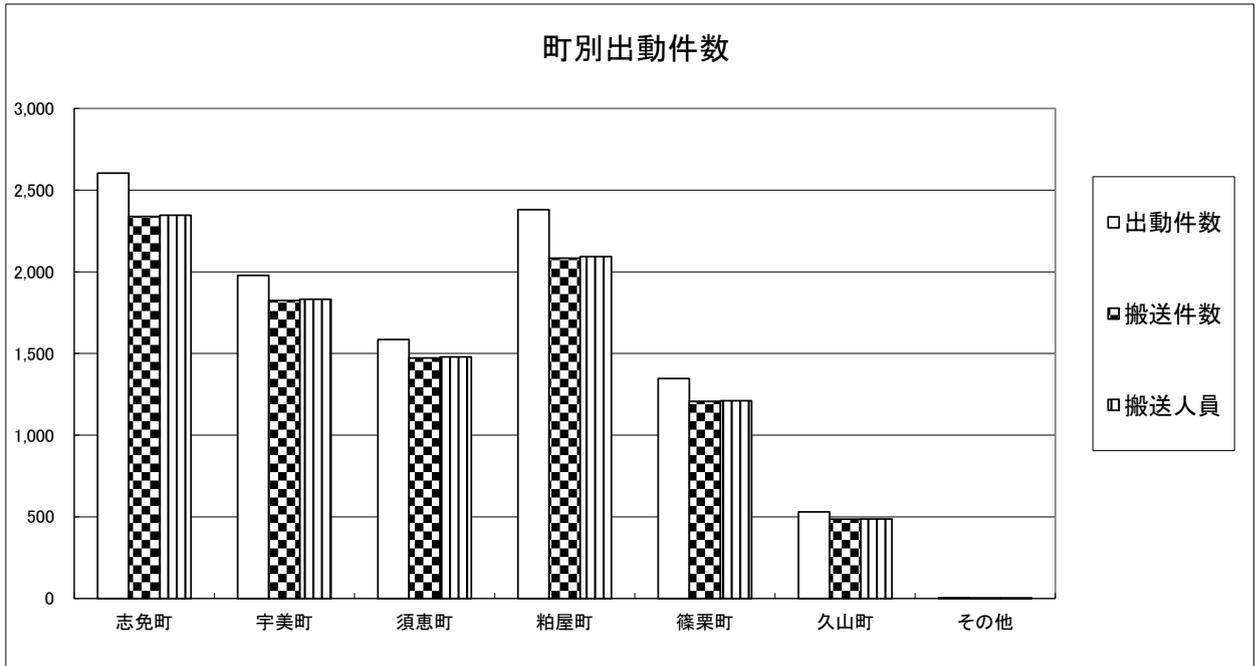
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
出動件数	8,881	7,887	8,267	9,835	10,429



③ 過去5年間救急1件あたりの人口推移・世帯推移

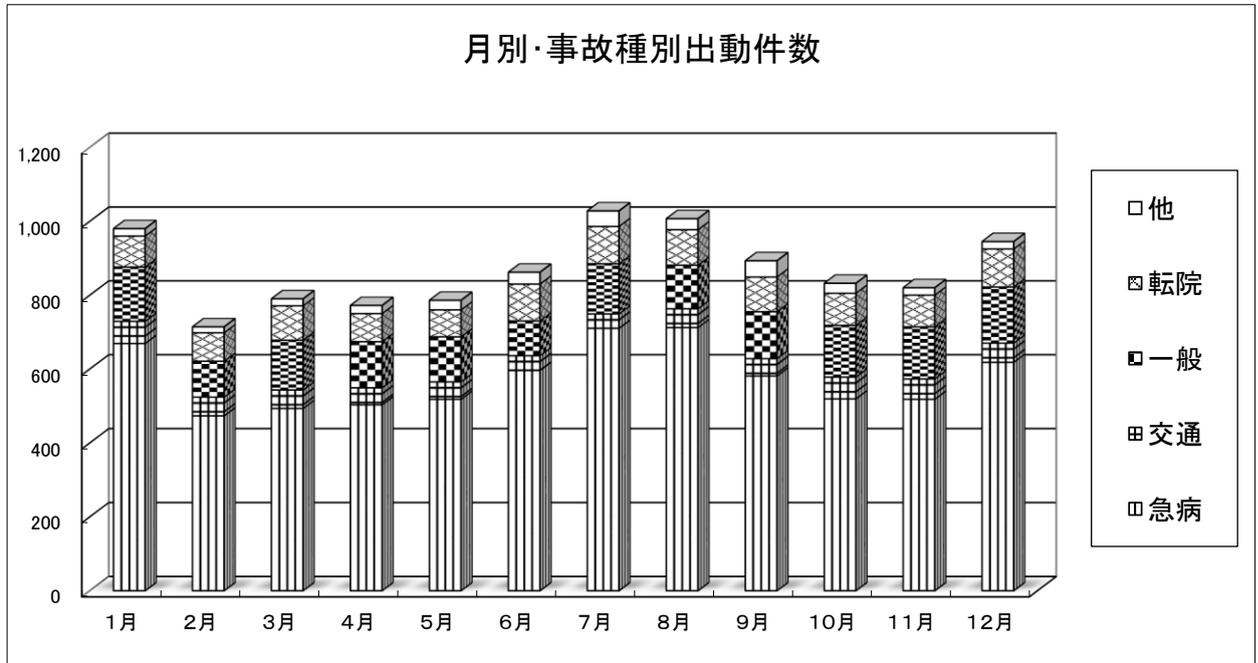
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
人口(A)	200,771	201,843	202,013	202,227	202,143
世帯数(B)	85,318	86,858	87,678	88,886	90,007
出動件数(C)	8,881	7,887	8,267	9,835	10,429
A/C (人)	22.6	25.6	24.4	20.6	19.4
B/C (世帯)	9.6	11.0	10.6	9.0	8.6

④ 町別出動件数



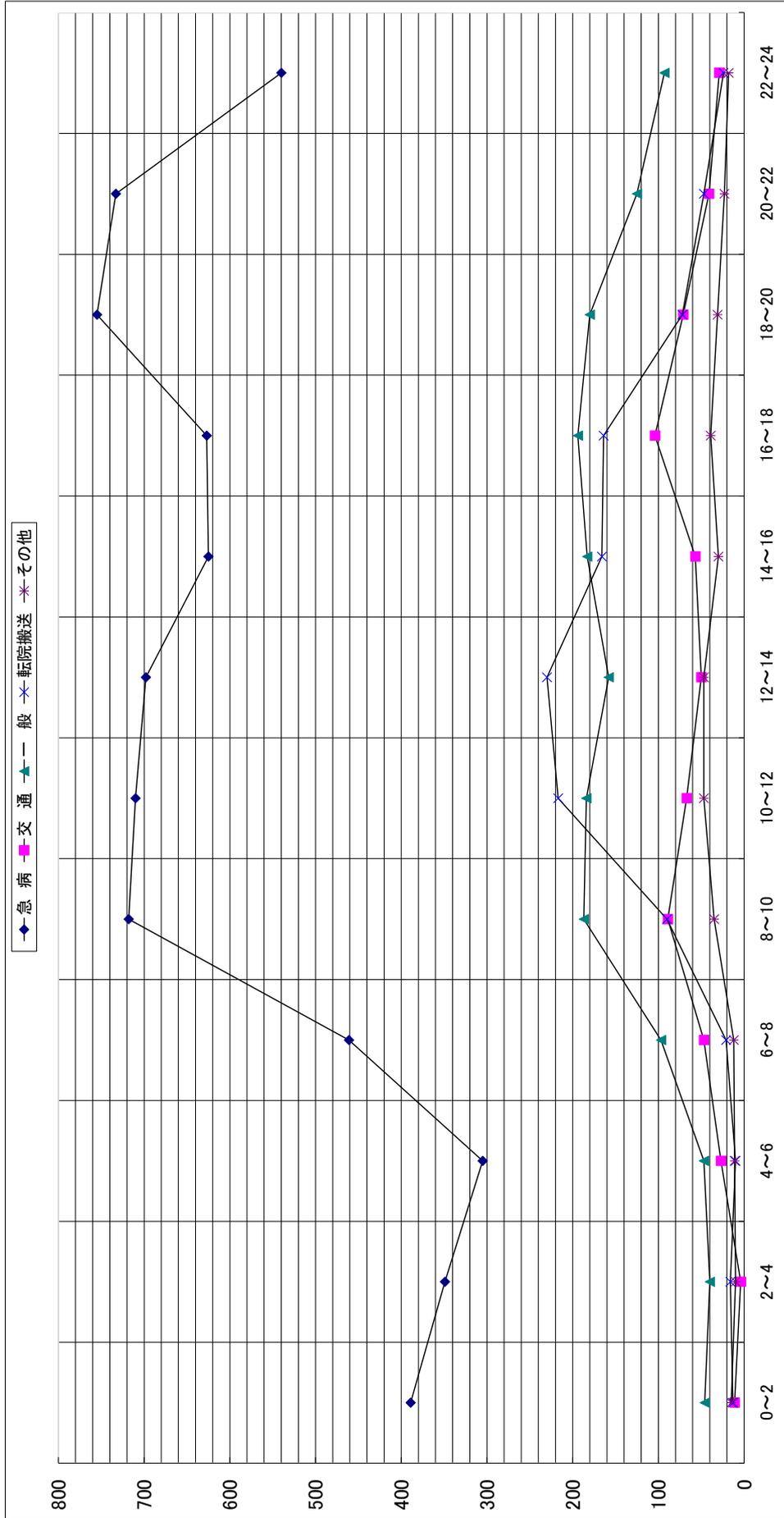
	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	その他	合計
出動件数	2,604	1,978	1,585	2,381	1,347	530	4	10,429
搬送件数	2,339	1,824	1,472	2,084	1,207	486	3	9,415
搬送人員	2,346	1,832	1,479	2,093	1,211	487	3	9,451

⑤ 月別・事故種別出動件数



区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
急病	669	473	493	503	518	596	710	712	581	519	518	618	6,910
交通	60	51	50	46	47	40	39	51	47	59	55	52	597
一般	147	97	135	125	122	94	136	118	127	140	141	152	1,534
転院	84	77	93	76	73	100	101	96	94	87	86	103	1,070
他	20	16	19	22	26	32	42	30	44	27	20	20	318
合計	980	714	790	772	786	862	1,028	1,007	893	832	820	945	10,429

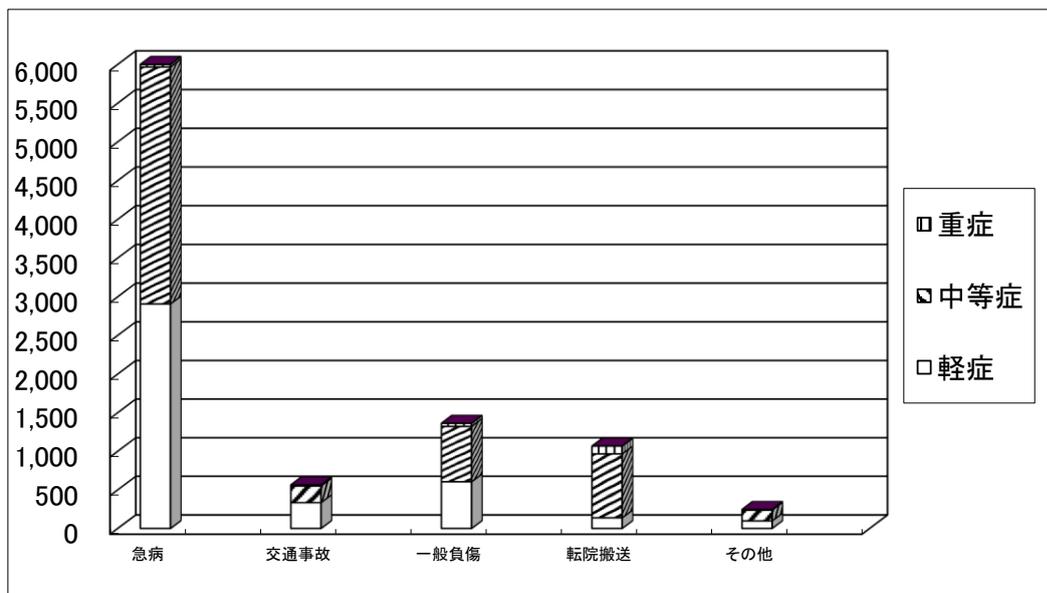
⑥ 事故種別・時刻別出動件数



事故種別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
急病	389	349	305	461	718	710	698	625	627	755	733	540	6,910
交通	11	4	27	47	89	67	50	57	104	71	41	29	597
一般	46	40	47	97	187	184	158	183	194	180	125	93	1,534
転院搬送	13	16	10	21	90	217	230	166	164	72	47	24	1,070
その他	15	10	11	12	35	47	47	30	39	31	23	18	318
合計	474	419	400	638	1,119	1,225	1,183	1,061	1,128	1,109	969	704	10,429

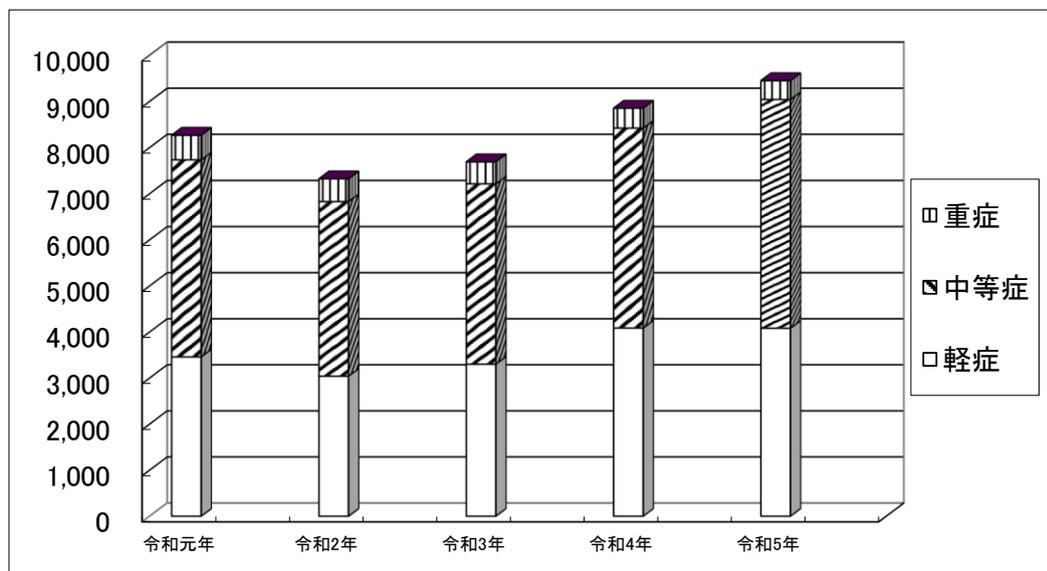
#### 4 搬送状況

##### ① 事故種別程度別搬送状況



	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他
軽症	2,907	334	605	138	98
中等症	3,060	216	717	828	139
重症	245	14	40	101	9
死亡	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	6,212	564	1,362	1,067	246

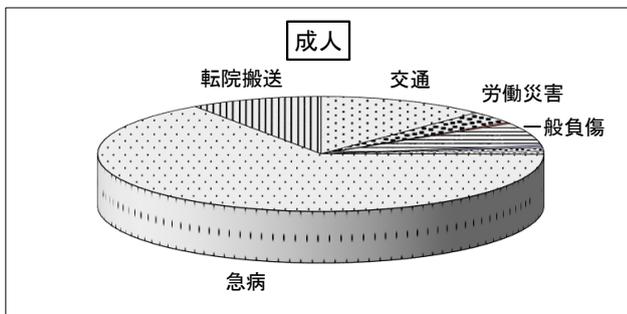
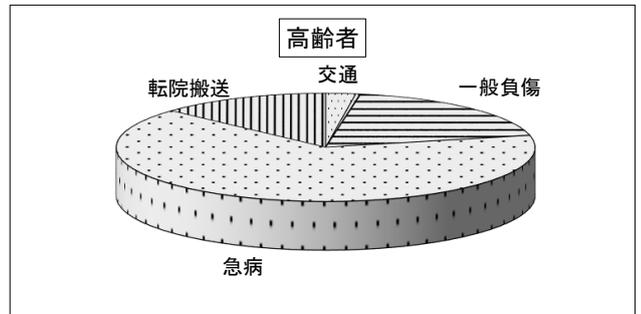
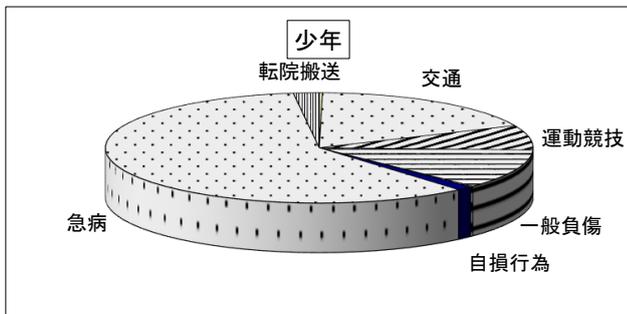
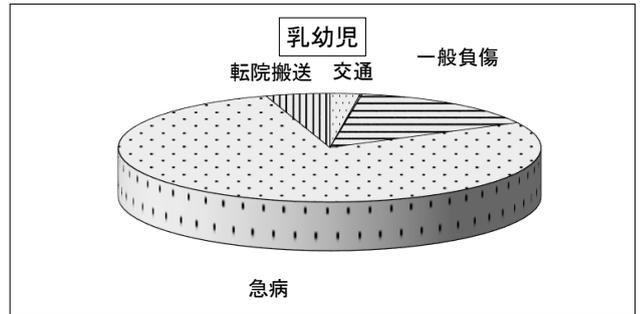
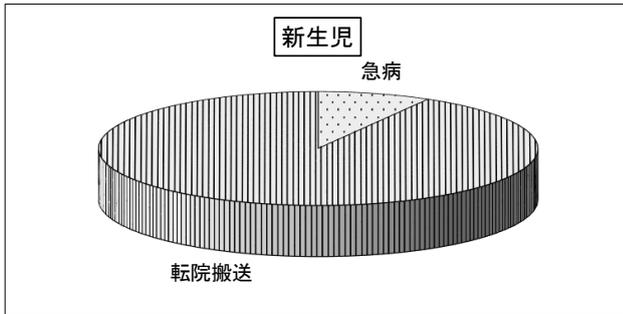
##### ② 程度別搬送人員の推移



	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
軽症	3,460	3,040	3,301	4,086	4,082
中等症	4,274	3,790	3,913	4,336	4,960
重症	533	493	477	432	409
死亡	1	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	8,268	7,323	7,691	8,854	9,451

③ 年齢別・事故種別搬送状況

	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火災	0	0	0	0	0	0
自然災害	0	0	0	0	0	0
水難	0	0	1	0	0	1
交通	0	16	75	347	126	564
労働災害	0	0	0	99	18	117
運動競技	0	1	30	10	3	44
一般負傷	0	104	48	185	1,025	1,362
加害	0	0	1	17	3	21
自損行為	0	0	5	54	4	63
急病	3	540	245	1,847	3,577	6,212
転院搬送	33	34	8	270	722	1,067
その他	0	0	0	0	0	0
合計	36	695	413	2,829	5,478	9,451



(参考)

新生児 生後28日未満の者  
 乳幼児 生後28日以上7歳未満の者  
 少年 7歳以上18歳未満の者  
 成人 18歳以上65歳未満の者  
 高齢者 65歳以上の者

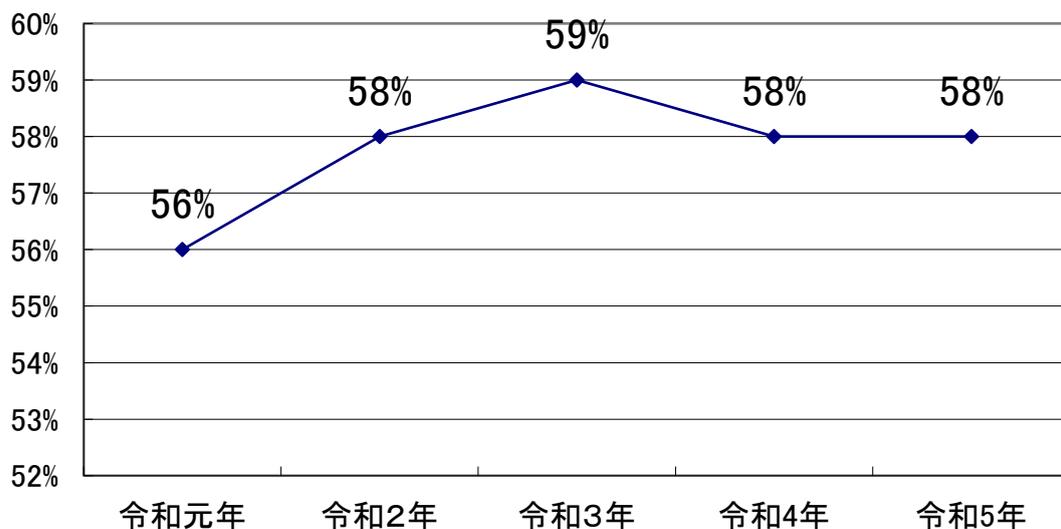
④ 高齢者搬送状況(過去5年間)

単位/人

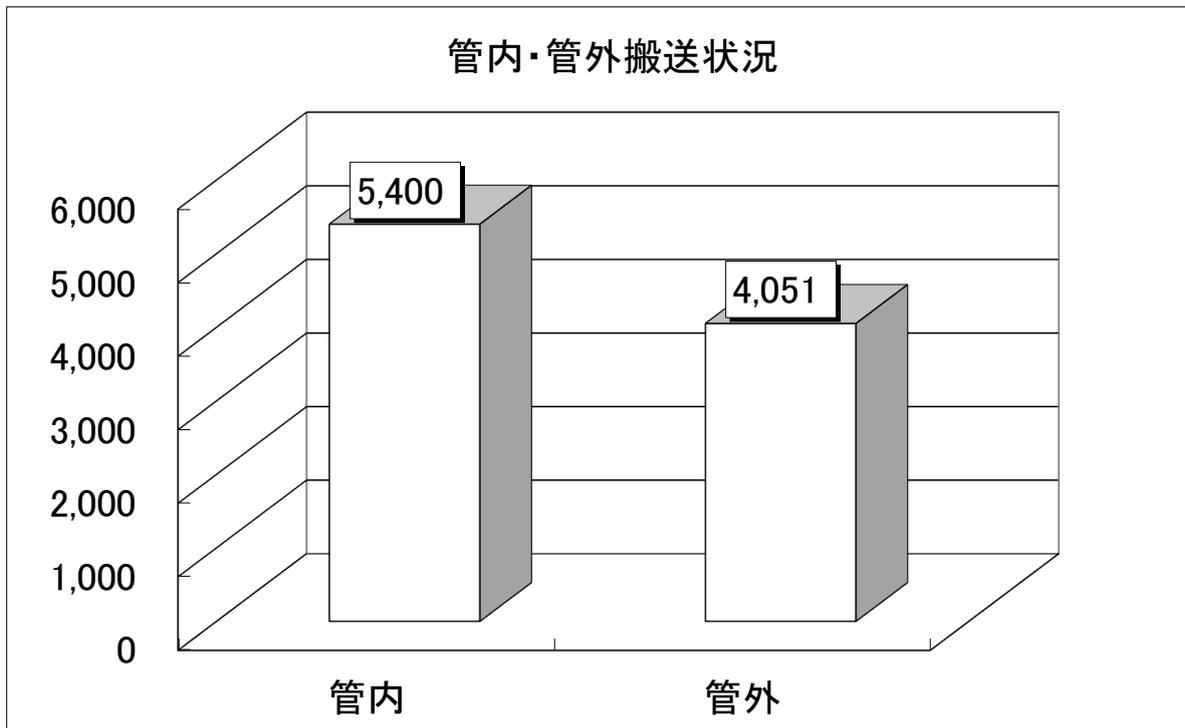
年	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
	高齢者	全体								
火災	3	6	3	7	1	7	1	3	0	0
自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	0	1	0	0	1	2	2	2	0	1
交通	131	573	106	493	107	529	111	505	126	564
労働災害	24	104	26	111	22	115	22	117	18	117
運動競技	4	52	2	26	2	43	3	59	3	44
一般負傷	846	1,218	785	1,116	821	1,157	956	1,335	1,025	1,362
加害	5	28	12	37	5	23	5	28	3	21
自損行為	11	67	5	63	17	72	12	58	4	63
急病	3,015	5,265	2,681	4,580	2,933	4,887	3,383	5,796	3,577	6,212
転院搬送	616	950	594	890	591	855	666	951	722	1,067
その他	1	4	0	0	0	1	0	0	0	0
合計	4,656	8,268	4,214	7,323	4,500	7,691	5,161	8,854	5,478	9,451
対全搬送人員比率	56%		58%		59%		58%		58%	

搬送人員に占める高齢者の割合

対全搬送人員…



⑤ 管内・管外搬送状況



⑥ 事故種別・医療機関別搬送状況

		急病		交通事故		一般負傷		転院搬送		その他		計		
		うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	
救急 医療 機関	国立	191	191	22	22	46	46	115	115	13	13	387	387	
	公立	619	619	14	14	82	82	229	229	5	5	949	949	
	公的	236	236	21	21	32	32	193	193	20	20	502	502	
	私的	病院	4,785	1,287	504	138	1,174	251	517	228	200	57	7,180	1,961
		診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5,831	2,333	561	195	1,334	411	1,054	765	238	95	9,018	3,799	
その 医療 機関 の 関	国立	25	25	0	0	0	0	6	6	0	0	31	31	
	公立	163	163	0	0	1	1	0	0	1	1	165	165	
	公的	3	3	0	0	1	1	0	0	0	0	4	4	
	私的	病院	98	27	3	0	21	5	7	2	4	2	133	36
		診療所	91	15	0	0	5	0	0	0	3	1	99	16
	計	380	233	3	0	28	7	13	8	8	4	432	252	
計	国立	216	216	22	22	46	46	121	121	13	13	418	418	
	公立	782	782	14	14	83	83	229	229	6	6	1,114	1,114	
	公的	239	239	21	21	33	33	193	193	20	20	506	506	
	私的	病院	4,883	1,314	507	138	1,195	256	524	230	204	59	7,313	1,997
		診療所	91	15	0	0	5	0	0	0	3	1	99	16
	計	6,211	2,566	564	195	1,362	418	1,067	773	246	99	9,450	4,051	
その 場所	接骨院等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
合計		6,212	2,566	564	195	1,362	418	1,067	773	246	99	9,451	4,051	

## 5 所要時間

### ① 現場到着所要時間前年比較

年	所要時間	3分未満	3分以上	5分以上	10分以上	20分以上	計	現場到着平均所要時間
			5分未満	10分未満	20分未満			
令和5年		49	214	5,557	4,464	145	10,429	9.6
令和4年		35	122	4,810	4,651	217	9,835	10.1
前年比		14	92	747	△ 187	△ 72	594	△ 0.5

### ② 病院收容所要時間前年比較

年	所要時間	10分未満	10分以上	20分以上	30分以上	60分以上	120分以上	計	病院收容平均所要時間
			20分未満	30分未満	60分未満	120分未満			
令和5年		0	74	1,495	7,347	522	13	9,451	39.9
令和4年		1	56	1,264	6,719	787	27	8,854	42.0
前年比		△ 1	18	231	628	△ 265	△ 14	597	△ 2.1

### ③ 総所要時間前年比較

年	所要時間	30分未満	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上	120分以上	計	平均所要時間
			40分未満	50分未満	60分未満	120分未満			
令和5年		321	317	523	1,160	7,616	492	10,429	79.5
令和4年		253	267	419	889	7,212	795	9,835	84.8
前年比		68	50	104	271	404	△ 303	594	△ 5.3

6 救急隊員の行った応急処置件数

事故種別 応急処置	急病	交通	一般負傷	その他	合計
対象人	6,212	564	1,362	1,313	9,451
止血	21	4	42	14	81
固定	68	201	234	61	564
人工呼吸	0	0	0	2	2
胸骨圧迫	0	0	0	0	0
心肺蘇生	106	6	18	12	142
酸素吸入	976	29	85	381	1,471
気道確保	156	7	27	16	206
保温	127	17	26	42	212
被覆	20	59	178	45	302
在宅療法	1	0	0	0	1
ショックパンツによる 血圧の保持	0	0	0	0	0
電気ショック	16	0	0	0	16
静脈確保(ブドウ糖投与)	6	0	0	0	6
静脈確保(CPA前)	6	1	6	1	14
静脈確保(CPA後)	38	3	8	1	50
薬剤投与	29	3	3	1	36
冷却・その他処置	53	5	8	16	82
血圧測定	5,812	545	1,287	1,251	8,895
聴診器による 心音・呼吸音の聴取	1,888	148	306	326	2,668
血中酸素飽和度の 測定	6,102	556	1,342	1,295	9,295
心電図	2,497	213	505	587	3,802
血糖測定	12	0	0	1	13
ブドウ糖投与	5	0	0	0	5

7 不搬送状況

事故種別	理由	辞退 (到着前)	辞退 (到着後)	拒否	明らかな死亡	他車 (隊) 搬送	傷病者なし	誤報・いたずら	その他	計
火災		0	2	0	0	0	15	1	0	18
自然災害		0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難		0	0	0	1	0	0	0	0	1
交通		0	37	14	2	2	5	0	3	63
労働災害		0	3	0	0	0	0	0	0	3
運動競技		0	2	0	0	0	0	0	0	2
一般負傷		5	113	33	11	1	5	0	7	175
加害		0	3	5	0	0	0	2	0	10
自損行為		0	2	5	16	0	0	0	0	23
急病		34	435	85	93	1	12	22	19	701
その他	転院搬送	0	2	0	0	0	0	0	1	3
	医師搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資器材等搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	1	0	0	0	1	11	2	15
計		39	600	142	123	4	38	36	32	1,014

8 応急手当の普及啓発活動状況

区分 年	講習回数			受講人員		
	令和4年	令和5年	比較	令和4年	令和5年	比較
講習種別						
応急手当普及員講習	1	1	0	6	10	4
上級救命講習	1	1	0	34	40	6
普通救命講習	28	29	1	395	533	138
うち普通救命講習Ⅰ	26	26	0	379	476	97
うち普通救命講習Ⅱ	1	0	△1	1	0	△1
うち普通救命講習Ⅲ	1	3	2	15	57	42
その他の講習	0	0	0	0	0	0
救命入門コース	56	92	36	1,494	2,481	987
合計	86	123	37	1,929	3,064	1,135

## 1. 救助の総括

### ① 活動概要

令和5年中(令和5年1月1日～令和5年12月31日)における救助活動概要は、出動件数98件、活動件数65件、救助人員65人となっている。

### ② 事故種別状況

救助出動件数を事故種別ごとに見てみると、最も多いのが建物等による事故43件、次にその他の事故25件、以下交通事故19件、水難事故4件、ガス及び酸欠事故3件となっている。

#### (事故種別の凡例)

##### 1. 火 災

火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。

##### 2. 交通事故

全ての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

##### 3. 水難事故

水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。

##### 4. 風水害等自然災害事故

暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

##### 5. 機械による事故

エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。

##### 6. 建物等による事故

建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

##### 7. ガス及び酸欠事故

一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。

##### 8. 破裂事故

火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。

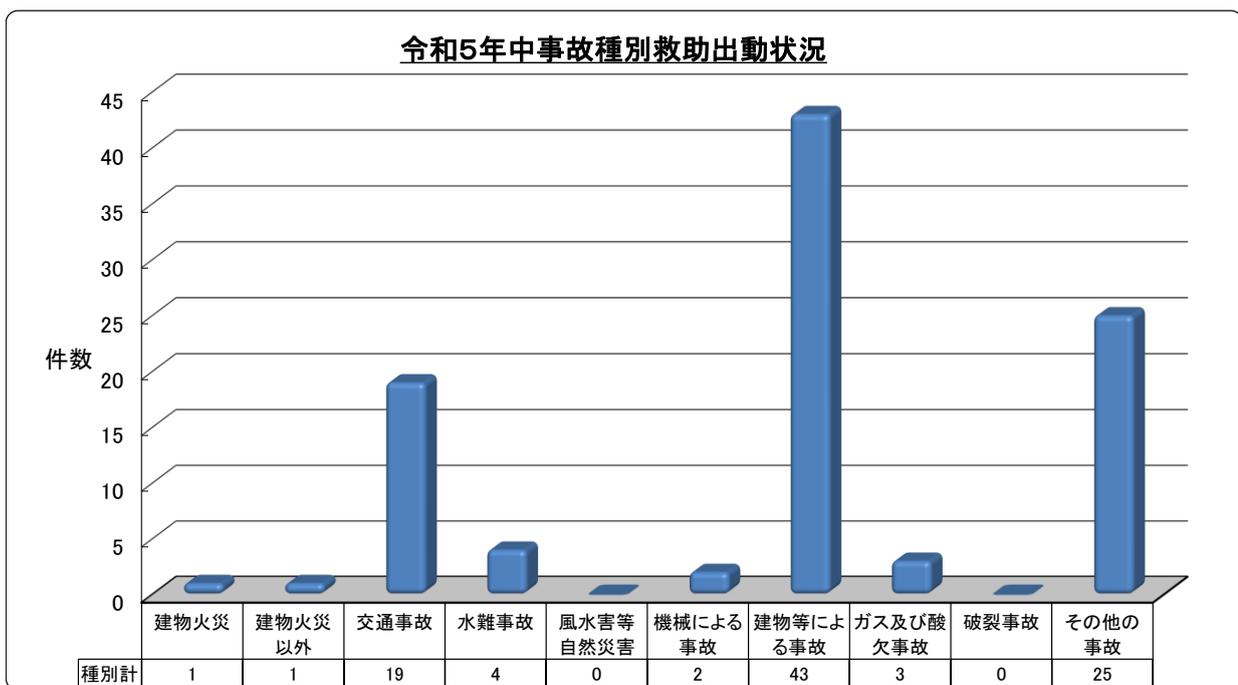
##### 9. その他の事故

※ 1. から8. に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。

## 2. 救助の概要

### ① 事故種別救助出動状況

事故種別		建物火災	建物火災以外	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
区分												
	出動件数	1	1	19	4		2	43	3		25	98
	活動件数	1	1	13	4		1	28	3		14	65
	救助人員			19	3		1	26	3		13	65
出動人員	救助隊員	9	4	127	16		16	145	11		107	435
	消防隊員	14	10	119	28		13	14	19		46	263
	救急隊員	3	3	90	12		6	123	9		60	306
	計	26	17	336	56		35	282	39		213	1,004
出動車両	救助工作車	2	1	32	8		4	43	6		26	122
	タンク車	2	1	9	3		2	3	1		5	26
	梯子車											
	化学車	1	1	10	2				2			16
	指揮車等	1	1	19	4		2	1	3		4	35
	救急車	1	1	30	4		2	41	3		20	102
	その他				1						6	7
	計	7	5	100	22		10	88	15		61	308



## ② 町別救助出動・活動状況

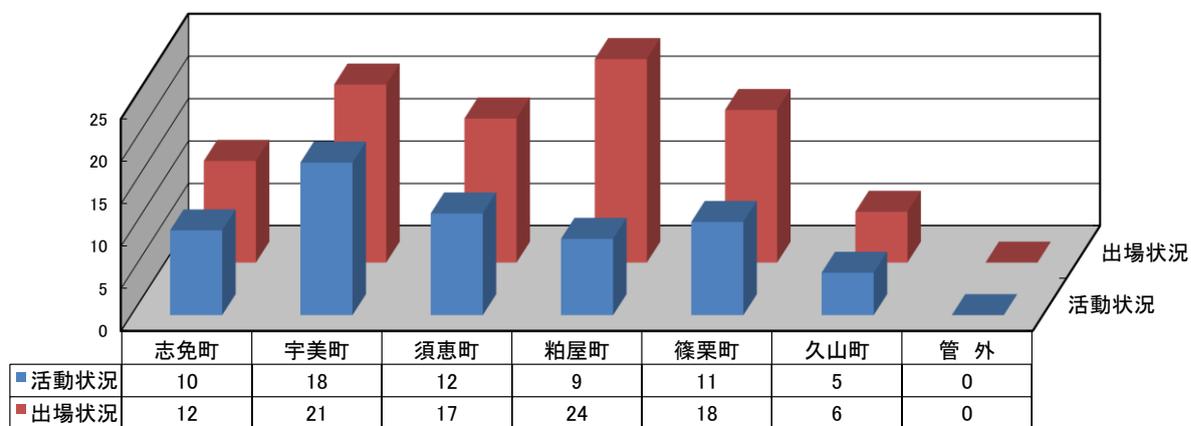
### ア 出動状況

区分	事故種別										合 計
	建物火災	建物火災以外	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等による 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	
志免町	1		1	1			8			1	12
宇美町			6				9			6	21
須恵町		1	4			1	7	1		3	17
粕屋町			3	2		1	10	1		7	24
篠栗町			3	1			8			6	18
久山町			2				1	1		2	6
管 外											
合 計	1	1	19	4		2	43	3		25	98

### イ 活動状況

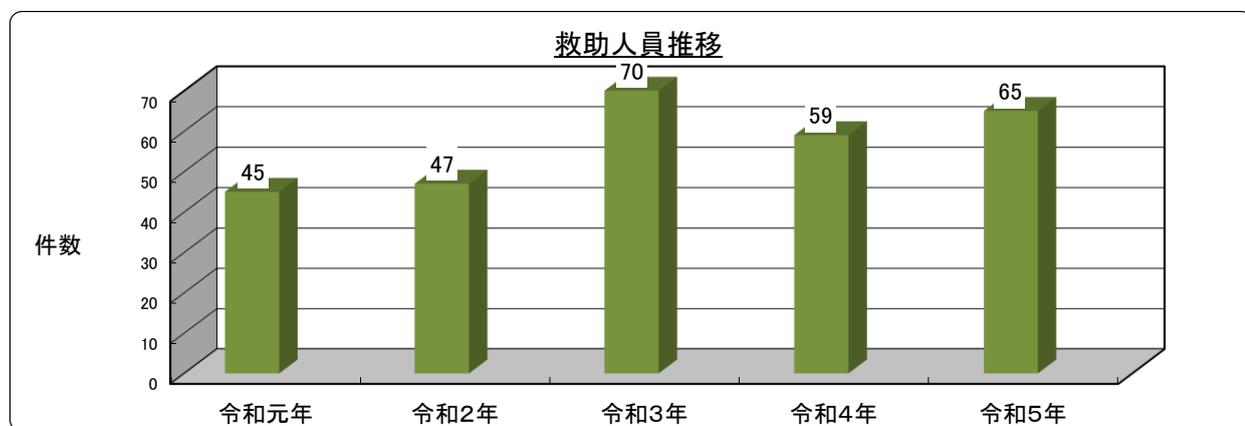
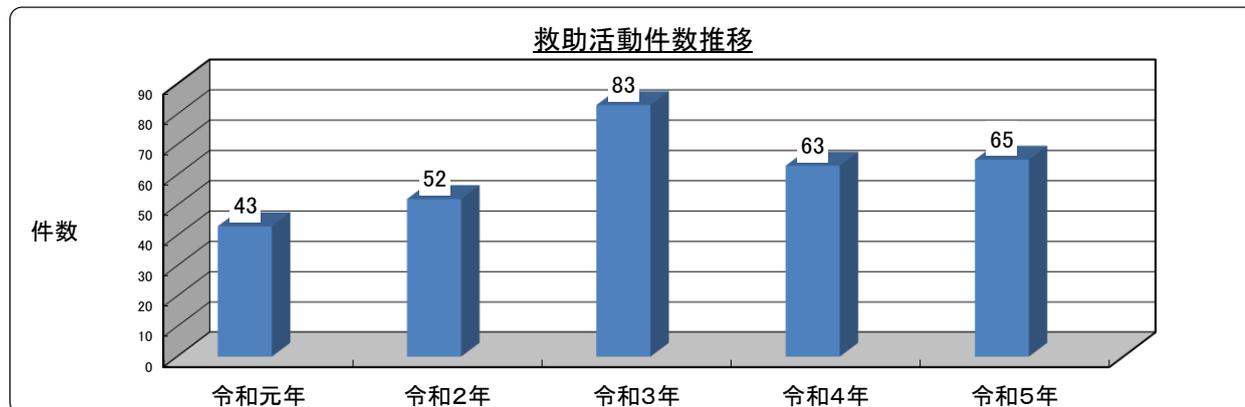
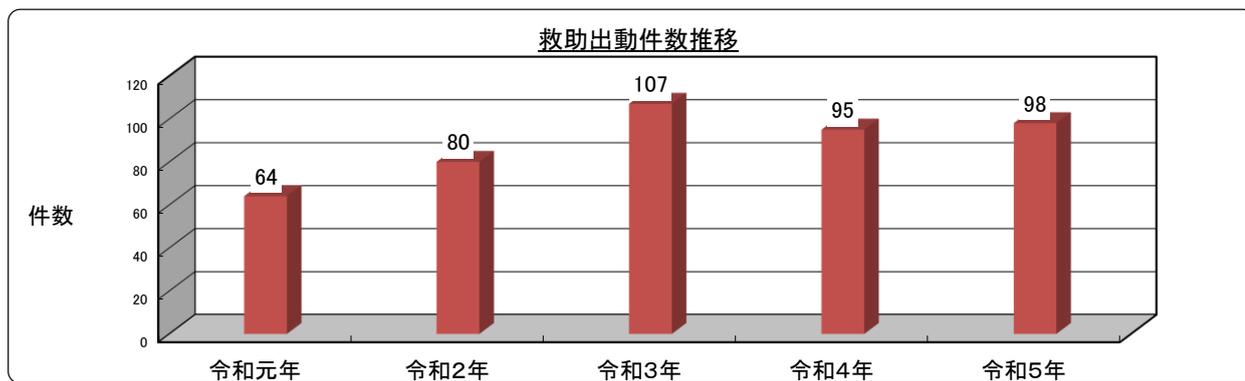
区分	事故種別										合 計
	建物火災	建物火災以外	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等による 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	
志免町	1		1	1			7				10
宇美町			4				8			6	18
須恵町		1	3			1	5	1		1	12
粕屋町			1	2			2	1		3	9
篠栗町			2	1			6			2	11
久山町			2					1		2	5
管 外											
合 計	1	1	13	4		1	28	3		14	65

令和5年救助出動及び活動状況(町別)



### ③ 救助出動件数、救助活動件数及び救助人員の推移

年	救助出動件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率	件数	対前年増減率	人員	対前年増減率
令和元年	64	△27.1	43	△39.4	45	△15.5
令和2年	80	25.0	52	20.9	47	4.4
令和3年	107	33.8	83	59.6	70	48.9
令和4年	95	△11.2	63	△24.1	59	△15.7
令和5年	98	3.2	65	3.2	65	10.2



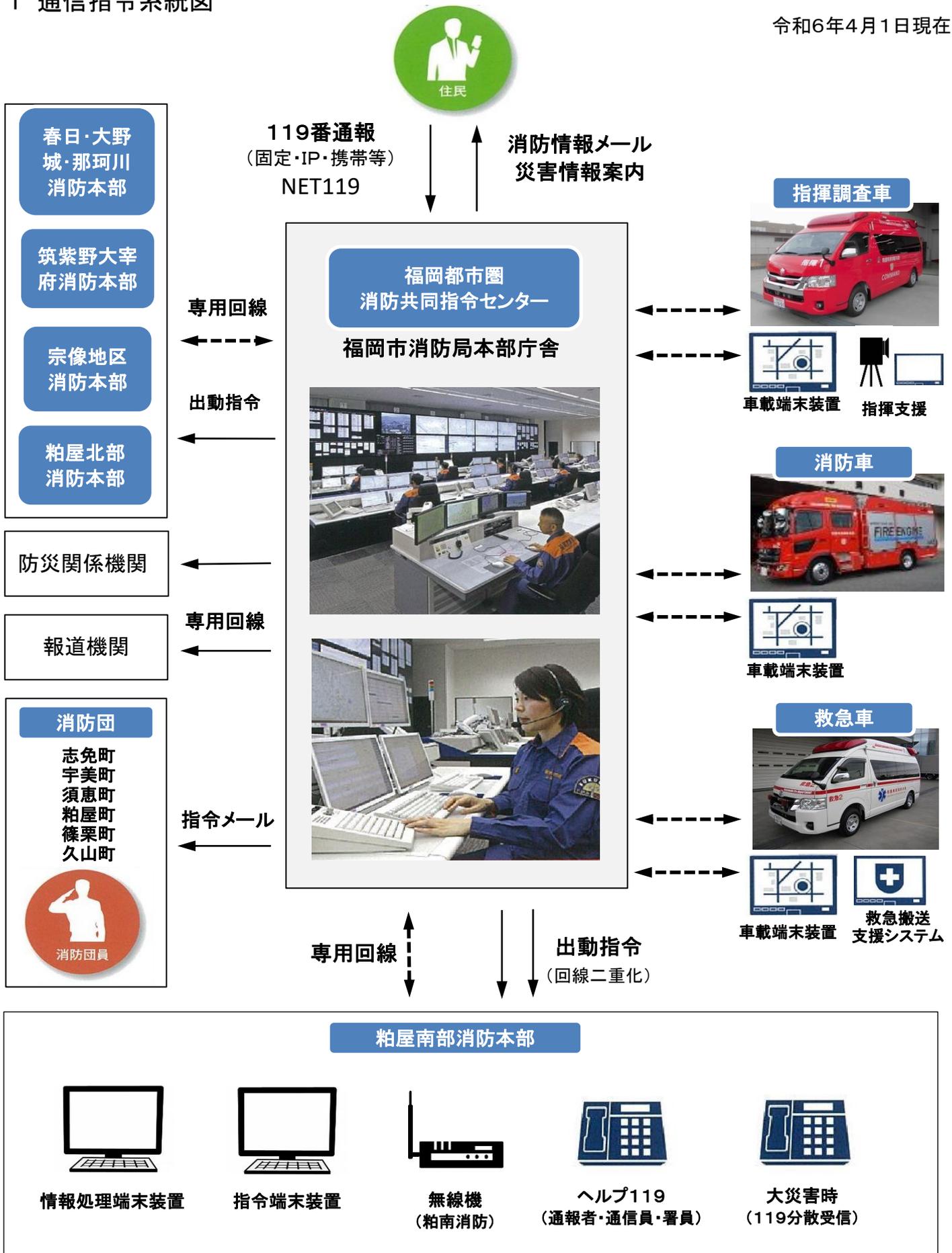
### 3 救助機械器具等の保有状況

	装備名		2024.4.1現在		
			南部	中部	計
救助器具	積載はしご	かぎ付チタン製	3	4	7
	"	二連アルミ合金製	2	0	2
	"	三連チタン製	2	4	6
	空気式救助マット		1	1	2
	マット式空気ジャッキ		1	1	2
	救命索発射銃	空気圧式	1	0	1
	可搬式ウィンチ		3	1	4
	マンホール救出器具		1	1	2
	発動発電機	500W可搬式	8	6	14
	バスケットストレッチャー		2	2	4
	高度救助資機材	画像探索機Ⅰ型	1	0	1
	"	画像探索機Ⅱ型(簡易画像探索機)	1	1	2
	"	熱画像直視装置	1	1	2
	"	地震警報器	1	0	1
	"	夜間用暗視装置	1	0	1
	エアータント		1	1	2
	救命ボート	ゴム製	1	1	2
	救命胴衣		37	40	77
水中投光器		6	4	10	
破壊器具	大型油圧式救助器具	スプレッダー	1	2	3
	"	切断機	1	1	2
	"	ジャッキ	1	1	2
	バッテリー式救助用破壊器具	カッター、ドリル	2	0	2
	空気式救助器具	エアカッター	1	1	2
	"	エアソー	1	1	2
	エンジンカッター		1	1	2
	チェンソー		2	2	4
	削岩機		1	1	2
	ハンマードリル		1	1	2
	鉄線(鉄筋)カッター		5	4	9
	酸素溶断機		1	1	2
	万能斧		2	5	7
	携帯用コンクリート破砕機		1	1	2
保護器具	防護服	化学防護服	7	2	9
	"	耐熱防護服	2	2	4
	耐電衣	耐電用防護服	2	2	4
	防毒マスク		5	3	8
	呼吸器	空気呼吸器	17	19	36
	"	酸素呼吸器	0	2	2
"	簡易呼吸器	5	0	5	
保護器具	潜水器具		5	5	10
	携帯警報機		11	15	26
	送排風機		1	2	3
	防塵めがね		0	3	3
器具通信	携帯無線機	260MHz	9	9	18
	携帯電話		4	5	9
測定器具	可燃性ガス測定器		2	3	5
	有毒ガス測定器		2	1	3
	酸素濃度測定器		2	3	5
	放射線測定器		1	1	2
	個人線量計		6	0	6
	ガンマ線及びエックス線用線量率計		1	0	1
表面汚染検査計		1	0	1	

※本表は、救助隊及び消防隊の保有救助資機材の合計

# 1 通信指令系統図

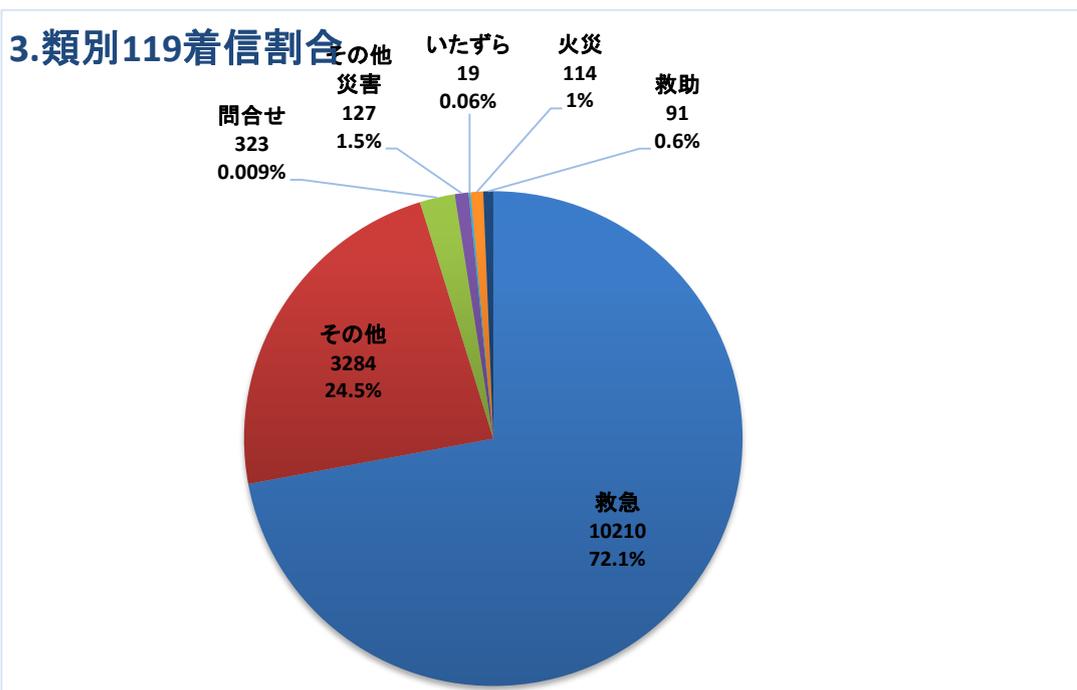
令和6年4月1日現在



## 2 月別119着信数内訳

(令和5年中)

種別 月別	火災	救急	その他 災害 (救助除く)	救助	問合せ	いたずら	その他 (誤報・試験 訓練・転送等)	計
1	7	968	8	7	26	1	244	1,261
2	10	691	8	8	22	7	228	974
3	2	778	9	8	14	2	301	1,114
4	3	757	2	6	20	0	294	1,082
5	30	769	17	9	17	0	290	1,132
6	3	852	9	2	23	0	324	1,213
7	3	1,018	23	7	37	0	295	1,383
8	10	973	16	8	50	0	271	1,328
9	6	888	11	7	22	0	222	1,156
10	26	819	12	14	20	1	278	1,170
11	8	791	5	6	30	7	300	1,147
12	6	906	7	9	42	1	237	1,208
計	114	10,210	127	91	323	19	3,284	14,168



# 消防団編

1	消防団の歴史	102
2	消防団の組織	104
3	消防団員の年齢	106
4	消防団員の勤務年数	107
5	消防団の装備状況	107
6	火災出場状況	107
7	消防連絡協議会	108

# 1 消防団の歴史



## 1 江戸時代

消防団の歴史は古く、江戸時代、八代将軍吉宗が、江戸南町奉行の大岡越前守に命じ、町組織としての火消組である店火消(たなびけし)を編成替えし、町火消「いろは四八組」を設置させたことが今日の消防団の前身であるといわれています。

各火消組に「いろは」等の名前を付けたことにより、お互いの名誉にかけて競い合って働くという結果が生じ、消防の発展に多大な成果を得ることとなりました。町火消は町奉行の監督下にあったものの、純然たる自治組織であり、経費の一切が町負担で、組織、人員等も町役人の自由に委ねられていました。しかもその費用は、ほとんど器具設備等の購入に費やされ、組員は無報酬でした。そのころの村落部の消防については、駆付消防が主で城下町のような組織的なものはありませんでした。この駆付消防は、古くは「大化の改新」後の5戸制度を起源とする5人組と現在の青年部ともいべき若者組が当たりました。



## 2 明治～大正時代

明治時代、町火消は東京府に移管され、東京府は明治3年(1870年)に消防局を置き、町火消を改組し消防組としました。明治6年(1873年)に消防事務は内務省に移され、東京府下の消防は、翌明治7年(1873年)に新設された東京警視庁に移されたので、東京警視庁では、直ちに消防組に関する消防章程を制定しました。これが明治の消防の組織活動の基礎となりました。

しかし、全国的には公設消防組は少なく、ほとんどが自治組織としての私設消防組であり、それも名だけというものが多かったのです。そこで、政府は社会の発展に即応する効率的な消防組織の育成を図るため、地方制度再編成を機会に、明治27年(1894年)に消防組規則(勅令第15号)を制定し、消防組を府県知事の管掌として全国的な統一を図りました。具体的な内容は、消防組は知事が職権をもって設置すべきもので、今までの既設の消防組を認めたり、また市町村が自ら組織したものを認可することではいけないという強硬な絶対的至上命令なもので、消防組は知事の警察権に掌握されながら、その費用は一切市町村で負担するべきものと規定されていました。規則施行後にも、消防組の設立は遅々として進まなかったものの、警察署長等の積極的な働きかけなどにより、大正時代末には飛躍的にその数が増大していくこととなりました。

## 3 昭和時代(戦前)

昭和4、5年(1929、30年)頃から、軍部の指導により、民間防空団体として防護団が各地に結成されました。昭和12年(1937年)には防空法が制定され、国際情勢が悪化してゆく中、国防体制の整備が急がれるようになりました。昭和13年(1938年)に内務次官名で消防組、防護団の統一について両団体統合要綱案が通牒され、勅令制定の基礎となる両団体統合の要綱が決定されました。これらを経て、消防組と防護団を統合し新たな警防組織を設けるため、昭和14年(1939年)1月に勅令をもって「警防団令」を公布しました。これにより、明治以来の消防組は解消し、警防団として同年4月1日に全国一斉に発足され、警察の補助機関として従来の水火消防業務に防空の任務を加えられて終戦に至りました。

#### 4 昭和時代(戦後)

戦後、米国調査団の報告により、警察と消防の分離が勧告され、それに伴い総司令部から警察制度の改革について指示が行われました。内務省は警察制度審議会の答申を受け、昭和 22 年(1947 年)4 月 30 日に消防団令を公布。これにより従来の警防団は解消され、新たに全国の市町村に自主的民主的な「消防団」が組織されることとなりました。

しかし、警察制度審議会の答申及び政府の考え方に対して、総司令部は、その民主化の内容が不徹底と考え、答申に沿った警察制度の改革案に了承を与えませんでした。政府は消防組織法案を作成し、総司令部の了解を求めたものの、総司令部は消防制度に関する覚書案を一部修正し(覚書中「市町村公安委員会」を「自治体消防は市町村の管理に属する」と変更)民間情報局作成の法案要綱をあわせて通知してきました。内務省では、これに基づき法案を修正し、昭和 22 年(1947 年)12 月 23 日に消防組織法の公布が行われました。これにより、消防が警察から分離独立するとともに、すべて市町村の責務に移されました。また、消防組織法の趣旨の徹底と勅令であった消防団令を政令に改めるために、昭和 23 年(1948 年)3 月 24 日に新たな消防団令が公布され、消防団は義務設置から任意設置制になり、消防団に対する指揮監督権が警察部長又は警察署長(消防署長)から市長村長、消防長又は消防署長に移され、府県知事にあった市町村条例の認可権や消防団事務の監察権が廃止されました。

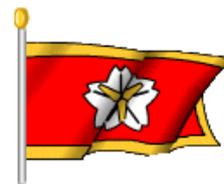
その後、消防団令は根拠法について明確を欠くものがあり、政令は法律に特別の委任がある場合を除くほか、その規定し得る範囲は憲法又は法律により既に定められている事項を実際に執行するために必要な定めをするいわゆる執行命令に限定されるものであり(憲法第 73 条第 6 号)、また法律の委任がなければ義務を課したり、権利を制限する規定を設けることは出来ない(内閣法第 11 条)ものであるから、そのような性質を持つ政令で消防団に関する基本的な事項を規定しておくことは適当でないという見解のもとに、消防組織法に第 15 条の 2 を追加し、同時に消防団令は廃止されました。

その後、組織法制定後も火災が頻発し日本再建途上の一大障害となっている情勢下で、消防組織の強化、拡充を図るため、昭和 26 年(1951 年)3 月に議員立法により消防組織法が改正されました。これにより、任意設置であった消防機関の設置は義務設置となりました。

このように、消防団は、江戸時代に義勇消防の元祖として発足して以来、様々な変遷を経て今日に至っていません。



## 2 消防団の組織



消防団は、郷土愛護の精神に基づいて民間の有志の人々によって組織されており、消防団員は、各自の職業に従事しながら、災害が発生した際に、招集されて消防活動に従事します。

非常時は、本来の職を投げうって、郷土を災害から守るため献身的な活動を行っています。

### 志免町消防団 団長 南里 直毅

分団名	担当区域
中央分団	志免 4、志免 6
第一分団	田富、成和町内ガーデン、下河原組合
第二分団	吉原、水鉛、桜丘1、桜丘中央、桜丘南
第三分団	志免 3、志免 5、坂瀬団地、向ヶ丘、石橋台、成和町内石櫃
第四分団	東区、松ヶ丘、成和町内南、緑風会組合
第五分団	志免 2
第六分団	南里 1、南里 2、南里 3、王子八幡
第七分団	別府、別府 1、鏡、アネシス
第八分団	別府 2、別府 3、サンリヤン
第九分団	御手洗

### 宇美町消防団 団長 柴田 靖

分団名	担当区域
本部分団	辻荒木
第一分団	上ノ原、障子岳、宇美東、山ノ内、飛岳 1、飛岳 2、飛岳 3
第二分団	福博中央、早見、四王寺坂 3
第三分団	上宇美 1、上宇美 2、上宇美本通り、上河原
第四分団	井野、新井野、平成、ひばりが丘 1 ひばりが丘 2、ひばりが丘 3
第五分団	桜原、馬場、下宇美、林崎、浦田、大名坂
第六分団	炭焼 1、炭焼 2、炭焼 3、炭焼 4、大谷、四王寺、末広、貴船
第七分団	原田下、原田中央、原田上、明治町、仲山、四王寺坂 2
第九分団	鎌倉、福博鎌倉、新成、四王寺坂 1
第十分団	三原、黒穂、柳原、神山手

### 須恵町消防団 団長 金子 東洋一

分団名	担当区域
本部分団	南米里、大島原、川子一、川子二
新原分団	新原
新生分団	山の神、恵西、昭穂
飛越分団	西原、旭ヶ丘
旅石分団	旅石
乙植木分団	乙植木
甲植木分団	甲植木、長札
須恵分団	須恵、城山
上須恵分団	上須恵、藤浦
佐谷分団	佐谷

粕屋町消防団 団長 伊藤 善亮

分団名	担当区域
本部分団	粕屋町全域
第一分団	大隈、朝日
第二分団	上大隈
第三分団	江辻
第四分団	戸原、長戸
第五分団	長者原上、長者原中、長者原下
第六分団	内橋1、内橋2、内橋3、多の津、サンライフ
第七分団	袖須
第八分団	原町
第九分団	若宮
第十分団	乙仲原東、乙仲原西、阿恵
第十一分団	甲仲原、駕輿丁
第十二分団	酒殿
第十三分団	花ヶ浦
女性消防隊	

篠栗町消防団 団長 立開 克利

分団名	担当区域
第一分団	城戸、山手、山王
第二分団	下町、大勢門
第三分団	新町、庄、若杉
第四分団	尾仲、乙犬
第五分団	田中、明治、池の端
第六分団	高田、金出
第七分団	萩尾
第八分団	篠栗町全域
第九分団	上町、中町
第十分団	津波黒、和田
女性消防隊	

久山町消防団 団長 實淵 論太郎

分団名	担当区域
本部分団	東久原、草場
第一分団	猪野
第二分団	上山田
第三分団	下山田
第四分団	上久原
第五分団	中久原
第六分団	下久原
女性消防隊	



### 3 消防団員の年齢

令和6年4月1日現在

年 齢	区 分							合 計
	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町		
17								
18			1			1	1	3
19		5	2	4	1	5		17
20		4	4	5	4	11		28
21	2	7		3	6	3		21
22	4	4	4	8	5	4		29
23	3	4	4	4	7	1		23
24	4	4	6	6	6	5		31
25	6	7	8	6	4	7		38
26	7	5	6	7	9	7		41
27	1	6	9	9	7	3		35
28	6	8	5	12	8	7		46
29	4	9	8	10	8	10		49
30	8	8	9	13	13	7		58
31	1	10	5	6	9	4		35
32	11	9	7	9	11	2		49
33	6	5	7	6	6	4		34
34	5	6	9	8	9	4		41
35	8	6	7	12	14	7		54
36	7	5	10	11	8	5		46
37	12	6	5	8	11	4		46
38	6	5	4	5	13	6		39
39	3	5	4	7	10	5		34
40	4	6	1		16			27
41	8	4	1		10			23
42	6	3	2		7	1		19
43		1			9			10
44	2	3		1	8			14
45		1		1	3	1		6
46	2	1		1				4
47		2				1		3
48		1			1			2
49		1	1					2
50	1							1
51								
52								
53								
54								
55								
56								
合 計	127	151	129	162	224	115		908
平均年齢	33.0	31.0	30.0	30.0	33.0	29.0		31.5
条例定数	200	197	170	220	260	168		1215

## 4 消防団員の勤務年数

令和6年4月1日現在

勤務年数	区分						
	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	合計
5年未満	28	52	37	68	79	52	316
5年以上10年未満	34	38	38	48	52	33	243
10年以上15年未満	39	34	40	40	55	21	229
15年以上20年未満	20	13	13	6	27	6	85
20年以上25年未満	6	12	1		11	2	32
25年以上		2				1	3
合計	127	151	129	162	224	115	908

## 5 消防団装備状況

令和6年4月1日現在

装 備	区分						
	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	合計
普通消防ポンプ自動車	5	6	3	12	4	4	34
水槽付消防ポンプ自動車					1		1
小型動力ポンプ積載車	5	4	7	3	15	3	37
小型動力ポンプ	7	5		4	15	3	27
指 揮 車	1	1	1	1	3	1	8
合計	18	16	11	16	23	8	107

## 6 火災出動状況

令和5年中

月別	区分	件数	消 防 団												計	
			志免町		宇美町		須恵町		粕屋町		篠栗町		久山町		車両	人員
			車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員		
1															0	0
2															0	0
3															0	0
4	1											0	20	0	20	
5	2				1	1			19	79				20	80	
6														0	0	
7	1						1	7						1	7	
8	2						5	30			7	59		12	89	
9														0	0	
10	2				1	1	12	60						13	61	
11	1				1	1								1	1	
12	1						4	21						4	21	
計	10	0	0	0	0	3	3	22	118	19	79	7	79	51	279	

## 7 消防連絡協議会

消防本部、署及び構成町並びに消防団が一体となり、消防業務及び消防技術の総合的研究を行い、消防の健全な発展に寄与することなどを目的とする組織です。



(令和6年10月現在)

所 属	職 名	氏 名
志免町	消防団長	南里 直毅
	消防副団長	濱崎 義則
	消防副団長	荒巻 裕史
	生活安全課長	瀬田 修一
	消防主任	寺田 力
宇美町	消防団長	柴田 靖
	消防副団長	櫻木 正守
	消防副団長	日高 祥一郎
	危機管理課長	安川 忠行
	消防主任	坂口 政勝
須恵町	消防団長	金子 東洋一
	消防副団長	村山 真太郎
	消防副団長	吉開 英
	総務課長	諸石 豊
	消防主任	川上 仁史
粕屋町	消防団長	伊藤 善亮
	消防副団長	小西 寿良
	消防副団長	案浦 弘継
	協働のまちづくり課長	高榎 元
	消防主任	西村 直
篠栗町	消防団長	立開 克利
	消防副団長	高倉 拓馬
	消防副団長	中尾 信也
	総務課長	田村 明広
	消防主任	井上 穰
久山町	消防団長	實淵 論太郎
	消防副団長	井上 貴寛
	消防副団長	阿部 威
	総務課長	久芳 浩二
	消防主任	中山 幸一





## 粕屋南部消防組合消防本部

〒811-2204

福岡県糟屋郡志免町大字田富 170 番地

(代) 092-935-5111

<http://www.kasuyanambu-shobo.jp/>